

大山崎町第5次総合計画
策定のためのアンケート調査報告書

令和7年3月

大山崎町

目次

大山崎町第5次総合計画策定のためのアンケート調査報告書	1
1 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査種別及び調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	2
6 調査結果の表示方法	2
7 回収結果について	2
2 調査結果	4
1 一般住民調査	4
2 小6・中学生調査	72
3 職員調査	85
3 ポートフォリオによる分析	115
4 調査結果からみえる現状・課題	117
1 一般住民調査	117
2 小6・中学生調査	117
3 職員調査	118

大山崎町第5次総合計画 策定のためのアンケート調査報告書

① 調査の概要

1 調査の目的

令和7年度をもって「大山崎町第4次総合計画」及び「大山崎町まちひとしごと創生総合戦略」の計画期間が終了するため、新たな総合計画及び創生総合戦略策定に向けた基礎資料とするため実施しました。

2 調査種別及び調査対象

調査種別	調査対象
町民意識調査	町内に在住する18歳以上の住民
小6・中学生対象調査	町立学校に在籍する小学6年生及び中学生
職員意識調査	大山崎町職員

3 調査期間

令和7年1月～令和7年2月

4 調査方法

調査種別	調査方法
町民意識調査	・町内に在住する18歳以上の住民：郵送配付・郵送回収及びインターネット回答
小6・中学生対象調査	・町立学校に在籍する小学6年生及び中学生：郵送配付・郵送回収及びインターネット回答
職員意識調査	・大山崎町職員：直接配付・直接回収

5 回収状況

調査種別	調査対象	対象者数	有効回答数	有効回答率
町民意識調査	町内に在住する 18 歳以上の住民	1,500 人	842 人	56.1%
小 6 ・ 中学生 対象調査	町立学校に在籍する小学 6 年生	130 人	121 人	93.1%
	町立学校に在籍する中学生	401 人	344 人	85.8%
職員意識調査	大山崎町職員	150 人	65 人	43.3%

6 調査結果の表示方法

- ・ 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・ クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

7 回収結果について

今回のように全体(母集団)から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査に比べて調査結果に差が生じることがあります。

そこで、区間推定の代表である 95%信頼区間を用いて抽出による結果の誤差を計算します。標本誤差は、以下の計算式によって算出されます。

(信頼度 95%)

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

N = 母集団数、n = 回答者数、P = 回答比率(0 ≤ P ≤ 1)

信頼度 95%で標本誤差が ± 5%以内で収まっていることが、一般的に望ましいとされています。例えば、町民意識調査（対象：18 歳以上住民）の回答者数（n）が 598 人であり、その設問中の選択肢の回答比率（P）が 50%であった場合、その回答比率の誤差は ± 3.9%となり、46.1%～53.9%の範囲にあると考えられます。

今回の調査から、標本数と回答の比率ごとに誤差を整理したものが次の表となります。

【信頼度 95%】

	母集団数 (N)	回答者数 (n)	回答比率 (P)									
			50%	45% 55%	40% 60%	35% 65%	30% 70%	25% 75%	20% 80%	15% 95%	10% 90%	5% 95%
18歳以上 住民	14,055	598	±3.9%	±3.9%	±3.8%	±3.7%	±3.6%	±3.4%	±3.1%	±2.8%	±2.4%	±1.7%
小6	130	121	±2.4%	±2.3%	±2.3%	±2.2%	±2.2%	±2.0%	±1.9%	±1.7%	±1.4%	±1.0%
中学生	401	344	±2.0%	±2.0%	±2.0%	±1.9%	±1.8%	±1.7%	±1.6%	±1.4%	±1.2%	±0.9%
職員	215	65	±10.2%	±10.1%	±10.0%	±9.7%	±9.3%	±8.8%	±8.1%	±7.3%	±6.1%	±4.4%

※「母集団数 (N)」は令和6年6月時点

職員意識調査を除いて、標本誤差が±5%以内で収まっています。

【信頼度 90%】

	母集団数 (N)	回答者数 (n)	回答比率 (P)									
			50%	45% 55%	40% 60%	35% 65%	30% 70%	25% 75%	20% 80%	15% 95%	10% 90%	5% 95%
18歳以上 住民	14,055	598	±3.4%	±3.3%	±3.3%	±3.2%	±3.1%	±2.9%	±2.7%	±2.4%	±2.0%	±1.5%
小6	130	121	±2.0%	±2.0%	±2.0%	±1.9%	±1.8%	±1.7%	±1.6%	±1.4%	±1.2%	±0.9%
中学生	401	344	±1.7%	±1.7%	±1.7%	±1.6%	±1.6%	±1.5%	±1.4%	±1.2%	±1.0%	±0.7%
職員	215	65	±8.7%	±8.7%	±8.5%	±8.3%	±8.0%	±7.6%	±7.0%	±6.2%	±5.2%	±3.8%

※「母集団数 (N)」は令和6年6月時点

② 調査結果

1 一般住民調査

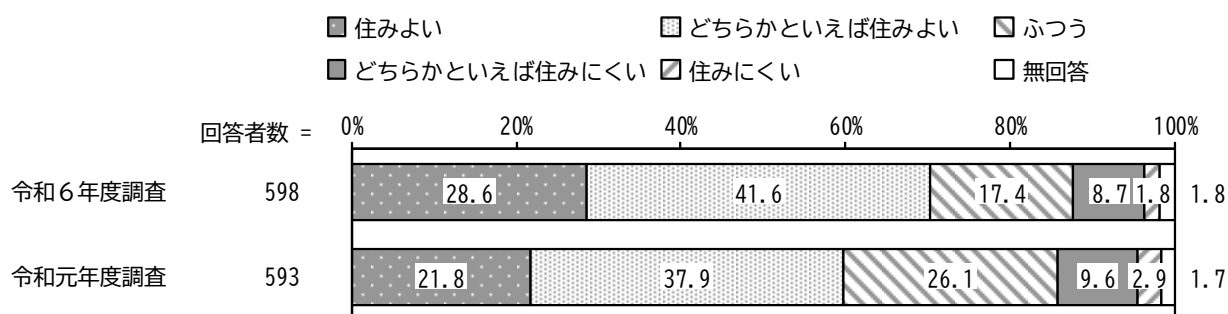
(1) 大山崎町での暮らし（現在のこと）について

問1 大山崎町の住みやすさ

あなたは、大山崎町は住みよいまちだと思いますか。当てはまる番号に○印をつけてください。（○は1つだけ）

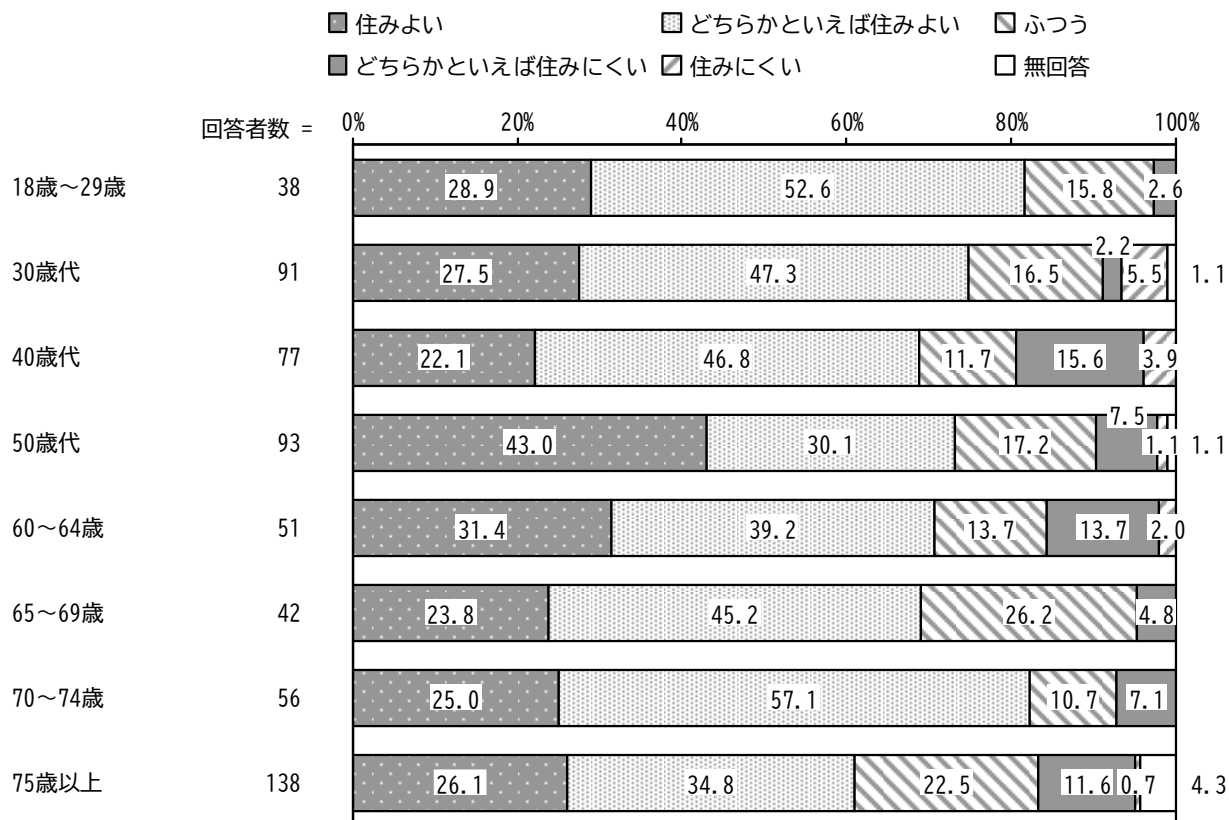
「住みよい」「どちらかといえば住みよい」を合わせた”住みよい”の割合が70.2%、「ふつう」の割合が17.4%、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を合わせた”住みにくい”の割合が10.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「住みよい」の割合が増加しています。一方、「ふつう」の割合が減少しています。



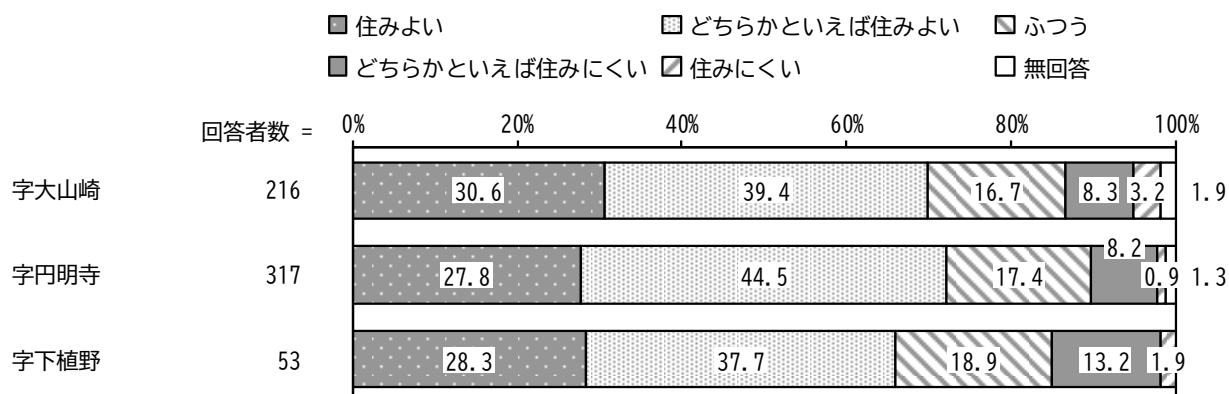
【年齢別】

年齢別にみると、「住みよい」について50歳代で高く、「どちらかといえば住みよい」について18歳～29歳、70～74歳で高く、50歳代で低く、「ふつう」について65～69歳で高く、70～74歳で低く、「どちらかといえば住みにくい」について40歳代で高く、30歳代で低くなっています。



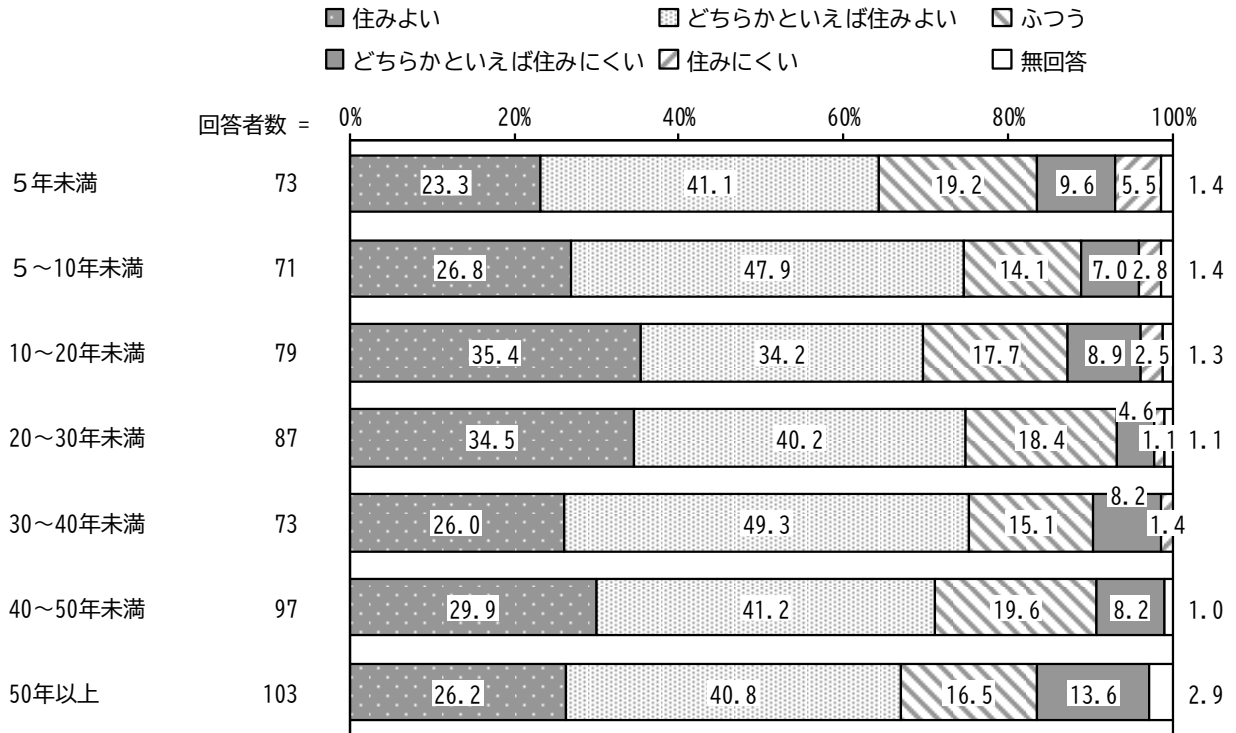
【地区別】

地区別にみると、「どちらかといえば住みよい」について字下植野で低くなっています。



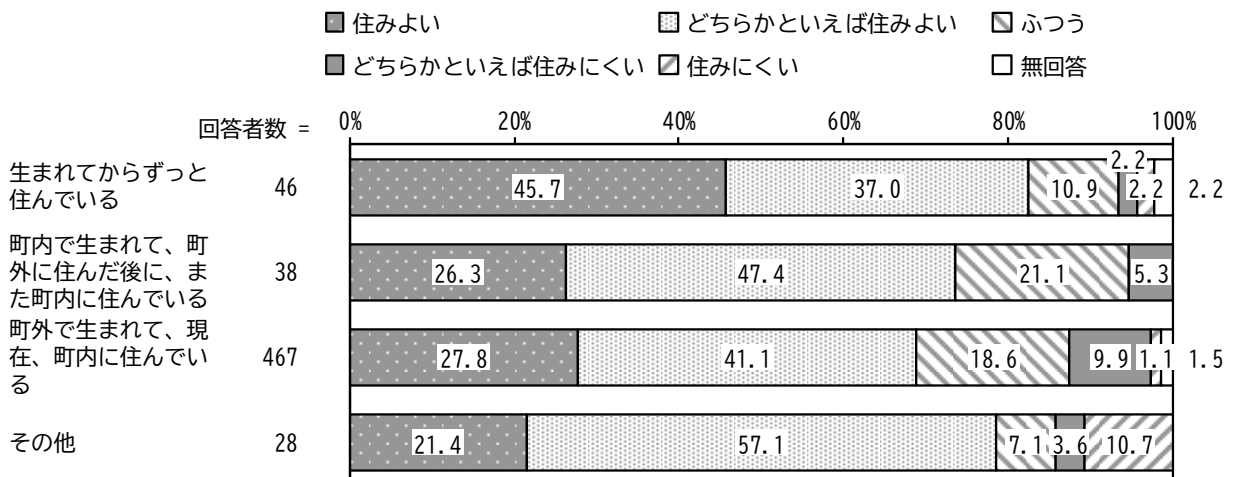
【通算居住年数別】

通算居住年数別にみると、「どちらかといえば住みよい」について5～10年未満、30～40年未満で高く、10～20年未満で低く、「どちらかといえば住みにくい」について50年以上で高く、20～30年未満で低くなっています。



【居住歴別】

居住歴別にみると、「住みよい」について生まれてからずっと住んでいるで高くなっています。

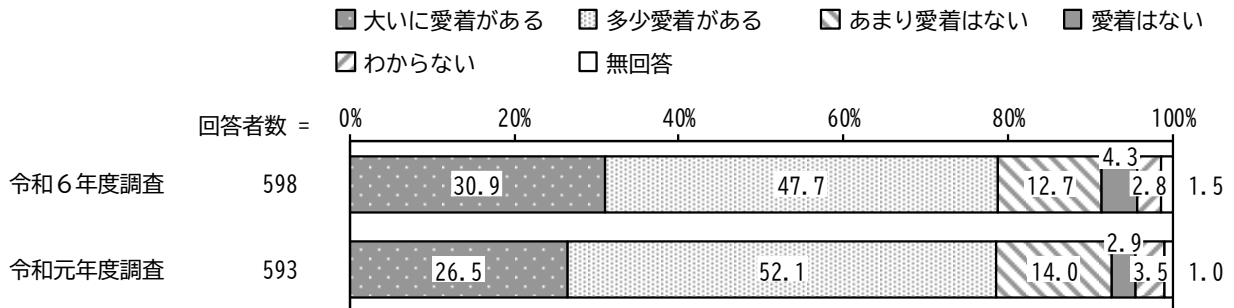


問2 大山崎町での暮らしへの愛着

あなたは、大山崎町での生活に愛着を感じていますか。当てはまる番号に○印をつけてください。(○は1つだけ)

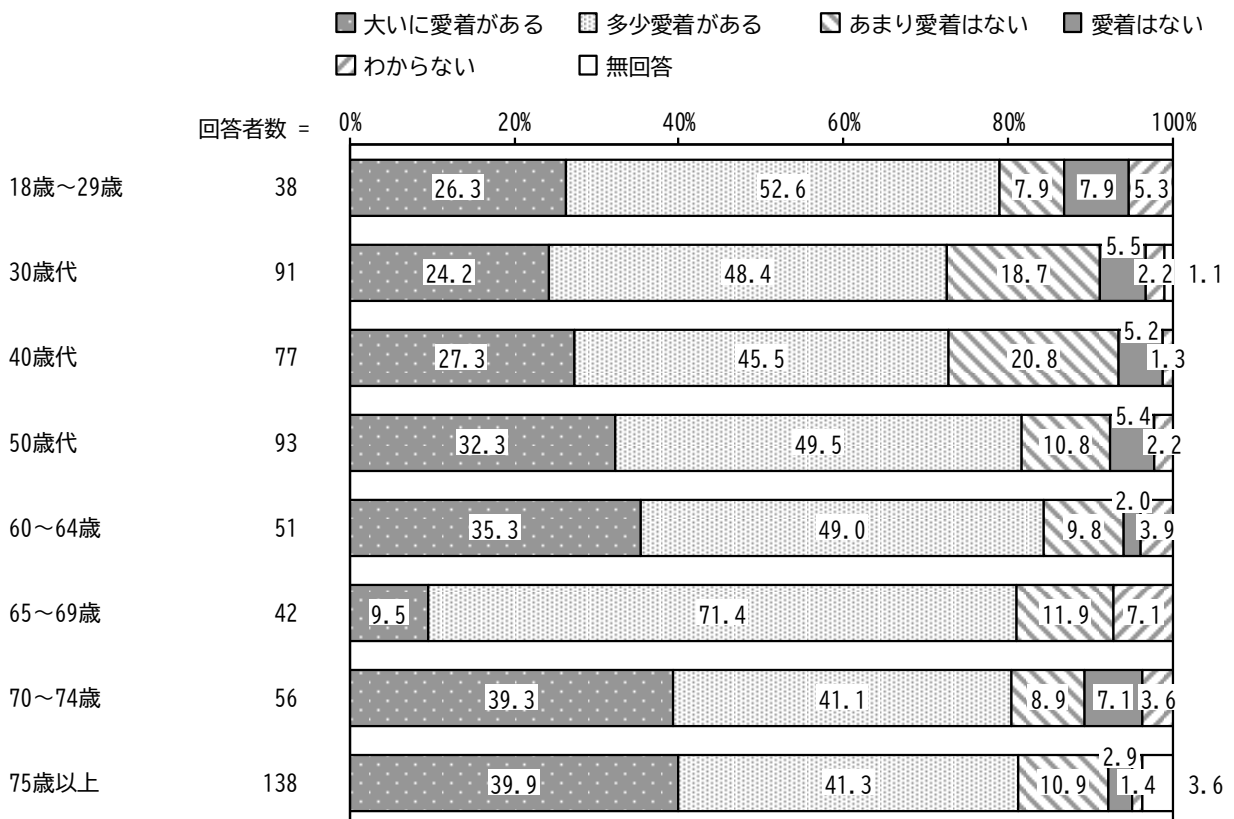
「大いに愛着がある」「多少愛着がある」を合わせた「愛着がある」の割合が 78.6%、「あまり愛着はない」「愛着はない」を合わせた「愛着はない」の割合が 17.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



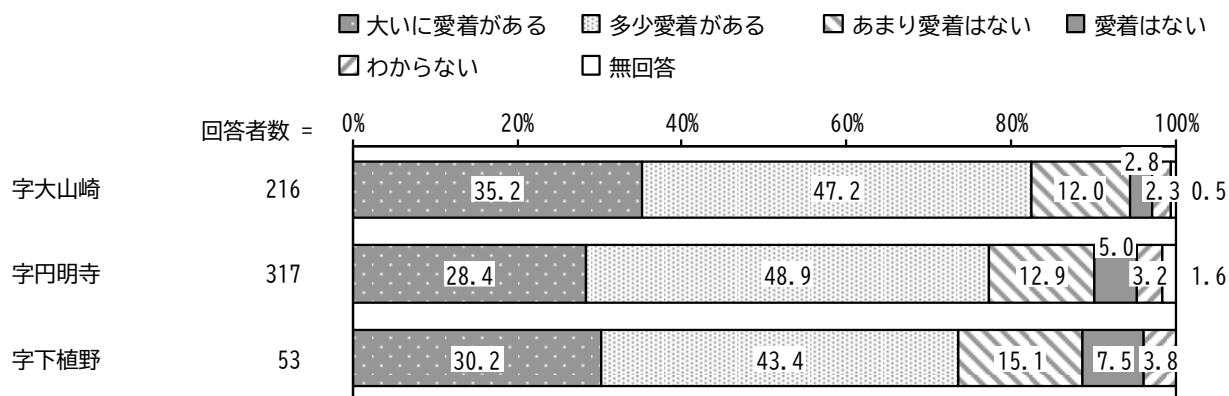
【年齢別】

年齢別にみると、「大いに愛着がある」について 65～69 歳で低く、「あまり愛着はない」について 30 歳代、40 歳代で高くなっています。



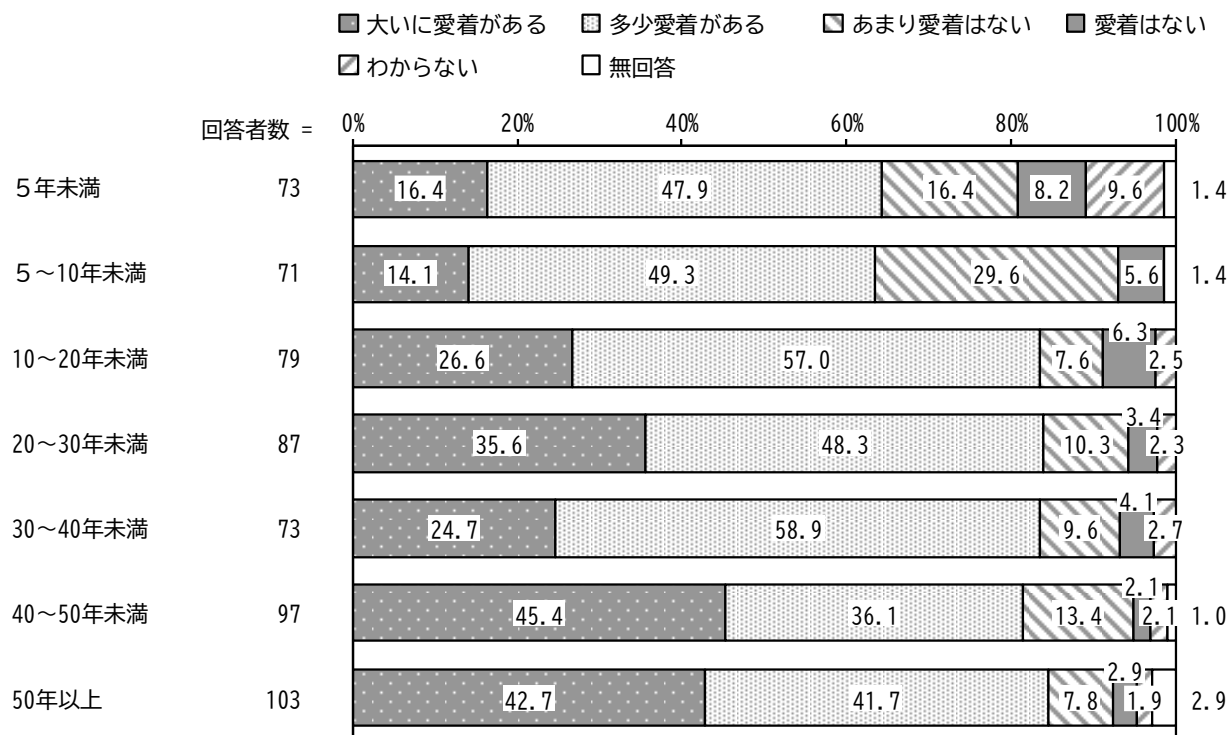
【地区別】

地区別にみると、「大いに愛着がある」について字大山崎で高くなっています。



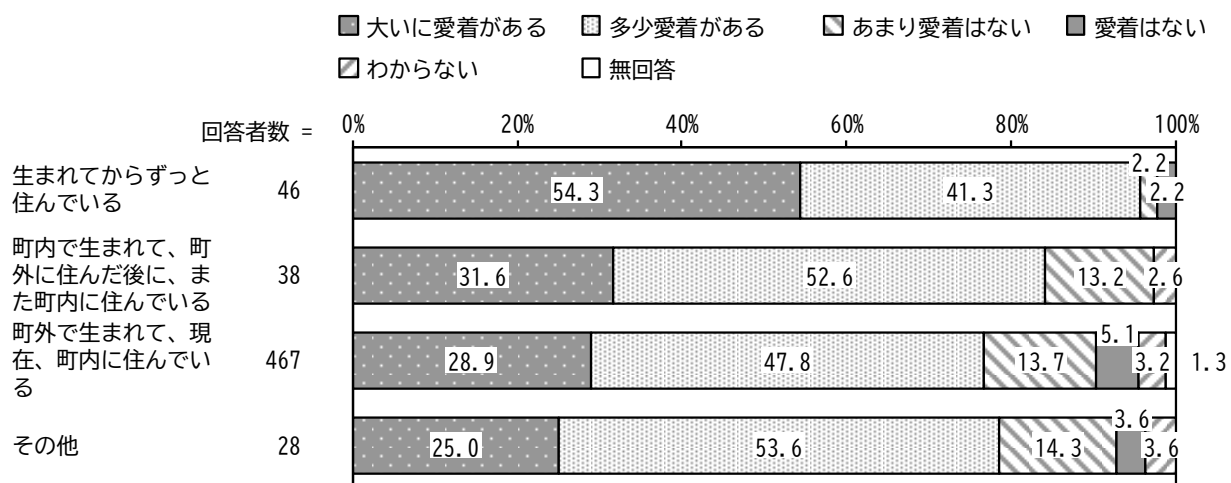
【通算居住年数別】

通算居住年数別にみると、「多少愛着がある」について30～40年未満で高く、40～50年未満で低く、「あまり愛着はない」について5～10年未満で高くなっています。



【居住歴別】

居住歴別にみると、「あまり愛着はない」について生まれてからずっと住んでいるで低くなっています。

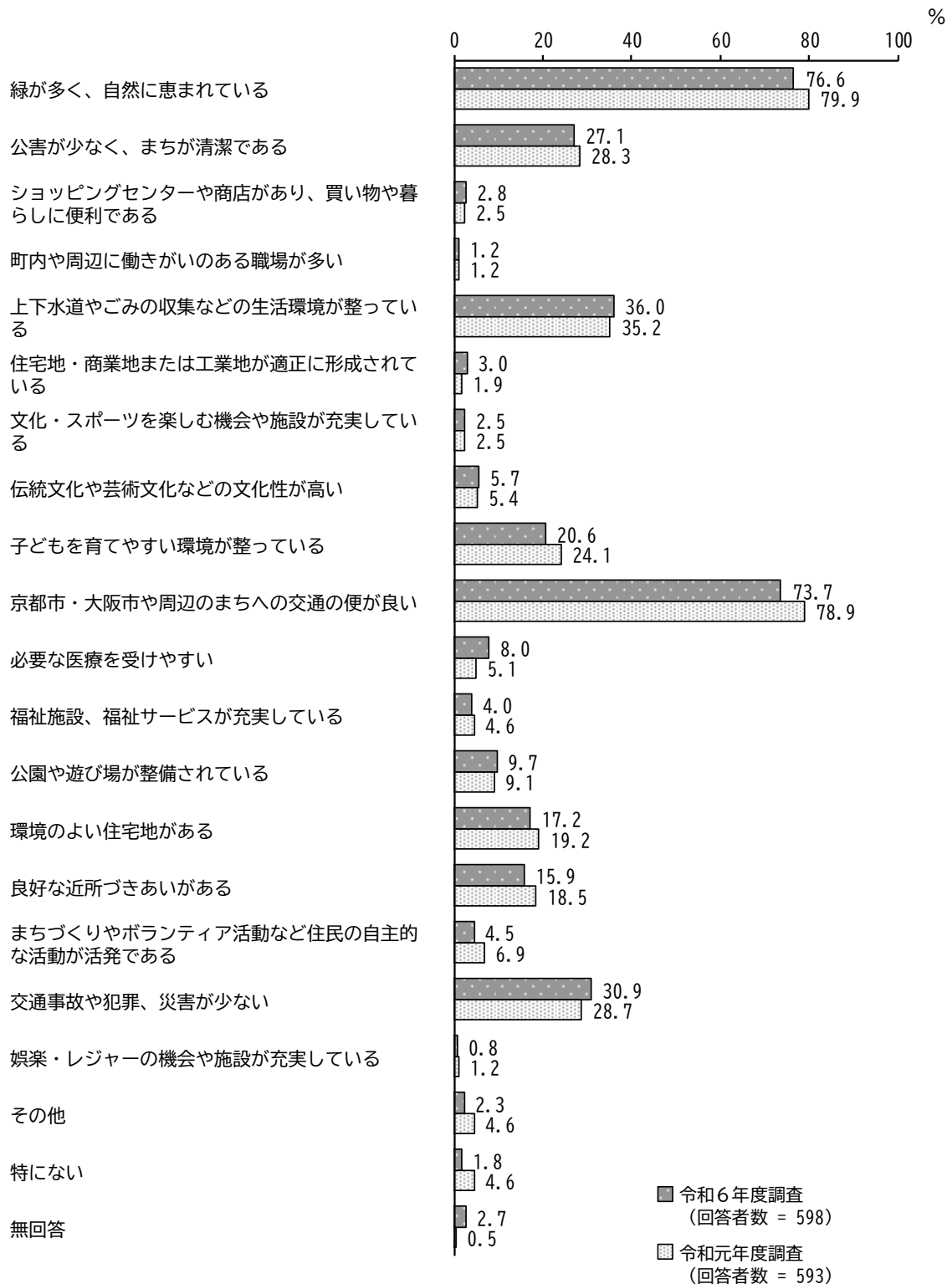


問3 大山崎町の魅力・よいところ

あなたが、大山崎町の魅力・よいところであると思うことは何ですか。当てはまる番号に○印をつけてください。(○は5つまで)

「緑が多く、自然に恵まれている」の割合が76.6%と最も高く、次いで「京都市・大阪市や周辺のまちへの交通の便が良い」の割合が73.7%、「上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている」の割合が36.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「京都市・大阪市や周辺のまちへの交通の便が良い」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、「緑が多く、自然に恵まれている」について18歳～29歳、60～64歳で低く、「公害が少なく、まちが清潔である」について75歳以上で高く、「住宅地・商業地または工業地が適正に形成されている」について65～69歳で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	緑が多く、自然に恵まれている	公害が少なく、まちが清潔である	ショッピングセンターや商店があり、買い物や暮らしに便利である	町内や周辺に働きがいのある職場が多い	上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている	住宅地・商業地または工業地が適正に形成されている	文化・スポーツを楽しむ機会や施設が充実している	伝統文化や芸術文化などの文化性が高い	子どもを育てやすい環境が整っている	京都市・大阪市や周辺のまちへの交通の便が良い
全体	598	76.6	27.1	2.8	1.2	36.0	3.0	2.5	5.7	20.6	73.7
18歳～29歳	38	68.4	31.6	—	—	13.2	2.6	7.9	10.5	21.1	86.8
30歳代	91	75.8	22.0	2.2	3.3	17.6	—	1.1	6.6	28.6	68.1
40歳代	77	77.9	22.1	—	—	18.2	2.6	—	2.6	32.5	75.3
50歳代	93	79.6	29.0	4.3	3.2	29.0	4.3	5.4	8.6	18.3	72.0
60～64歳	51	70.6	19.6	2.0	—	31.4	—	2.0	3.9	23.5	68.6
65～69歳	42	76.2	21.4	—	—	31.0	9.5	—	2.4	7.1	90.5
70～74歳	56	80.4	25.0	1.8	—	39.3	3.6	—	7.1	25.0	76.8
75歳以上	138	77.5	37.0	4.3	0.7	69.6	2.2	2.9	5.1	12.3	71.0

区分	必要な医療を受けやすい	福祉施設、福祉サービスが充実している	公園や遊び場が整備されている	環境のよい住宅地がある	良好な近所づきあいがあ	まちづくりやボランティア活動など住民の自主的な活動が活発である	交通事故や犯罪、災害が少ない	娯楽・レジャーの機会や施設が充実している	その他	特にな	無回答
全体	8.0	4.0	9.7	17.2	15.9	4.5	30.9	0.8	2.3	1.8	2.7
18歳～29歳	7.9	7.9	10.5	15.8	7.9	7.9	31.6	—	5.3	—	—
30歳代	5.5	1.1	23.1	18.7	18.7	2.2	16.5	1.1	1.1	1.1	2.2
40歳代	6.5	2.6	14.3	13.0	16.9	3.9	24.7	—	1.3	3.9	1.3
50歳代	6.5	5.4	3.2	26.9	16.1	3.2	23.7	—	4.3	4.3	1.1
60～64歳	3.9	5.9	7.8	17.6	19.6	3.9	35.3	—	—	2.0	3.9
65～69歳	9.5	2.4	4.8	14.3	16.7	4.8	47.6	—	4.8	2.4	—
70～74歳	8.9	3.6	5.4	14.3	14.3	5.4	35.7	1.8	—	—	3.6
75歳以上	12.3	5.1	6.5	15.2	13.8	6.5	40.6	2.2	2.9	0.7	4.3

【地区別】

地区別にみると、「良好な近所づきあいがある」について字下植野で高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	緑が多く、自然に恵まれている	公害が少なく、まちが清潔である	ショッピングセンターや商店があり、買い物や暮らしに便利である	町内や周辺に働きがいのある職場が多い	上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている	住宅地・商業地または工業地が適正に形成されている	文化・スポーツを楽しむ機会や施設が充実している	伝統文化や芸術文化などの文化性が高い	子どもを育てやすい環境が整っている	京都市・大阪市や周辺のまちへの交通の便が良い
全体	598	76.6	27.1	2.8	1.2	36.0	3.0	2.5	5.7	20.6	73.7
字大山崎	216	78.7	20.8	1.9	0.9	34.7	2.8	1.4	6.9	15.3	79.2
字円明寺	317	76.3	32.2	3.2	1.3	36.6	2.8	2.8	4.4	23.3	72.2
字下植野	53	69.8	22.6	1.9	1.9	34.0	3.8	3.8	9.4	28.3	64.2

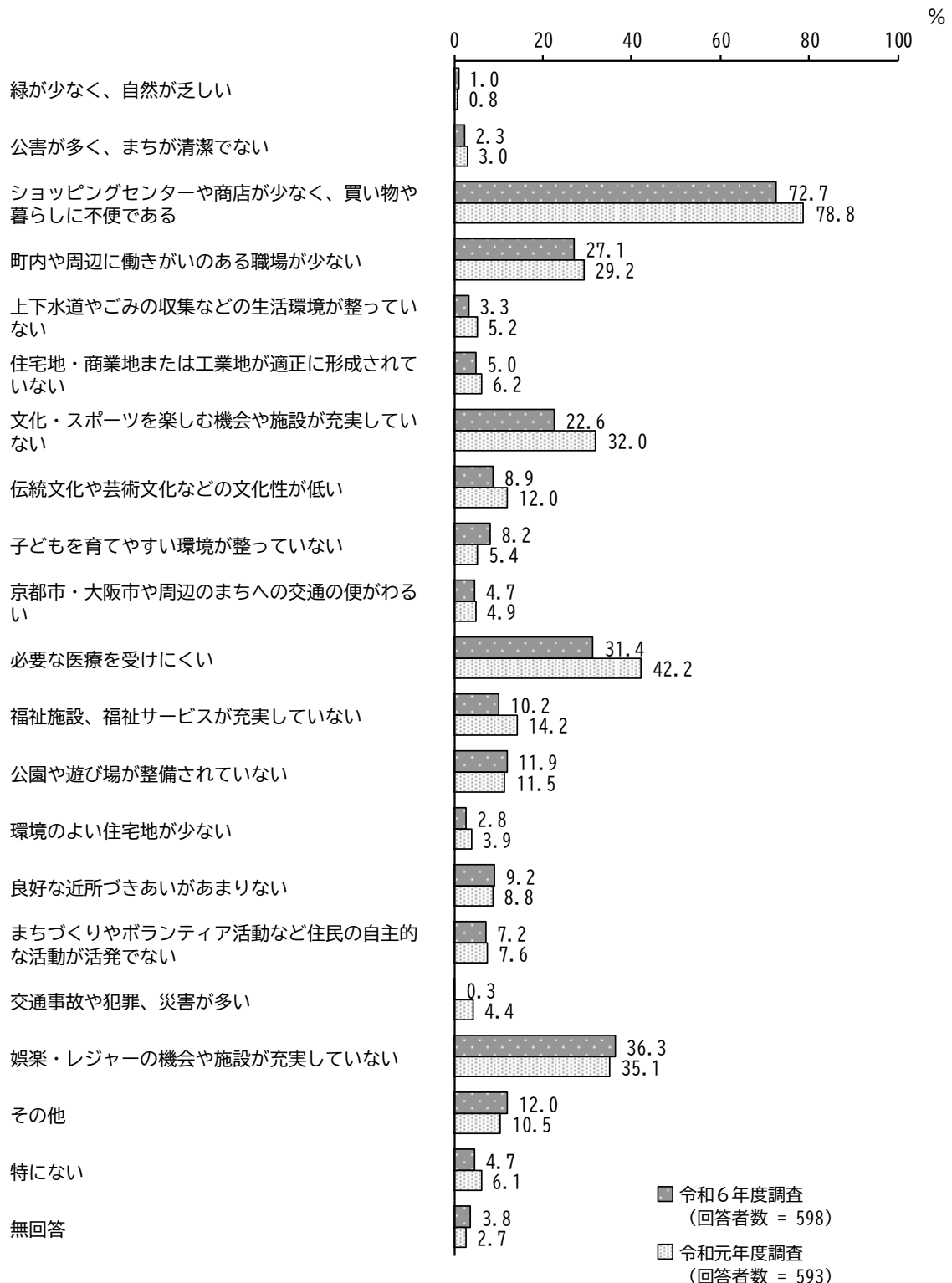
区分	必要な医療を受けやすい	福祉施設、福祉サービスが充実している	公園や遊び場が整備されている	環境のよい住宅地がある	良好な近所づきあいがある	まちづくりやボランティア活動など住民の自主的な活動が活発である	交通事故や犯罪、災害が少ない	娯楽・レジャーの機会や施設が充実している	その他	特にない	無回答
全体	8.0	4.0	9.7	17.2	15.9	4.5	30.9	0.8	2.3	1.8	2.7
字大山崎	6.0	6.0	6.0	14.8	15.3	4.2	26.4	0.9	2.8	2.3	2.8
字円明寺	10.4	3.2	11.0	19.2	14.2	4.7	31.5	0.6	1.9	1.6	2.5
字下植野	1.9	1.9	18.9	17.0	26.4	5.7	45.3	1.9	3.8	1.9	—

問4 大山崎町のよくないところ

あなたが、大山崎町のよくないところであると思うことは何ですか。当てはまる番号に○印をつけてください。(○は5つまで)

「ショッピングセンターや商店が少なく、買い物や暮らしに不便である」の割合が72.7%と最も高く、次いで「娯楽・レジャーの機会や施設が充実していない」の割合が36.3%、「必要な医療を受けにくい」の割合が31.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「ショッピングセンターや商店が少なく、買い物や暮らしに不便である」「文化・スポーツを楽しむ機会や施設が充実していない」「必要な医療を受けにくい」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、「町内や周辺に働きがいのある職場が少ない」について60～64歳で高く、「伝統文化や芸術文化などの文化性が低い」について70～74歳、75歳以上で高く、「福祉施設、福祉サービスが充実していない」について18歳～29歳で低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	緑が少なく、自然が乏しい	公害が多く、まちが清潔でない	ショッピングセンターや商店が少なく、買い物や暮らしに不便である	町内や周辺に働きがいのある職場が少ない	上下水道やごみの収集などの生活環境が整っていない	住宅地・商業地または工業地が適正に形成されていない	文化・スポーツを楽しむ機会や施設が充実していない	伝統文化や芸術文化などの文化性が低い	子どもを育てやすい環境が整っていない	京都市・大阪市や周辺のまちへの交通の便がわるい
全体	598	1.0	2.3	72.7	27.1	3.3	5.0	22.6	8.9	8.2	4.7
18歳～29歳	38	—	—	76.3	31.6	7.9	—	15.8	2.6	18.4	—
30歳代	91	—	5.5	72.5	23.1	5.5	1.1	14.3	2.2	20.9	5.5
40歳代	77	1.3	1.3	79.2	33.8	6.5	9.1	23.4	5.2	9.1	1.3
50歳代	93	2.2	5.4	74.2	23.7	6.5	3.2	18.3	8.6	5.4	2.2
60～64歳	51	—	—	66.7	41.2	—	3.9	23.5	3.9	3.9	2.0
65～69歳	42	2.4	—	81.0	31.0	—	2.4	33.3	7.1	4.8	2.4
70～74歳	56	—	—	67.9	28.6	—	8.9	37.5	16.1	5.4	7.1
75歳以上	138	1.4	1.4	70.3	21.7	0.7	8.0	23.2	16.7	2.9	9.4

区分	必要な医療を受けにくい	福祉施設、福祉サービスが充実していない	公園や遊び場が整備されていない	環境のよい住宅地が少ない	良好な近所づきあいがあまりない	まちづくりやボランティア活動など住民の自主的な活動が活発でない	交通事故や犯罪、災害が多い	娯楽・レジャーの機会や施設が充実していない	その他	特になし	無回答
全体	31.4	10.2	11.9	2.8	9.2	7.2	0.3	36.3	12.0	4.7	3.8
18歳～29歳	21.1	—	23.7	—	2.6	2.6	2.6	63.2	13.2	5.3	—
30歳代	15.4	15.4	17.6	3.3	2.2	4.4	—	41.8	8.8	3.3	7.7
40歳代	37.7	5.2	13.0	1.3	5.2	1.3	—	37.7	16.9	6.5	1.3
50歳代	36.6	6.5	10.8	3.2	4.3	1.1	1.1	41.9	14.0	3.2	1.1
60～64歳	39.2	13.7	7.8	3.9	9.8	7.8	—	29.4	13.7	2.0	5.9
65～69歳	38.1	16.7	7.1	2.4	9.5	11.9	—	33.3	11.9	7.1	—
70～74歳	25.0	14.3	12.5	1.8	14.3	10.7	—	28.6	10.7	8.9	3.6
75歳以上	37.0	10.1	7.2	3.6	18.8	13.0	—	27.5	10.1	4.3	5.1

【地区別】

地区別にみると、「福祉施設、福祉サービスが充実していない」について字下植野で高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	緑が少なく、自然が乏しい	公害が多く、まちが清潔でない	ショッピングセンターや商店が少なく、買い物や暮らしに不便である	町内や周辺に働きがいのある職場が少ない	上下水道やごみの収集などの生活環境が整っていない	住宅地・商業地または工業地が適正に形成されていない	文化・スポーツを楽しむ機会や施設が充実していない	伝統文化や芸術文化などの文化性が低い	子どもを育てやすい環境が整っていない	京都市・大阪市や周辺のまちへの交通の便がわるい
全体	598	1.0	2.3	72.7	27.1	3.3	5.0	22.6	8.9	8.2	4.7
字大山崎	216	1.4	2.3	85.2	29.6	4.6	6.5	21.8	7.9	6.0	2.8
字円明寺	317	0.9	2.2	64.0	25.9	2.2	3.8	24.0	10.7	9.5	6.0
字下植野	53	-	3.8	77.4	26.4	5.7	7.5	20.8	3.8	11.3	3.8

区分	必要な医療を受けにくい	福祉施設、福祉サービスが充実していない	公園や遊び場が整備されていない	環境のよい住宅地が少ない	良好な近所づきあいがあまりない	まちづくりやボランティア活動など住民の自主的な活動が活発でない	交通事故や犯罪、災害が多い	娯楽・レジャーの機会や施設が充実していない	その他	特になし	無回答
全体	31.4	10.2	11.9	2.8	9.2	7.2	0.3	36.3	12.0	4.7	3.8
字大山崎	48.6	11.6	11.1	2.8	9.3	8.3	0.5	33.3	10.6	3.2	1.4
字円明寺	19.6	8.5	12.0	2.8	8.8	5.0	0.3	36.6	13.6	5.4	5.4
字下植野	34.0	15.1	11.3	1.9	11.3	11.3	-	47.2	11.3	7.5	1.9

【通算居住年数別】

通算居住年数別にみると、「上下水道やごみの収集などの生活環境が整っていない」について5年未満で高く、「伝統文化や芸術文化などの文化性が低い」について40～50年未満で高く、「福祉施設、福祉サービスが充実していない」について30～40年未満で高く、10～20年未満で低く、「公園や遊び場が整備されていない」について50年以上で低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	緑が少なく、自然が乏しい	公害が多く、まちが清潔でない	ショッピングセンターや商店が少なく、買い物や暮らしに不便である	町内や周辺に働きがいのある職場が少ない	上下水道やごみの収集などの生活環境が整っていない	住宅地・商業地または工業地が適正に形成されていない	文化・スポーツを楽しむ機会や施設が充実していない	伝統文化や芸術文化などの文化性が低い	子どもを育てやすい環境が整っていない	京都市・大阪市や周辺のまちへの交通の便がわるい
全体	598	1.0	2.3	72.7	27.1	3.3	5.0	22.6	8.9	8.2	4.7
5年未満	73	—	4.1	79.5	19.2	12.3	2.7	15.1	5.5	24.7	4.1
5～10年未満	71	—	2.8	76.1	22.5	7.0	4.2	15.5	2.8	8.5	1.4
10～20年未満	79	1.3	2.5	73.4	31.6	2.5	5.1	22.8	3.8	12.7	5.1
20～30年未満	87	—	1.1	79.3	33.3	2.3	3.4	23.0	3.4	5.7	2.3
30～40年未満	73	1.4	—	69.9	31.5	—	2.7	26.0	11.0	2.7	1.4
40～50年未満	97	2.1	1.0	63.9	27.8	1.0	7.2	30.9	19.6	5.2	7.2
50年以上	103	1.9	4.9	71.8	25.2	1.0	8.7	23.3	13.6	2.9	6.8

区分	必要な医療を受けにくい	福祉施設、福祉サービスが充実していない	公園や遊び場が整備されていない	環境のよい住宅地が少ない	良好な近所づきあいがあまりない	まちづくりやボランティア活動など住民の自主的な活動が活発でない	交通事故や犯罪、災害が多い	娯楽・レジャーの機会や施設が充実していない	その他	特にない	無回答
全体	31.4	10.2	11.9	2.8	9.2	7.2	0.3	36.3	12.0	4.7	3.8
5年未満	21.9	11.0	16.4	2.7	5.5	4.1	1.4	41.1	11.0	5.5	—
5～10年未満	22.5	9.9	15.5	1.4	4.2	1.4	—	39.4	15.5	5.6	5.6
10～20年未満	34.2	5.1	16.5	1.3	5.1	3.8	—	40.5	11.4	6.3	1.3
20～30年未満	35.6	8.0	12.6	5.7	8.0	6.9	—	42.5	11.5	4.6	1.1
30～40年未満	31.5	13.7	8.2	—	9.6	5.5	—	35.6	12.3	5.5	5.5
40～50年未満	36.1	12.4	8.2	5.2	9.3	10.3	1.0	35.1	15.5	2.1	3.1
50年以上	35.0	11.7	5.8	1.9	19.4	11.7	—	26.2	8.7	4.9	6.8

【居住歴別】

居住歴別にみると、「町内や周辺に働きがいのある職場が少ない」について生まれてからずっと住んでいるで高く、「伝統文化や芸術文化などの文化性が低い」について町内で生まれて、町外に住んだ後に、また町内に住んでいるで高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	緑が少なく、自然が乏しい	公害が多く、まちが清潔でない	ショッピングセンターや商店が少なく、買い物や暮らしに不便である	町内や周辺に働きがいのある職場が少ない	上下水道やごみの収集などの生活環境が整っていない	住宅地・商業地または工業地が適正に形成されていない	文化・スポーツを楽しむ機会や施設が充実していない	伝統文化や芸術文化などの文化性が低い	子どもを育てやすい環境が整っていない	京都市・大阪市や周辺のまちへの交通の便がわるい
全体	598	1.0	2.3	72.7	27.1	3.3	5.0	22.6	8.9	8.2	4.7
生まれてからずっと住んでいる	46	2.2	4.3	73.9	41.3	4.3	6.5	21.7	8.7	2.2	—
町内で生まれて、町外に住んだ後に、また町内に住んでいる	38	5.3	7.9	76.3	23.7	2.6	7.9	21.1	18.4	7.9	5.3
町外で生まれて、現在、町内に住んでいる	467	0.6	1.5	72.8	25.9	3.4	4.7	22.9	8.8	8.4	5.1
その他	28	—	7.1	67.9	39.3	3.6	3.6	32.1	3.6	21.4	—

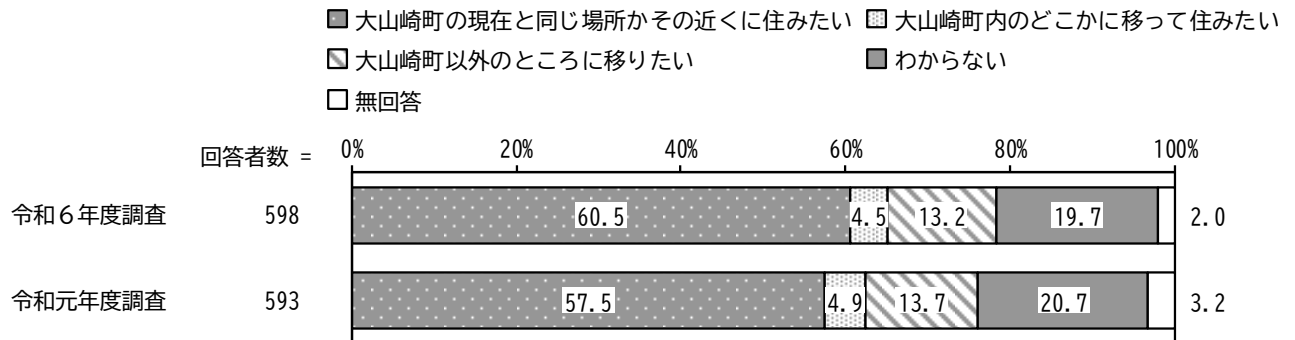
区分	必要な医療を受けにくい	福祉施設、福祉サービスが充実していない	公園や遊び場が整備されていない	環境のよい住宅地が少ない	良好な近所づきあいがあまりない	まちづくりやボランティア活動など住民の自主的な活動が活発でない	交通事故や犯罪、災害が多い	娯楽・レジャーの機会や施設が充実していない	その他	特になし	無回答
全体	31.4	10.2	11.9	2.8	9.2	7.2	0.3	36.3	12.0	4.7	3.8
生まれてからずっと住んでいる	30.4	6.5	4.3	2.2	6.5	6.5	—	37.0	8.7	6.5	4.3
町内で生まれて、町外に住んだ後に、また町内に住んでいる	26.3	5.3	10.5	5.3	7.9	10.5	2.6	47.4	21.1	—	5.3
町外で生まれて、現在、町内に住んでいる	32.1	10.3	12.4	2.6	9.6	6.6	0.2	36.0	12.2	4.7	3.4
その他	35.7	17.9	14.3	3.6	10.7	7.1	—	39.3	10.7	7.1	—

問5 大山崎町に住み続けたいか

あなたは、これからもずっと大山崎町に住み続けたいと思いますか。当てはまる番号に○印をつけてください。(○は1つだけ)

「大山崎町の現在と同じ場所かその近くに住みたい」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 19.7%、「大山崎町以外のところに移りたい」の割合が 13.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

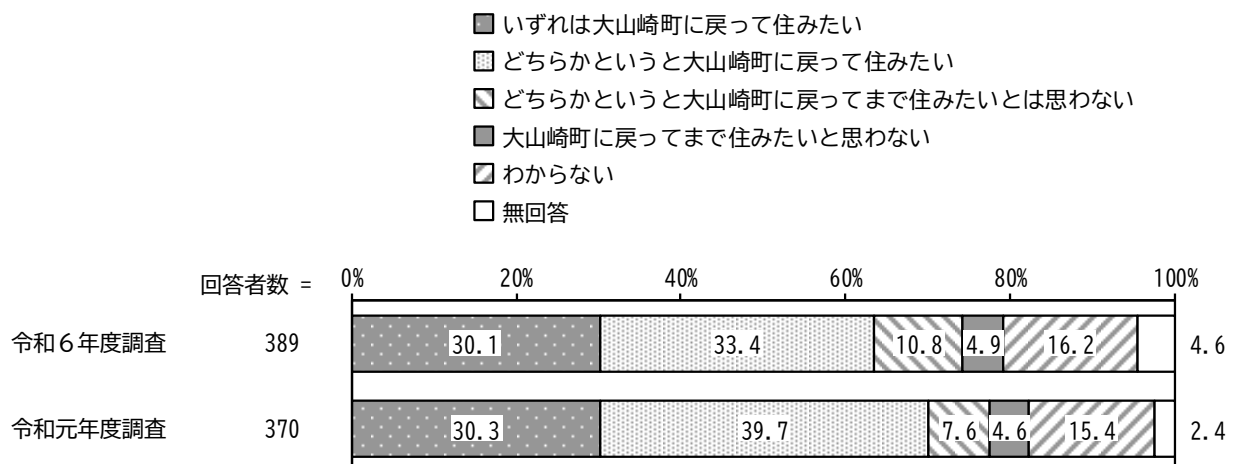


問6 問5で、「1」または「2」と回答した方にお聞きします（住みたさの度合い）

もしも、今後、仕事や家庭の事情でいったん町外に出ても、いずれは大山崎町に戻って住みたいと思いますか。自分の思いに一番近い番号に○印をつけてください。(○は1つだけ)

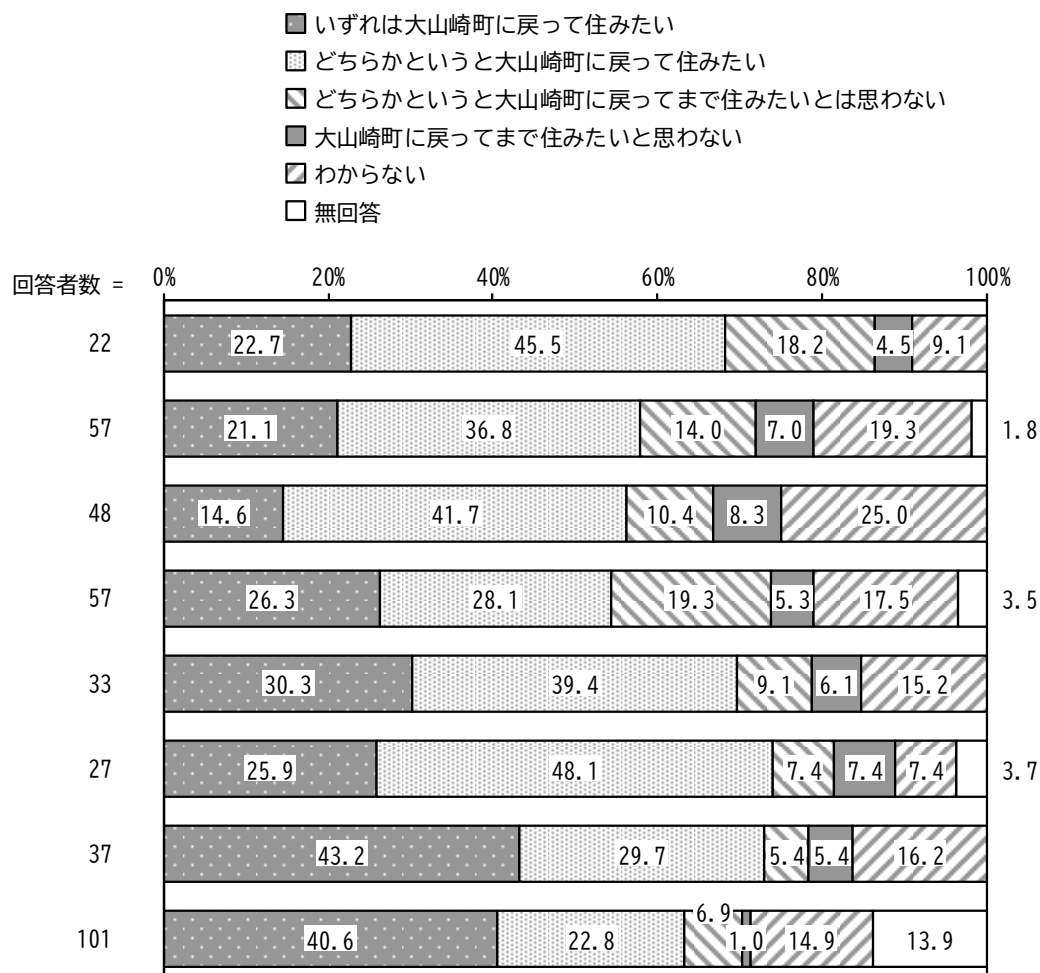
「どちらかという大山崎町に戻って住みたい」の割合が 33.4%と最も高く、次いで「いずれは大山崎町に戻って住みたい」の割合が 30.1%、「わからない」の割合が 16.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「どちらかという大山崎町に戻って住みたい」の割合が減少しています。



【年齢別】

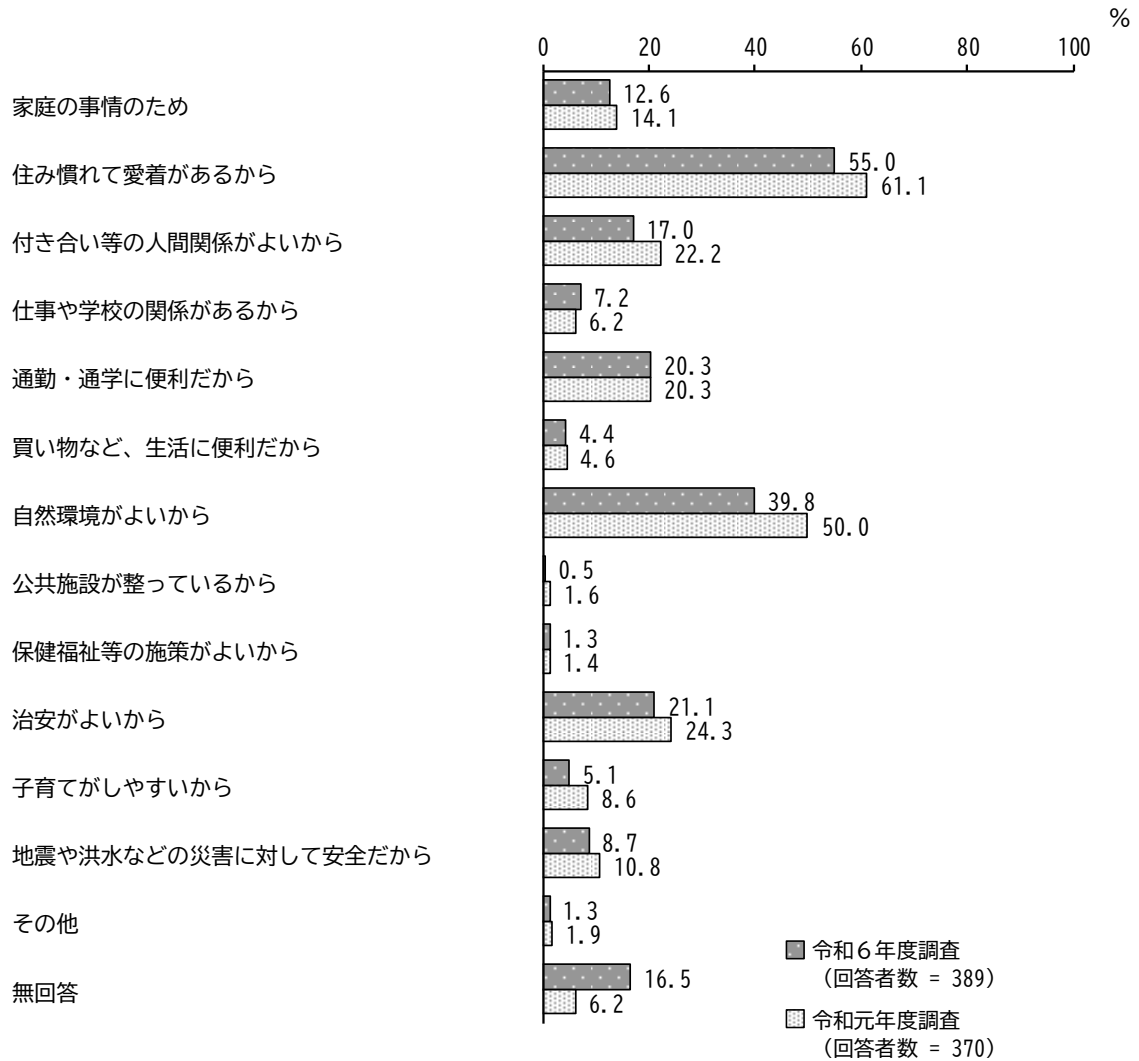
年齢別にみると、「いずれは大山崎町に戻って住みたい」について70～74歳で高く、40歳代で低く、「どちらかという大山崎町に戻ってまで住みたいとは思わない」について18歳～29歳、50歳代で高くなっています。



問7 問5で、「1」または「2」と回答した方へ（大山崎町に住みたい理由）
 あなたが、大山崎町に住みたいという理由はなぜですか。当てはまる番号に○印をつけてください。
 （○は3つまで）

「住み慣れて愛着があるから」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「自然環境がよいから」の割合が 39.8%、「治安がよいから」の割合が 21.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「住み慣れて愛着があるから」「付き合い等の人間関係がよいから」「自然環境がよいから」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、「仕事や学校の関係があるから」について30歳代で高く、「自然環境がよいかから」について75歳以上で高く、「子育てがしやすいから」について18歳～29歳、65～69歳で低くなっています。

単位：%

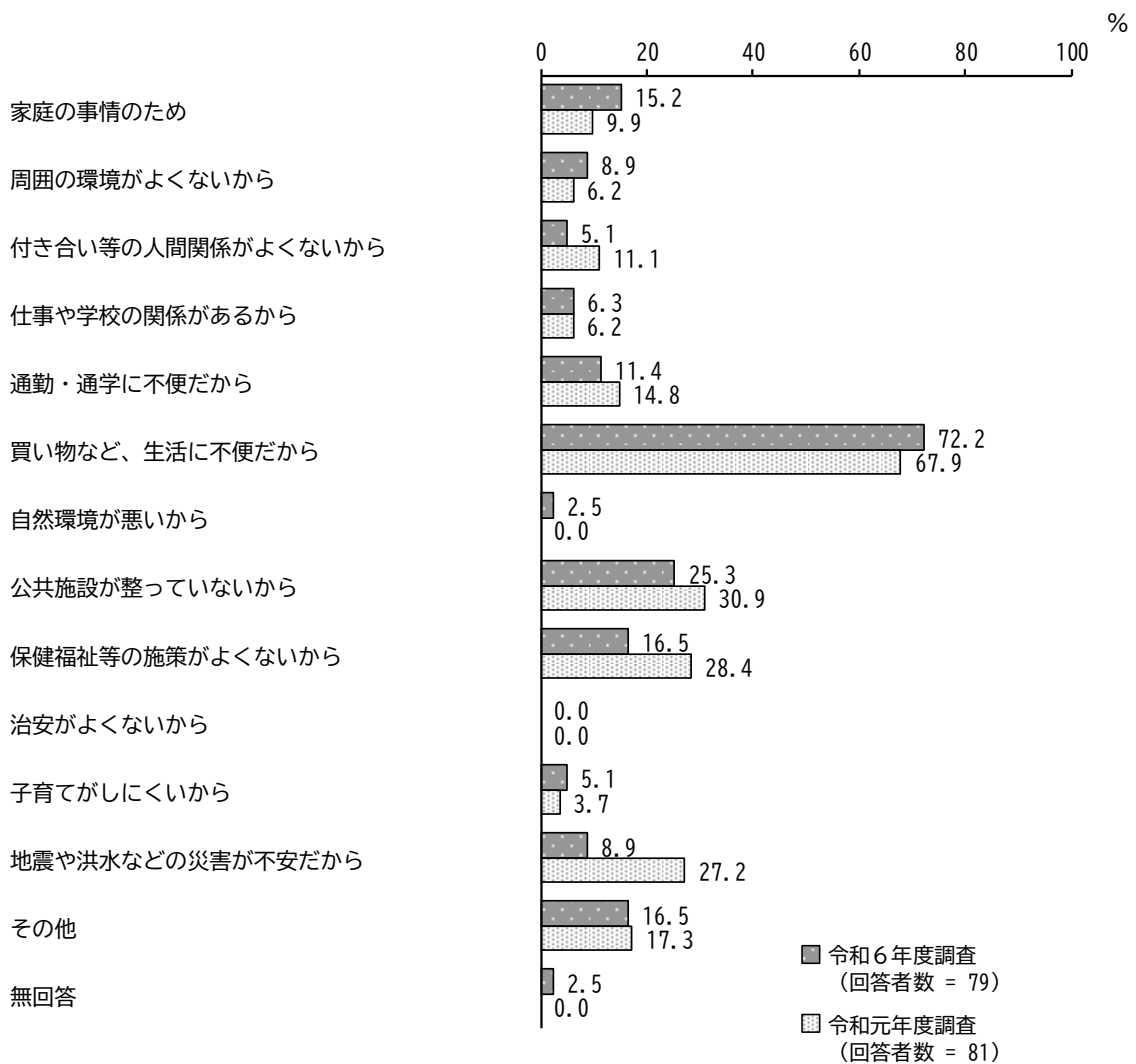
区分	回答者数(件)	家庭の事情のため	住み慣れて愛着があるから	付き合い等の人間関係がよいかから	仕事や学校の関係があるから	通勤・通学に便利だから	買い物など、生活に便利だから	自然環境がよいかから	公共施設が整っているから	保健福祉等の施策がよいかから	治安がよいかから	子育てがしやすいから	地震や洪水などの災害に対して安全だから	その他	無回答
全体	389	12.6	55.0	17.0	7.2	20.3	4.4	39.8	0.5	1.3	21.1	5.1	8.7	1.3	16.5
18歳～29歳	22	13.6	45.5	13.6	4.5	45.5	4.5	36.4	—	—	36.4	—	9.1	—	9.1
30歳代	57	12.3	43.9	24.6	19.3	26.3	3.5	28.1	—	1.8	22.8	8.8	3.5	—	19.3
40歳代	48	20.8	35.4	10.4	10.4	31.3	2.1	29.2	2.1	2.1	18.8	8.3	—	2.1	18.8
50歳代	57	17.5	50.9	15.8	12.3	22.8	1.8	35.1	—	—	24.6	3.5	1.8	—	21.1
60～64歳	33	6.1	66.7	9.1	3.0	27.3	9.1	36.4	—	3.0	33.3	6.1	6.1	—	12.1
65～69歳	27	11.1	66.7	11.1	—	22.2	—	37.0	—	—	18.5	—	11.1	7.4	14.8
70～74歳	37	13.5	64.9	16.2	2.7	10.8	—	48.6	—	—	13.5	8.1	13.5	—	18.9
75歳以上	101	6.9	64.4	21.8	—	5.9	6.9	53.5	1.0	2.0	14.9	3.0	18.8	1.0	14.9

問8 問5で、「3」と回答した方へ（町外へ移りたい理由）

あなたが、大山崎町から外へ移りたい理由はなぜですか。当てはまる番号に○印をつけてください。（○は3つまで）

「買い物など、生活に不便だから」の割合が72.2%と最も高く、次いで「公共施設が整っていないから」の割合が25.3%、「保健福祉等の施策がよくないから」の割合が16.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「家庭の事情のため」の割合が増加しています。一方、「付き合い等の人間関係がよくないから」「公共施設が整っていないから」「保健福祉等の施策がよくないから」「地震や洪水などの災害が不安だから」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、「家庭の事情のため」について30歳代で高く、「買い物など、生活に不便だから」について40歳代で高く、「自然環境が悪いから」について75歳以上で高く、「保健福祉等の施策がよくないから」について18歳～29歳、50歳代で低くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	家庭の事情のため	周囲の環境がよくないから	付き合い等の人間関係がよくないから	仕事や学校の関係があるから	通勤・通学に不便だから	買い物など、生活に不便だから	自然環境が悪いから	公共施設が整っていないから	保健福祉等の施策がよくないから	治安がよくないから	子育てがしにくいから	地震や洪水などの災害が不安だから	その他	無回答
全体	79	15.2	8.9	5.1	6.3	11.4	72.2	2.5	25.3	16.5	—	5.1	8.9	16.5	2.5
18歳～29歳	8	25.0	12.5	—	25.0	12.5	62.5	—	37.5	—	—	25.0	12.5	—	—
30歳代	14	35.7	21.4	7.1	7.1	21.4	57.1	7.1	7.1	14.3	—	14.3	—	7.1	7.1
40歳代	10	—	—	—	10.0	30.0	90.0	—	40.0	30.0	—	—	—	—	—
50歳代	12	16.7	—	—	8.3	—	66.7	—	16.7	—	—	—	—	25.0	—
60～64歳	8	—	12.5	12.5	—	—	75.0	—	25.0	25.0	—	—	25.0	37.5	—
65～69歳	4	25.0	—	—	—	—	50.0	—	25.0	—	—	—	25.0	50.0	25.0
70～74歳	7	14.3	14.3	14.3	—	14.3	85.7	—	28.6	28.6	—	—	—	28.6	—
75歳以上	14	7.1	7.1	7.1	—	7.1	78.6	7.1	28.6	21.4	—	—	21.4	14.3	—

問9 まちの分野別の現状評価と今後の重要度

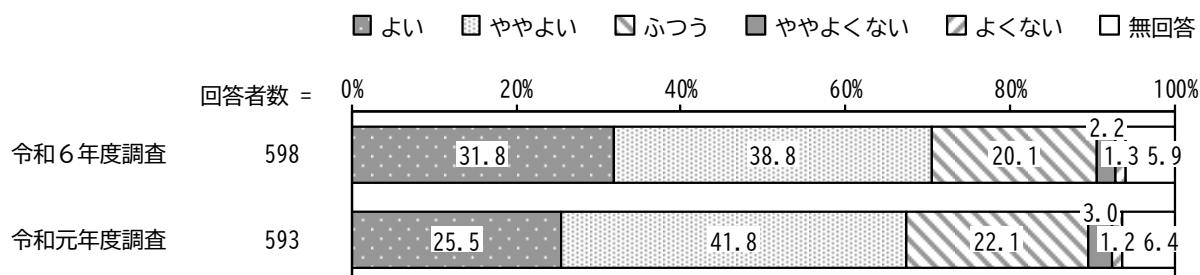
大山崎町の(1)～(35)の各項目について、現在の「まちの評価」について、1～5(よい～よくない)のどれか1つに○印をつけてください。また、今後の「まちづくりの重要度」について、1～4(重要～わからない)のどれか1つに○印をつけてください。

【現在の評価】

(1) 自然環境の保全・豊かさ

「よい」「ややよい」を合わせた「よい」の割合が70.6%、「ふつう」の割合が20.1%となっています。

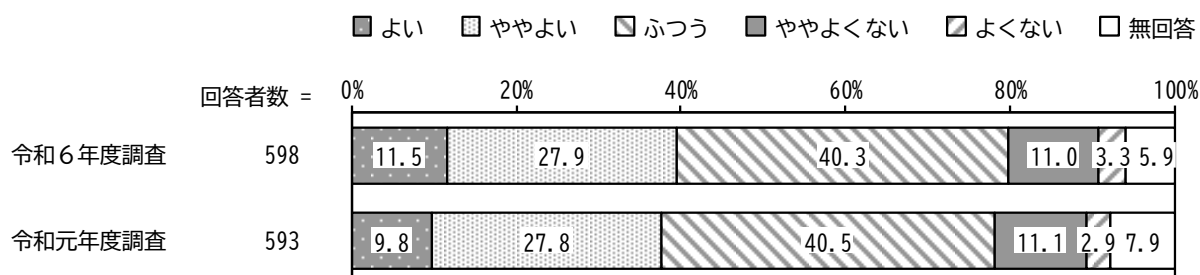
令和元年度調査と比較すると、「よい」の割合が増加しています。



(2) 公園・緑地等の環境

「よい」「ややよい」を合わせた”よい”の割合が39.4%、「ふつう」の割合が40.3%、「ややよくない」「よくない」を合わせた”よくない”の割合が14.3%となっています。

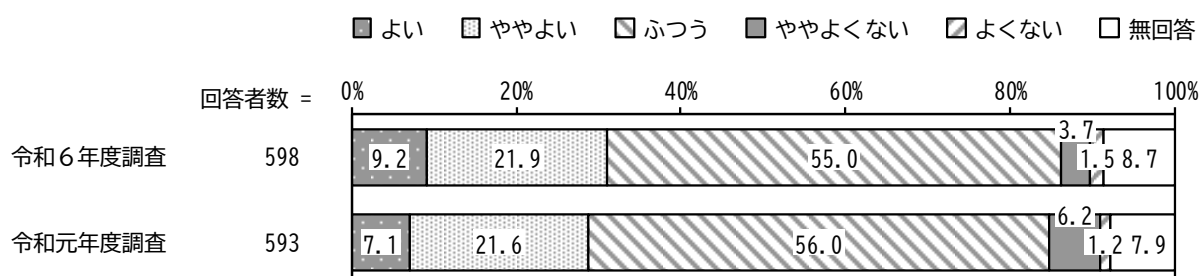
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(3) 環境に配慮した生活

「よい」「ややよい」を合わせた”よい”の割合が31.1%、「ふつう」の割合が55.0%となっています。

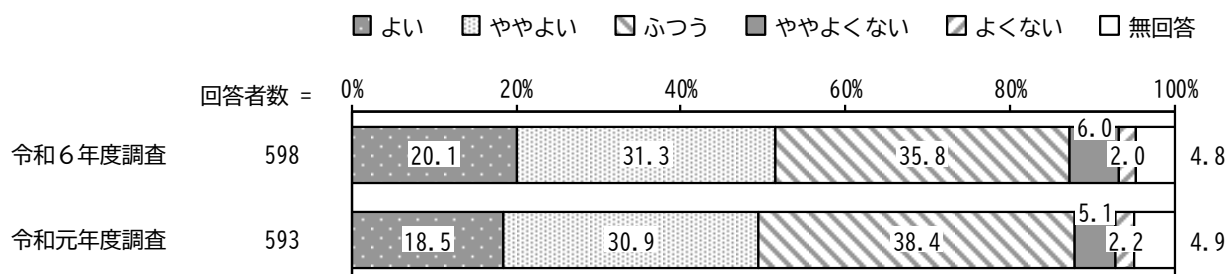
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(4) ごみの分別やリサイクル

「よい」「ややよい」を合わせた”よい”の割合が51.4%、「ふつう」の割合が35.8%となっています。

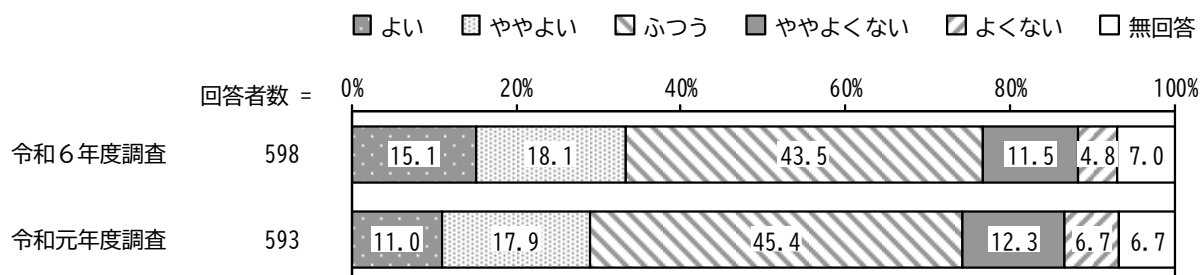
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(5) 騒音・振動等の公害の抑制

「よい」「ややよい」を合わせた”よい”の割合が33.2%、「ふつう」の割合が43.5%、「ややよくない」「よくない」を合わせた”よくない”の割合が16.3%となっています。

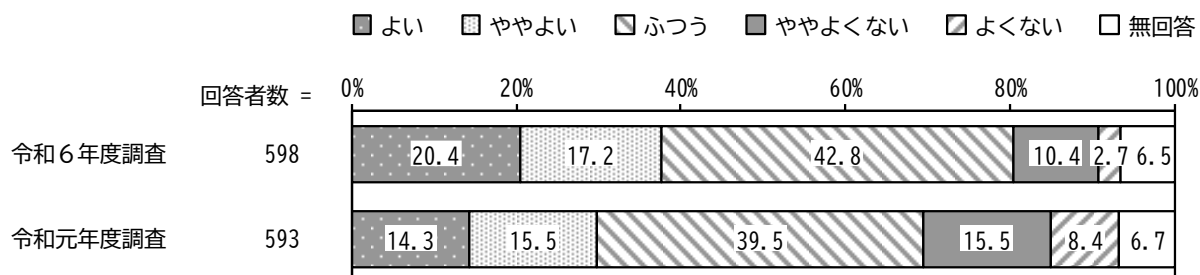
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(6) 上下水道

「よい」「ややよい」を合わせた”よい”の割合が37.6%、「ふつう」の割合が42.8%、「ややよくない」「よくない」を合わせた”よくない”の割合が13.1%となっています。

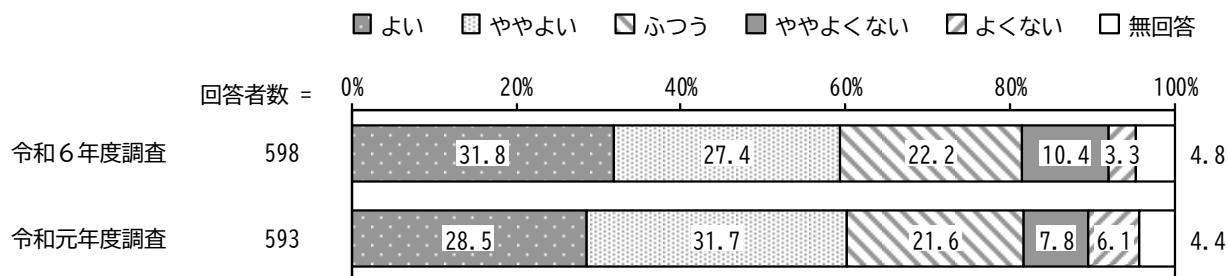
令和元年度調査と比較すると、「よい」の割合が増加しています。一方、「ややよくない」「よくない」の割合が減少しています。



(7) 鉄道交通の便利さ

「よい」「ややよい」を合わせた”よい”の割合が59.2%、「ふつう」の割合が22.2%、「ややよくない」「よくない」を合わせた”よくない”の割合が13.7%となっています。

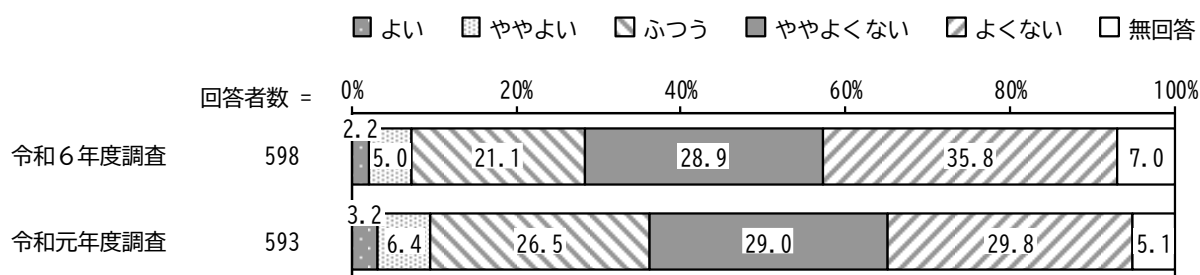
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(8) バス交通の便利さ

「よくない」の割合が35.8%と最も高く、次いで「ややよくない」の割合が28.9%、「ふつう」の割合が21.1%となっています。

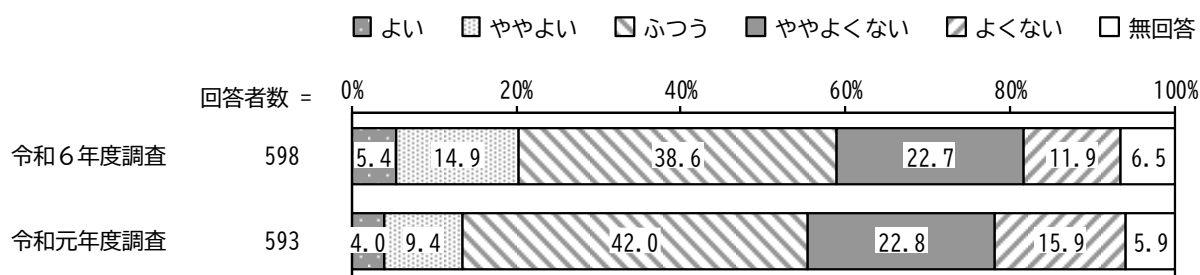
令和元年度調査と比較すると、「よくない」の割合が増加しています。一方、「ふつう」の割合が減少しています。



(9) 生活用道路の安全・快適さ

「よい」「ややよい」を合わせた「よい」の割合が20.3%、「ふつう」の割合が38.6%、「ややよくない」「よくない」を合わせた「よくない」の割合が34.6%となっています。

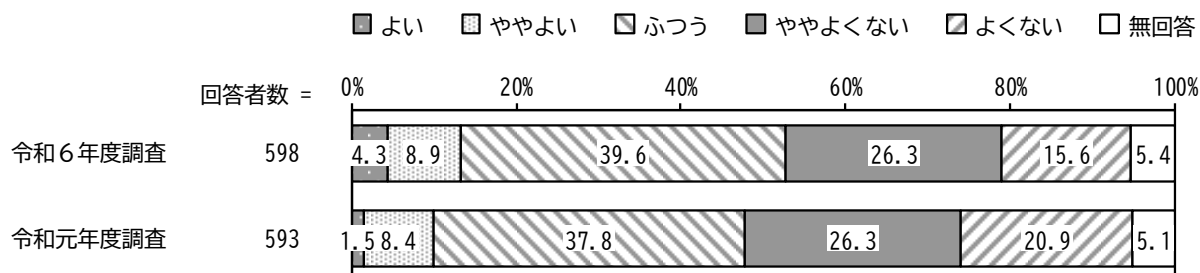
令和元年度調査と比較すると、「ややよい」の割合が増加しています。



(10) 歩道の段差・安全さ

「よい」「ややよい」を合わせた「よい」の割合が13.2%、「ふつう」の割合が39.6%、「ややよくない」「よくない」を合わせた「よくない」の割合が41.9%となっています。

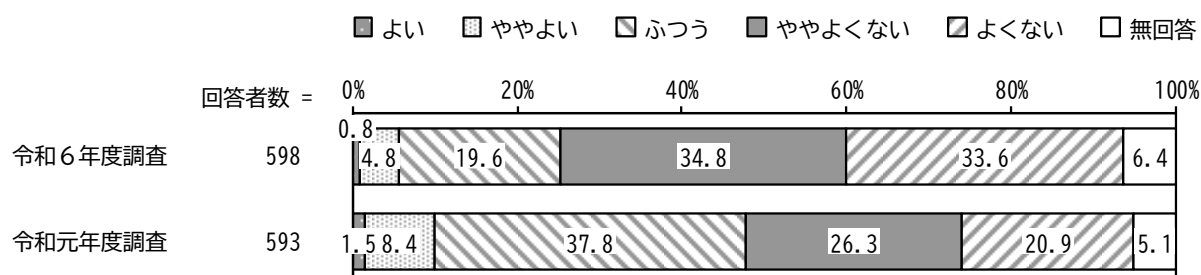
令和元年度調査と比較すると、「よくない」の割合が減少しています。



(11) 買物の便利さ

「ふつう」の割合が19.6%、「ややよくない」「よくない」を合わせた”よくない”の割合が68.4%となっています。

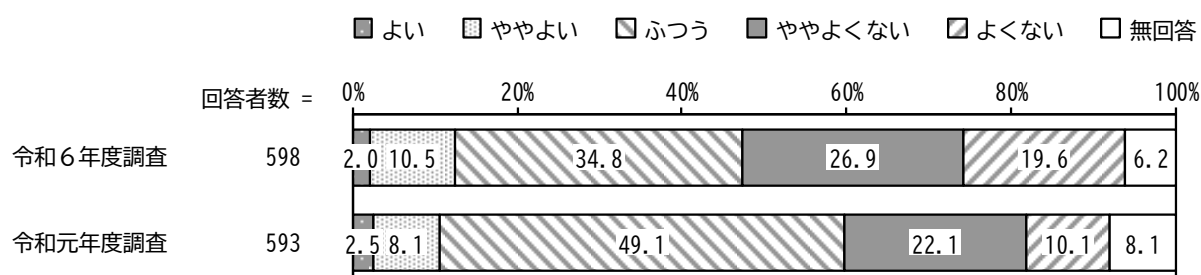
令和元年度調査と比較すると、「ややよくない」「よくない」の割合が増加しています。一方、「ふつう」の割合が減少しています。



(12) 医療機関への交通の便利さ

「よい」「ややよい」を合わせた”よい”の割合が12.5%、「ふつう」の割合が34.8%、「ややよくない」「よくない」を合わせた”よくない”の割合が46.5%となっています。

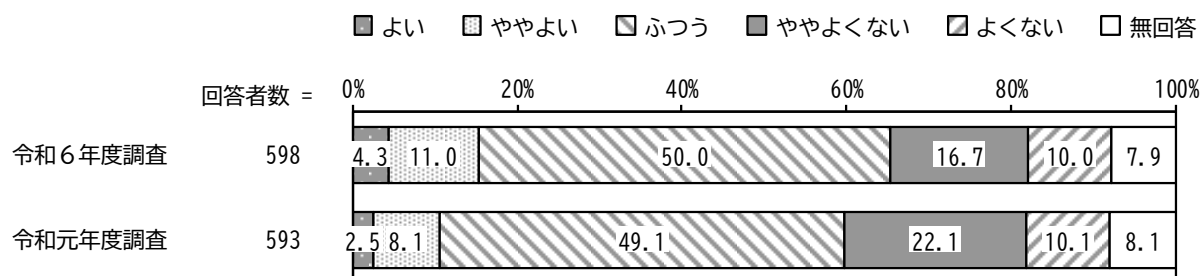
令和元年度調査と比較すると、「よくない」の割合が増加しています。一方、「ふつう」の割合が減少しています。



(13) 小中学校通学路の安全・快適さ

「よい」「ややよい」を合わせた”よい”の割合が15.3%、「ふつう」の割合が50.0%、「ややよくない」「よくない」を合わせた”よくない”の割合が26.7%となっています。

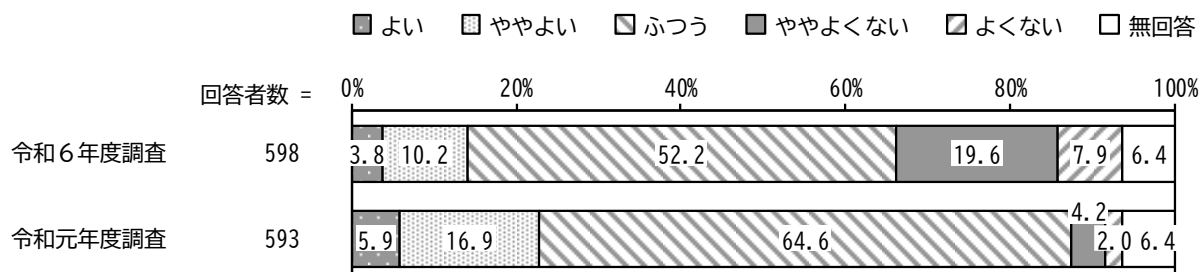
令和元年度調査と比較すると、「ややよくない」の割合が減少しています。



(14) 交通の安全性

「よい」「ややよい」を合わせた「よい」の割合が14.0%、「ふつう」の割合が52.2%、「ややよくない」「よくない」を合わせた「よくない」の割合が27.5%となっています。

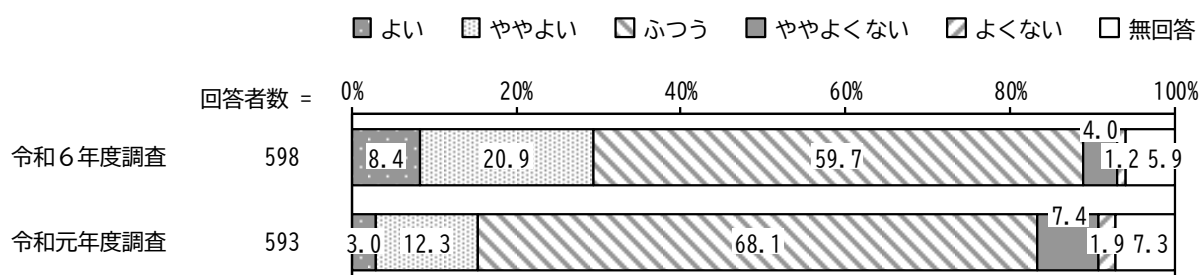
令和元年度調査と比較すると、「ややよくない」「よくない」の割合が増加しています。一方、「ややよい」「ふつう」の割合が減少しています。



(15) 消防・救急・防災

「よい」「ややよい」を合わせた「よい」の割合が29.3%、「ふつう」の割合が59.7%となっています。

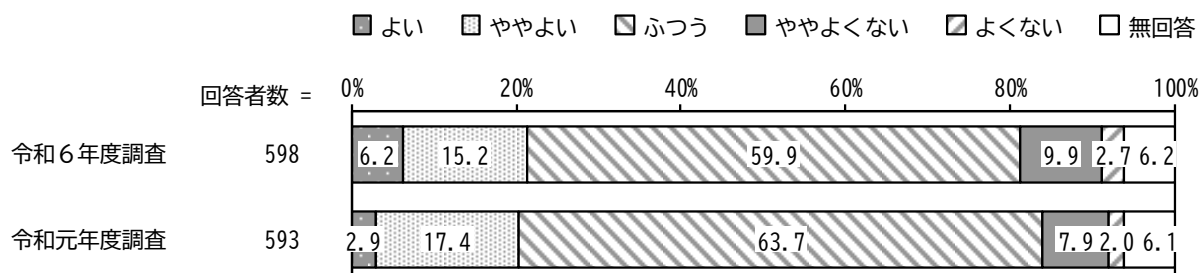
令和元年度調査と比較すると、「よい」「ややよい」の割合が増加しています。一方、「ふつう」の割合が減少しています。



(16) 防犯

「よい」「ややよい」を合わせた「よい」の割合が21.4%、「ふつう」の割合が59.9%、「ややよくない」「よくない」を合わせた「よくない」の割合が12.6%となっています。

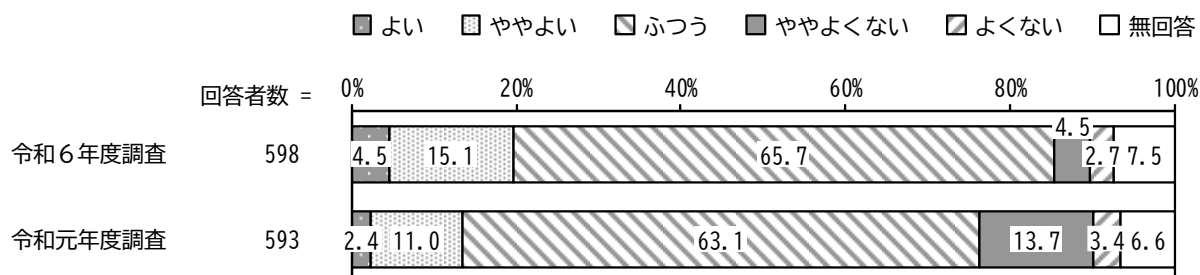
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(17) 健康づくり

「よい」「ややよい」を合わせた”よい”の割合が19.6%、「ふつう」の割合が65.7%となっています。

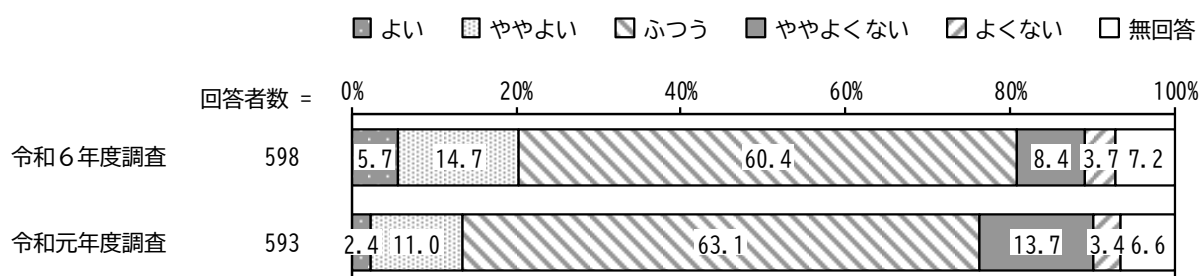
令和元年度調査と比較すると、「ややよくない」の割合が減少しています。



(18) 保健・医療

「よい」「ややよい」を合わせた”よい”の割合が20.4%、「ふつう」の割合が60.4%、「ややよくない」「よくない」を合わせた”よくない”の割合が12.1%となっています。

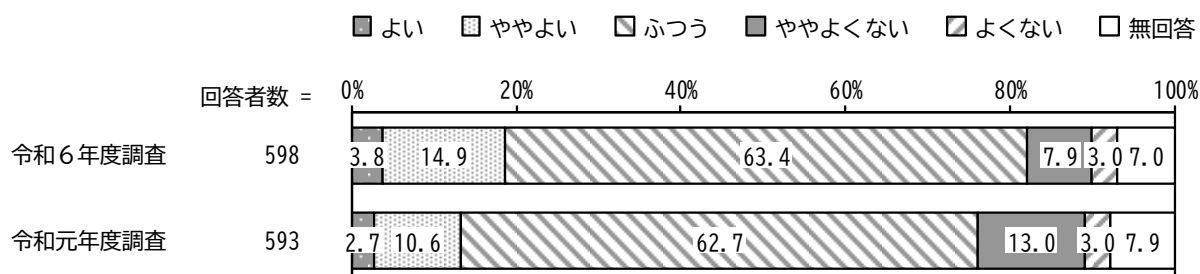
令和元年度調査と比較すると、「ややよくない」の割合が減少しています。



(19) 福祉

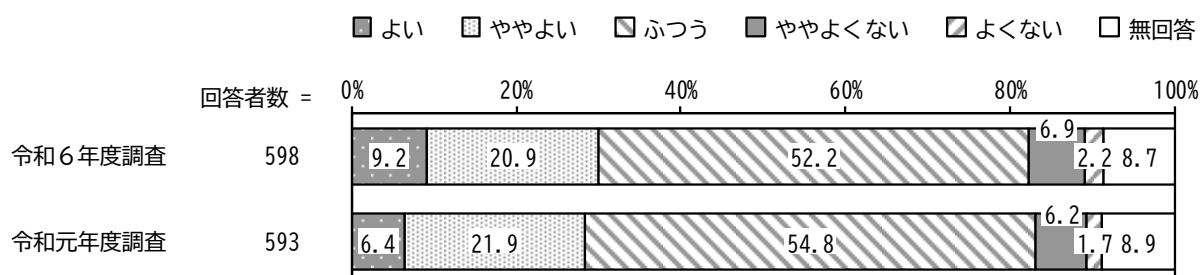
「よい」「ややよい」を合わせた”よい”の割合が18.7%、「ふつう」の割合が63.4%、「ややよくない」「よくない」を合わせた”よくない”の割合が10.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「ややよくない」の割合が減少しています。



(20) 子育ての環境

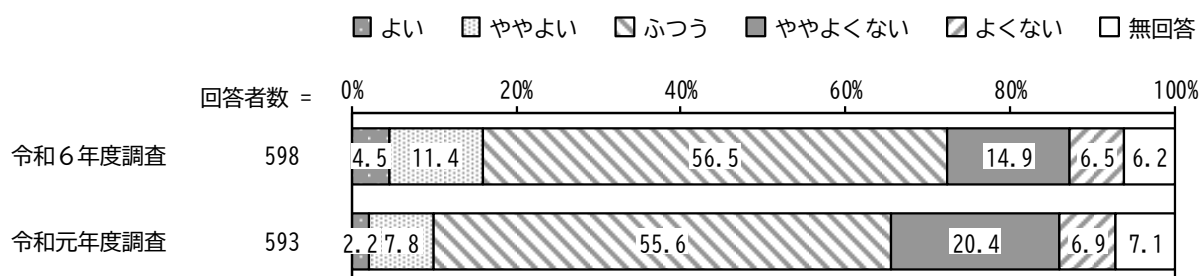
「ふつう」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「ややよい」の割合が 20.9%となっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(21) 高齢者や障がい者に配慮した環境

「ふつう」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「ややよくない」の割合が 14.9%、「ややよい」の割合が 11.4%となっています。

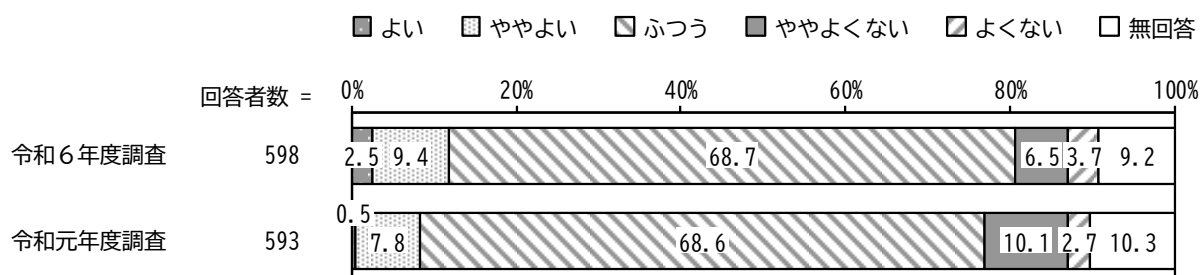
令和元年度調査と比較すると、「ややよくない」の割合が減少しています。



(22) 生涯学習活動

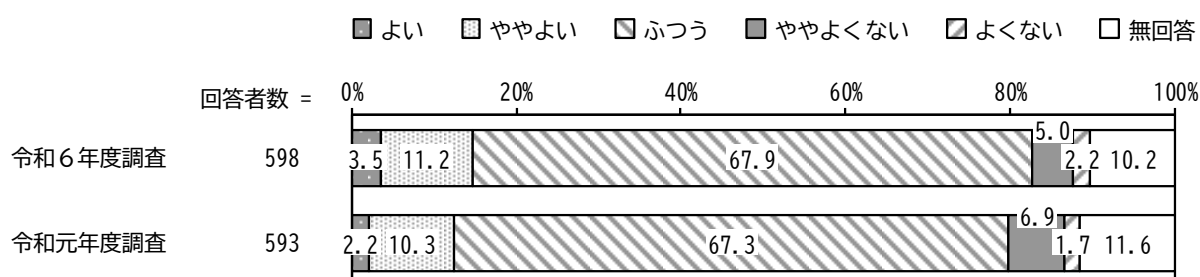
「ふつう」の割合が 68.7%と最も高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



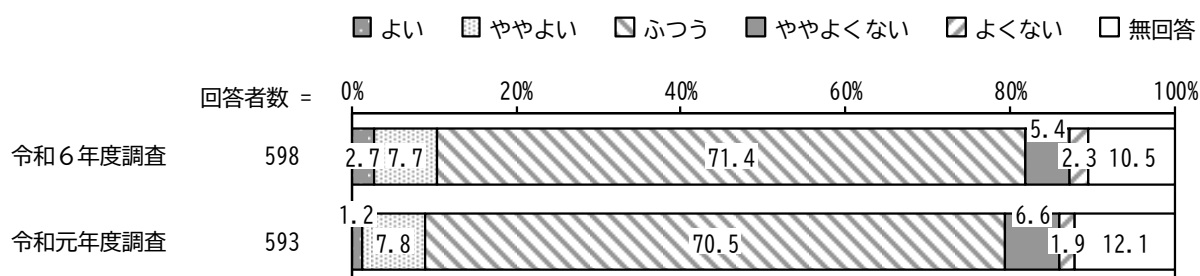
(23) 学校教育

「ふつう」の割合が 67.9%と最も高く、次いで「ややよい」の割合が 11.2%となっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(24) 青少年の健全育成

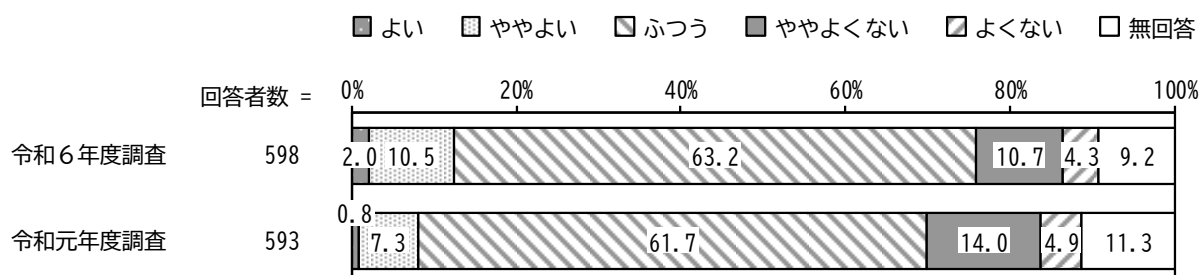
「ふつう」の割合が 71.4%と最も高くなっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(25) 文化・スポーツ活動の環境

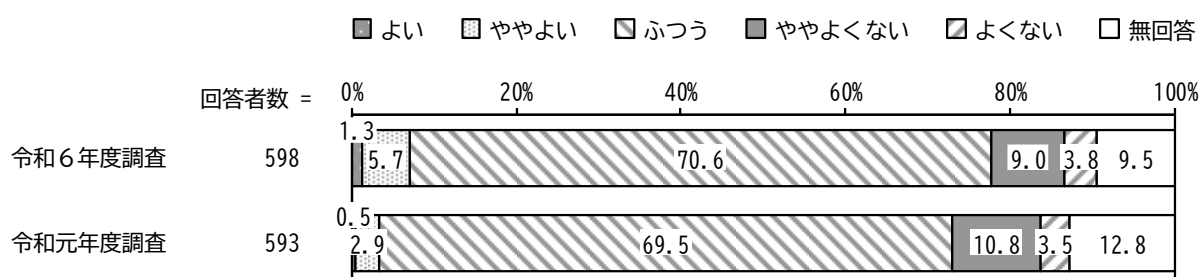
「ふつう」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「ややよくない」の割合が 10.7%、「ややよい」の割合が 10.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



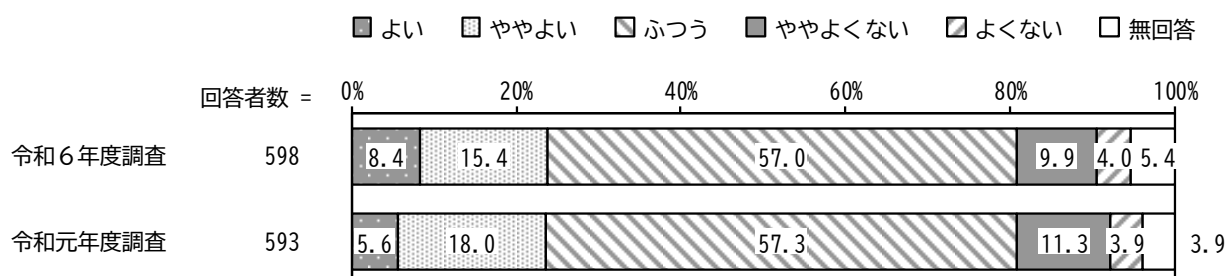
(26) 男女共同参画の取り組み

「ふつう」の割合が70.6%と最も高くなっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(27) 近所づきあい

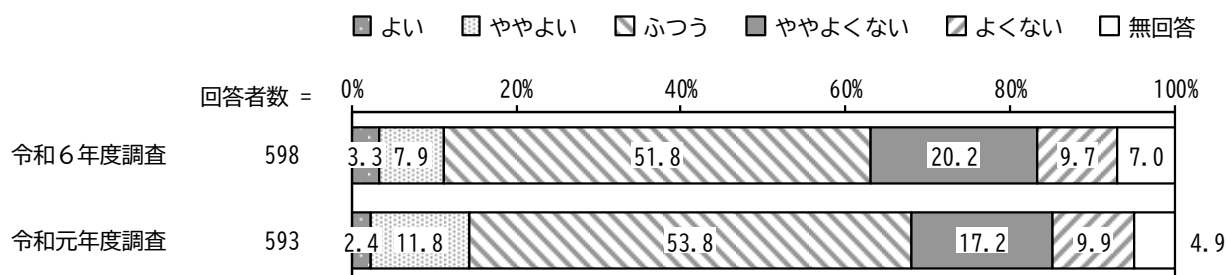
「ふつう」の割合が57.0%と最も高く、次いで「ややよい」の割合が15.4%となっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(28) 町内会・自治会活動の活発さ

「ふつう」の割合が51.8%と最も高く、次いで「ややよくない」の割合が20.2%となっています。

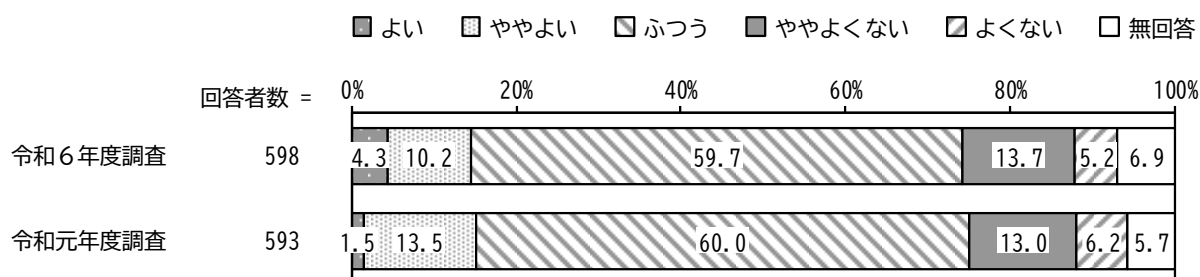
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(29) 住民の助け合い

「ふつう」の割合が59.7%と最も高く、次いで「ややよくない」の割合が13.7%、「ややよい」の割合が10.2%となっています。

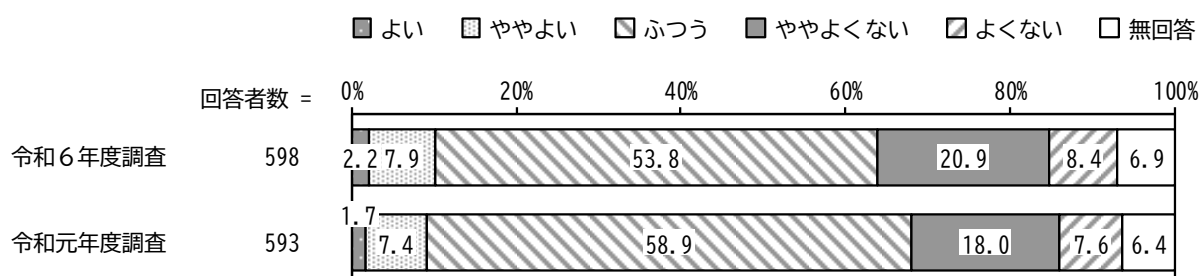
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(30) 町内の交流活動

「ふつう」の割合が53.8%と最も高く、次いで「ややよくない」の割合が20.9%となっています。

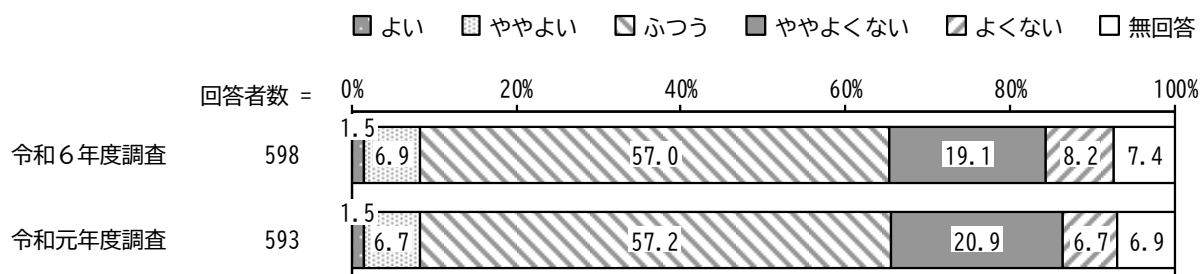
令和元年度調査と比較すると、「ふつう」の割合が減少しています。



(31) まちづくりへの町民の参加・協働

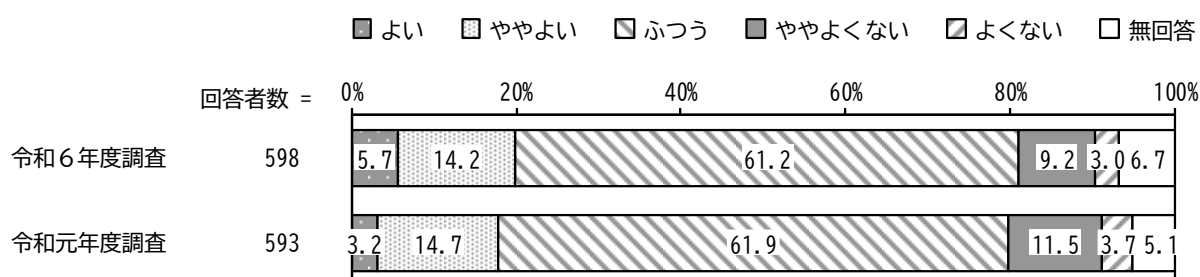
「ふつう」の割合が57.0%と最も高く、次いで「ややよくない」の割合が19.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(32) 広報・広聴や情報公開

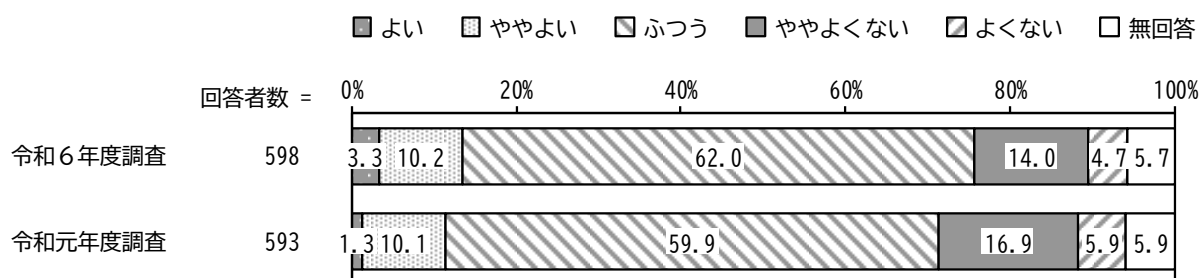
「ふつう」の割合が 61.2%と最も高く、次いで「ややよい」の割合が 14.2%となっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(33) 行政サービスの内容

「ふつう」の割合が 62.0%と最も高く、次いで「ややよくない」の割合が 14.0%、「ややよい」の割合が 10.2%となっています。

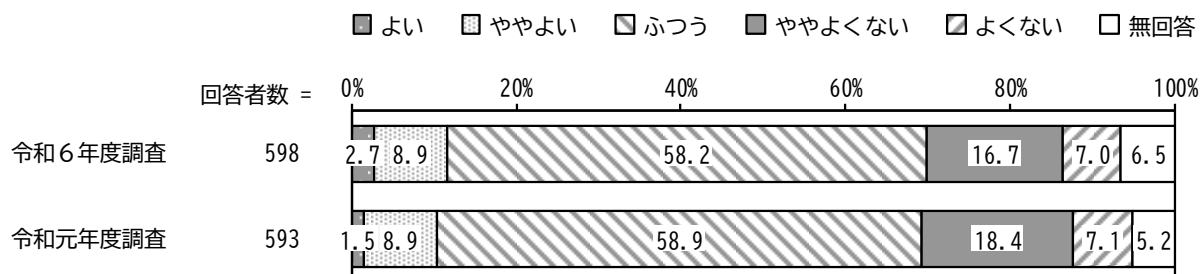
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(34) 行政サービスの利用の便利さ

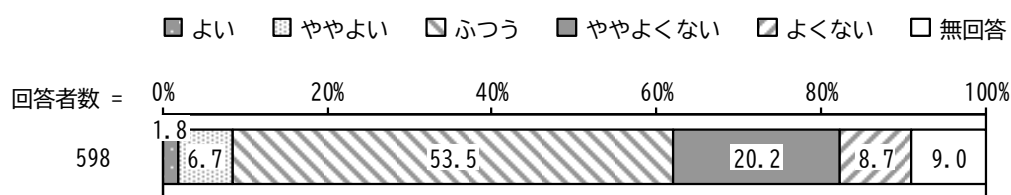
「ふつう」の割合が 58.2%と最も高く、次いで「ややよくない」の割合が 16.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(35) 町内のデジタル化の推進

「ふつう」の割合が53.5%と最も高く、次いで「ややよくない」の割合が20.2%となっています。

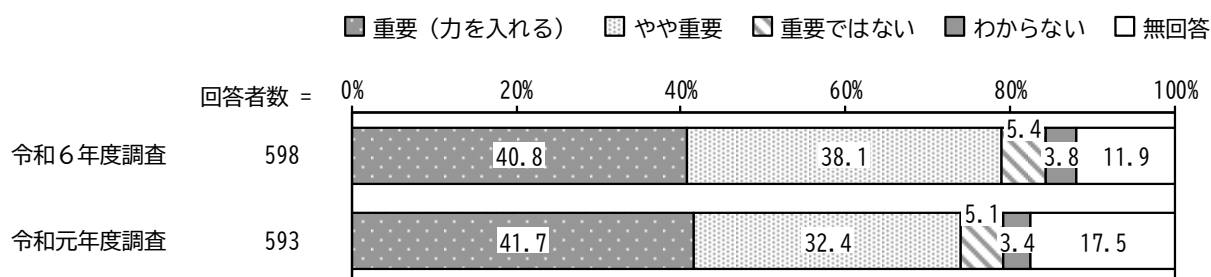


【今後の重要度】

(1) 自然環境の保全・豊かさ

「重要（力を入れる）」の割合が40.8%と最も高く、次いで「やや重要」の割合が38.1%となっています。

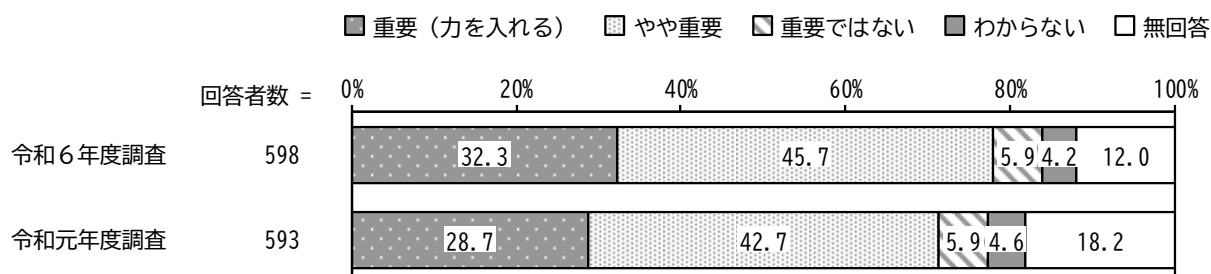
令和元年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



(2) 公園・緑地等の環境

「やや重要」の割合が45.7%と最も高く、次いで「重要（力を入れる）」の割合が32.3%となっています。

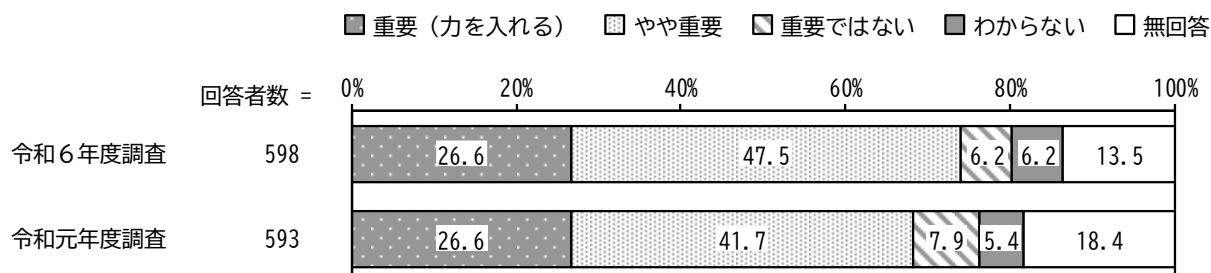
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(3) 環境に配慮した生活

「やや重要」の割合が47.5%と最も高く、次いで「重要（力を入れる）」の割合が26.6%となっています。

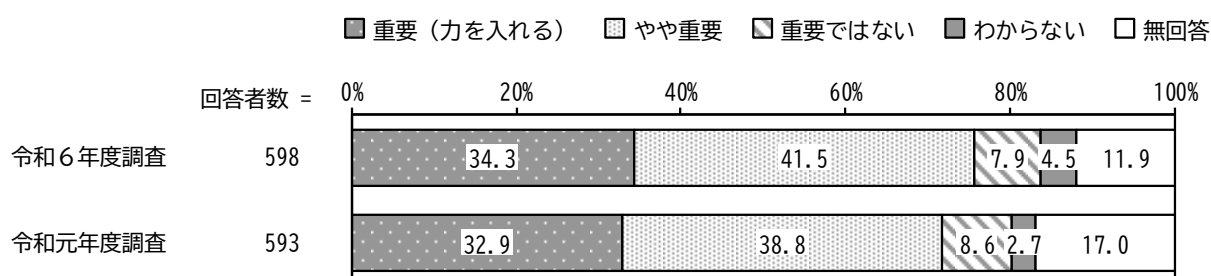
令和元年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



(4) ごみの分別やリサイクル

「やや重要」の割合が41.5%と最も高く、次いで「重要（力を入れる）」の割合が34.3%となっています。

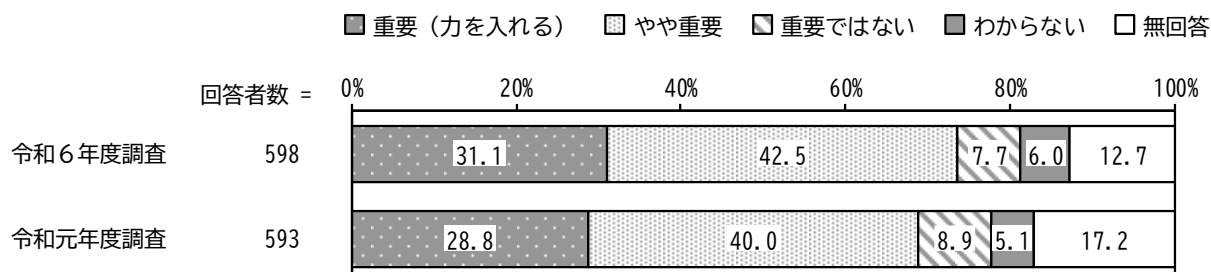
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(5) 騒音・振動等の公害の抑制

「やや重要」の割合が42.5%と最も高く、次いで「重要（力を入れる）」の割合が31.1%となっています。

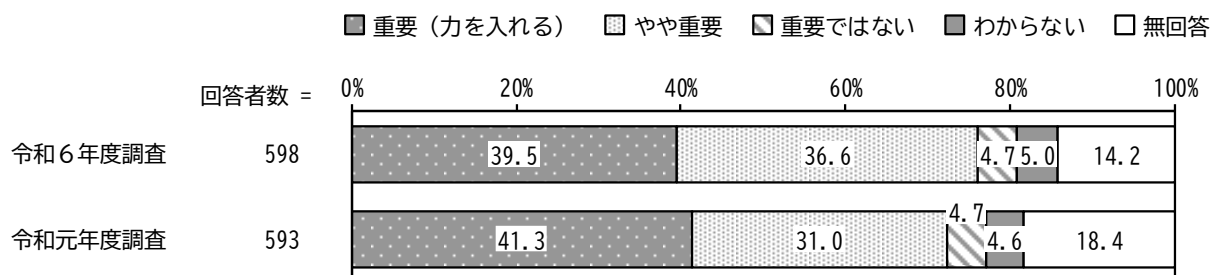
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(6) 上下水道

「重要（力を入れる）」の割合が39.5%と最も高く、次いで「やや重要」の割合が36.6%となっています。

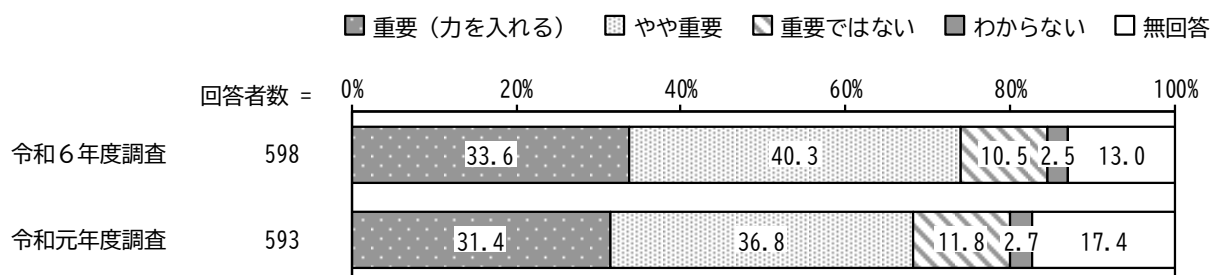
令和元年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



(7) 鉄道交通の便利さ

「やや重要」の割合が40.3%と最も高く、次いで「重要（力を入れる）」の割合が33.6%、「重要ではない」の割合が10.5%となっています。

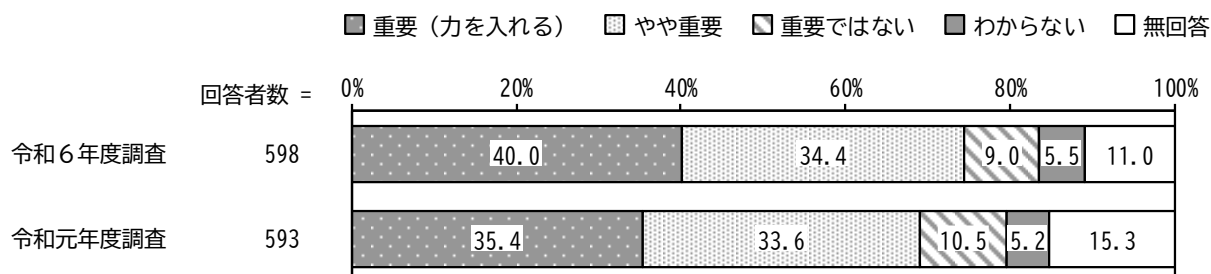
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(8) バス交通の便利さ

「重要（力を入れる）」の割合が40.0%と最も高く、次いで「やや重要」の割合が34.4%となっています。

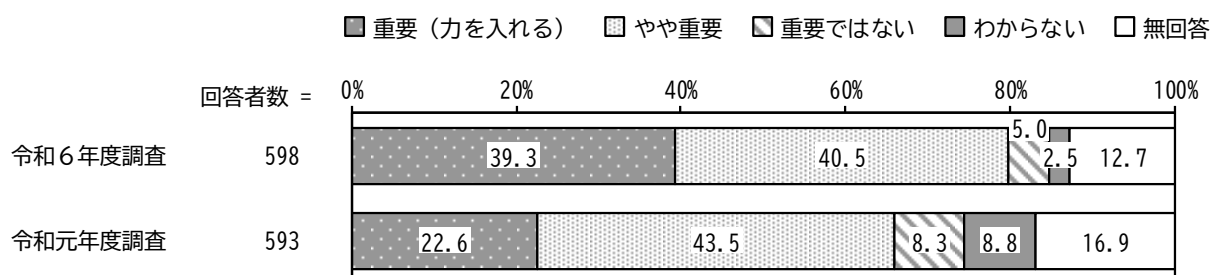
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(9) 生活用道路の安全・快適さ

「やや重要」の割合が40.5%と最も高く、次いで「重要（力を入れる）」の割合が39.3%となっています。

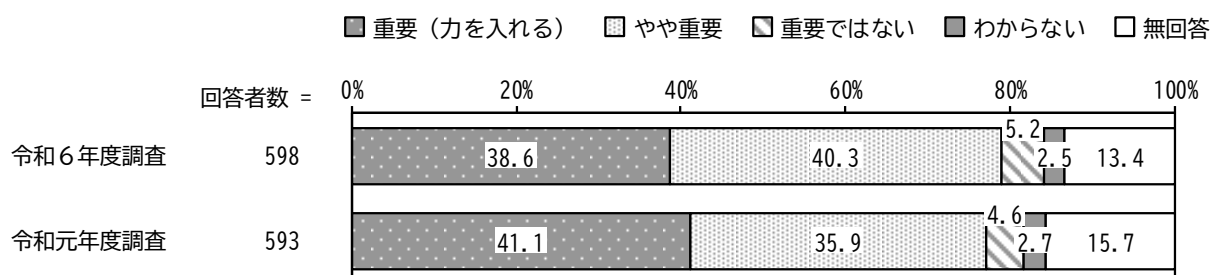
令和元年度調査と比較すると、「重要（力を入れる）」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。



(10) 歩道の段差・安全さ

「やや重要」の割合が40.3%と最も高く、次いで「重要（力を入れる）」の割合が38.6%となっています。

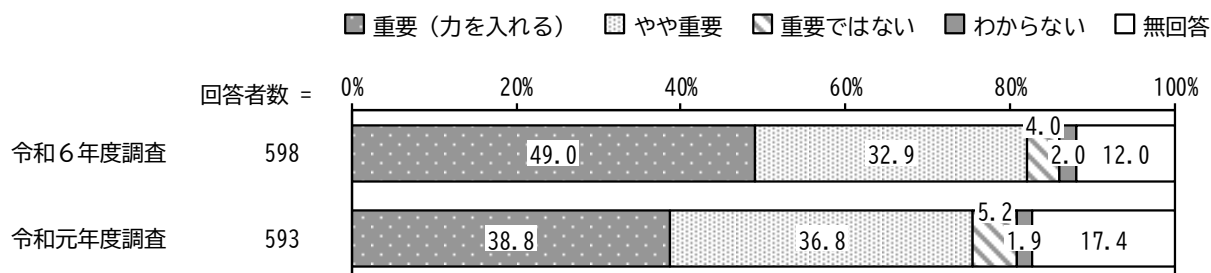
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(11) 買物の便利さ

「重要（力を入れる）」の割合が49.0%と最も高く、次いで「やや重要」の割合が32.9%となっています。

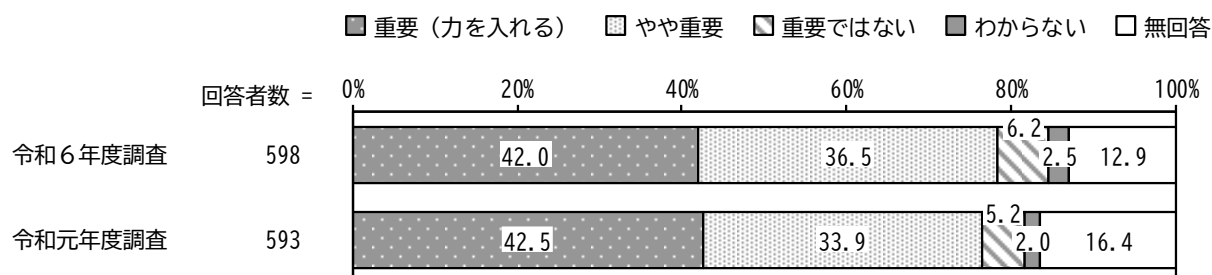
令和元年度調査と比較すると、「重要（力を入れる）」の割合が増加しています。



(12) 医療機関への交通の便利さ

「重要（力を入れる）」の割合が42.0%と最も高く、次いで「やや重要」の割合が36.5%となっています。

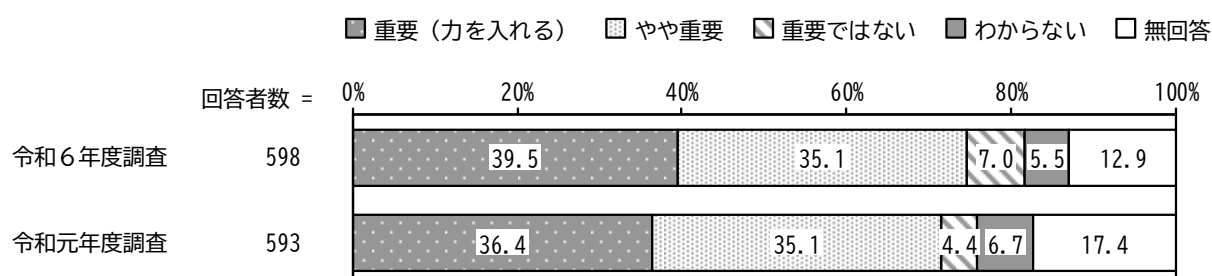
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(13) 小中学校通学路の安全・快適さ

「重要（力を入れる）」の割合が39.5%と最も高く、次いで「やや重要」の割合が35.1%となっています。

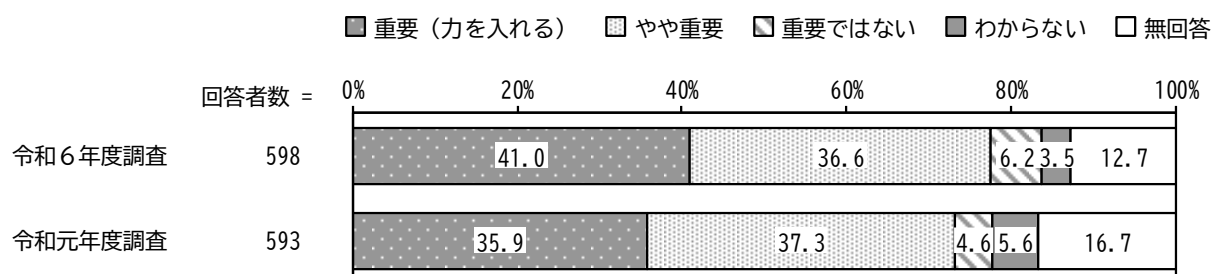
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(14) 交通の安全性

「重要（力を入れる）」の割合が41.0%と最も高く、次いで「やや重要」の割合が36.6%となっています。

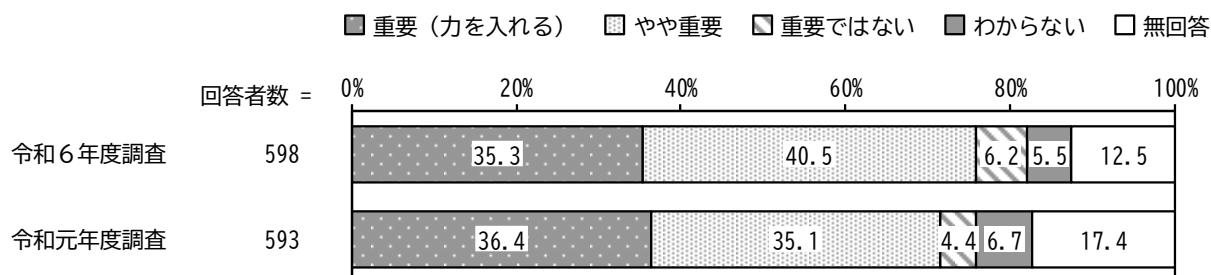
令和元年度調査と比較すると、「重要（力を入れる）」の割合が増加しています。



(15) 消防・救急・防災

「やや重要」の割合が40.5%と最も高く、次いで「重要（力を入れる）」の割合が35.3%となっています。

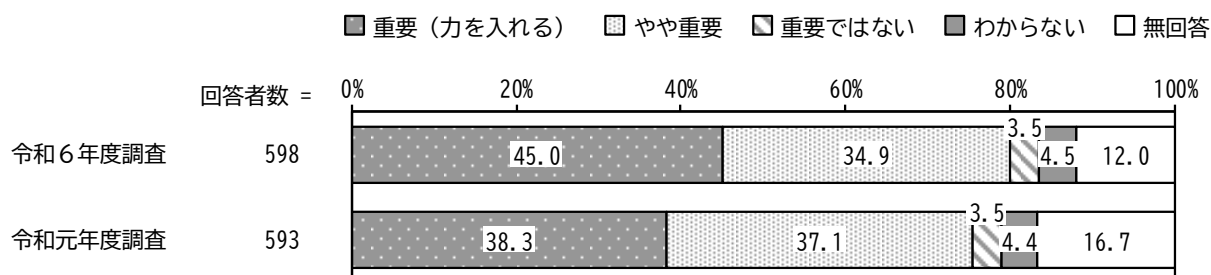
令和元年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



(16) 防犯

「重要（力を入れる）」の割合が45.0%と最も高く、次いで「やや重要」の割合が34.9%となっています。

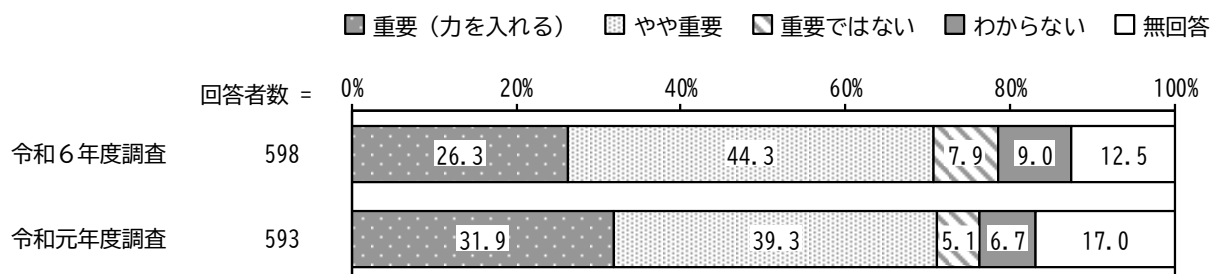
令和元年度調査と比較すると、「重要（力を入れる）」の割合が増加しています。



(17) 健康づくり

「やや重要」の割合が44.3%と最も高く、次いで「重要（力を入れる）」の割合が26.3%となっています。

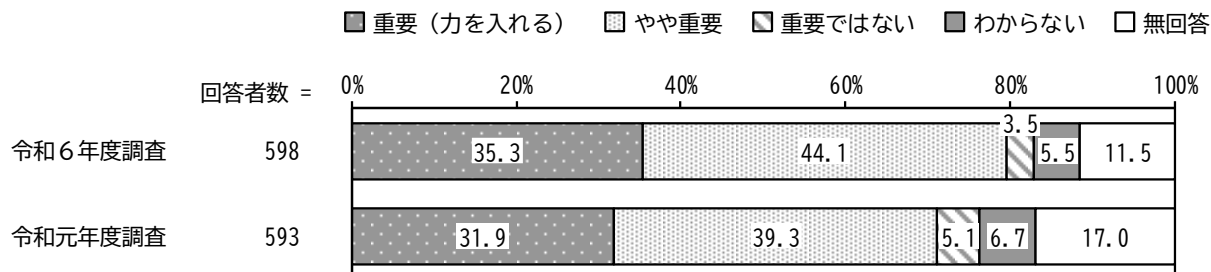
令和元年度調査と比較すると、「重要（力を入れる）」の割合が減少しています。



(18) 保健・医療

「やや重要」の割合が44.1%と最も高く、次いで「重要（力を入れる）」の割合が35.3%となっています。

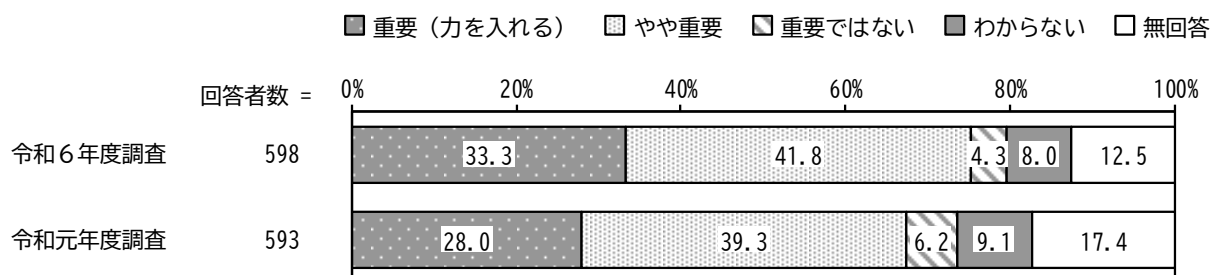
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(19) 福祉

「やや重要」の割合が41.8%と最も高く、次いで「重要（力を入れる）」の割合が33.3%となっています。

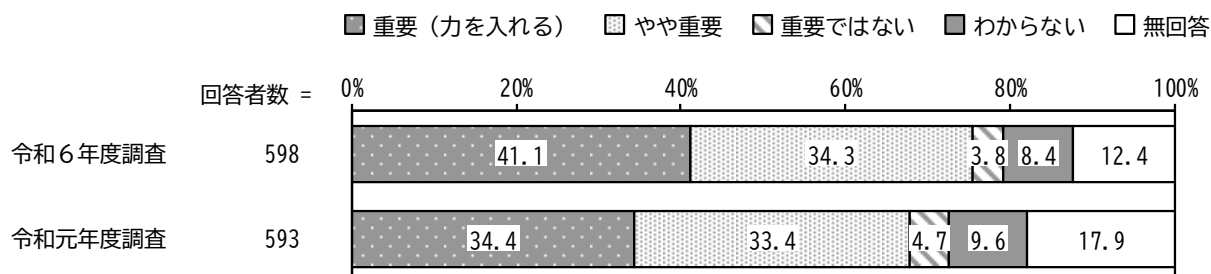
令和元年度調査と比較すると、「重要（力を入れる）」の割合が増加しています。



(20) 子育ての環境

「重要（力を入れる）」の割合が41.1%と最も高く、次いで「やや重要」の割合が34.3%となっています。

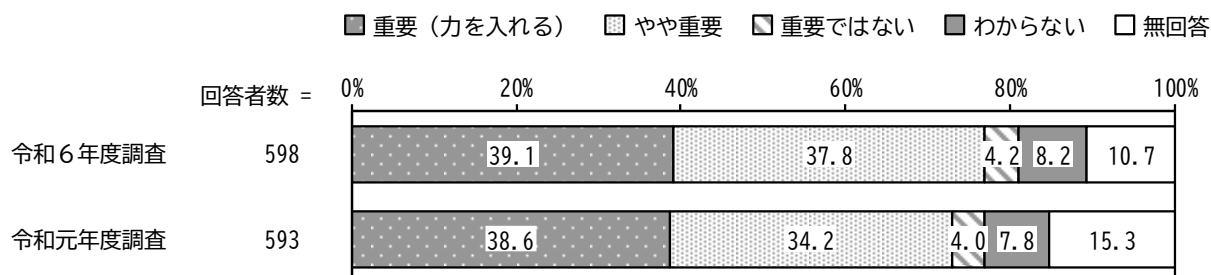
令和元年度調査と比較すると、「重要（力を入れる）」の割合が増加しています。



(21) 高齢者や障がい者に配慮した環境

「重要（力を入れる）」の割合が39.1%と最も高く、次いで「やや重要」の割合が37.8%となっています。

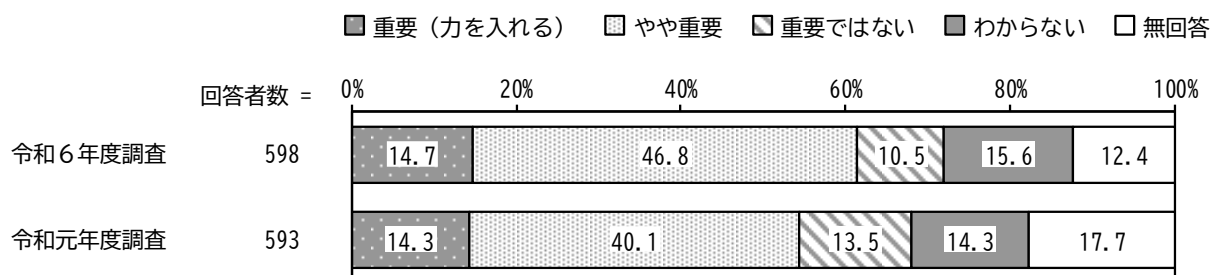
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(22) 生涯学習活動

「やや重要」の割合が46.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が15.6%、「重要（力を入れる）」の割合が14.7%となっています。

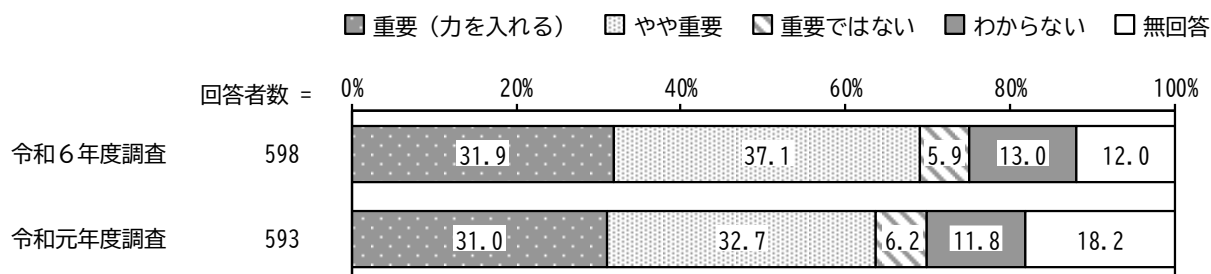
令和元年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



(23) 学校教育

「やや重要」の割合が37.1%と最も高く、次いで「重要（力を入れる）」の割合が31.9%、「わからない」の割合が13.0%となっています。

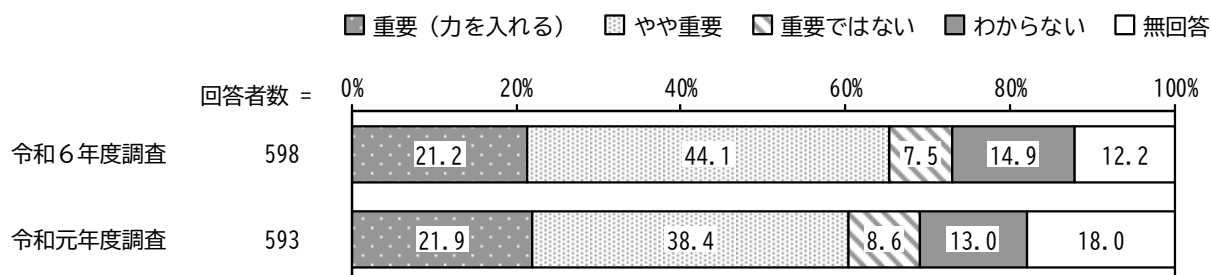
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(24) 青少年の健全育成

「やや重要」の割合が44.1%と最も高く、次いで「重要（力を入れる）」の割合が21.2%、「わからない」の割合が14.9%となっています。

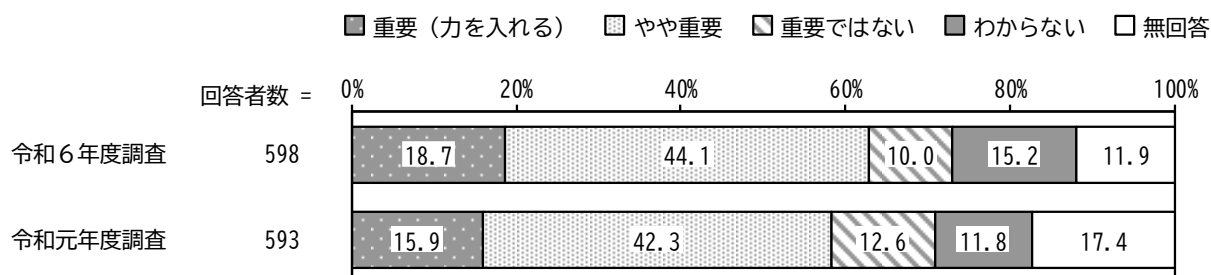
令和元年度調査と比較すると、「やや重要」の割合が増加しています。



(25) 文化・スポーツ活動の環境

「やや重要」の割合が44.1%と最も高く、次いで「重要（力を入れる）」の割合が18.7%、「わからない」の割合が15.2%となっています。

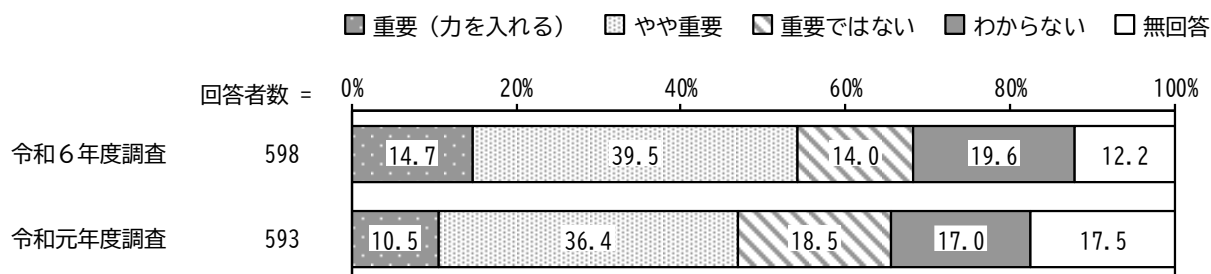
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(26) 男女共同参画の取り組み

「やや重要」の割合が39.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が19.6%、「重要（力を入れる）」の割合が14.7%となっています。

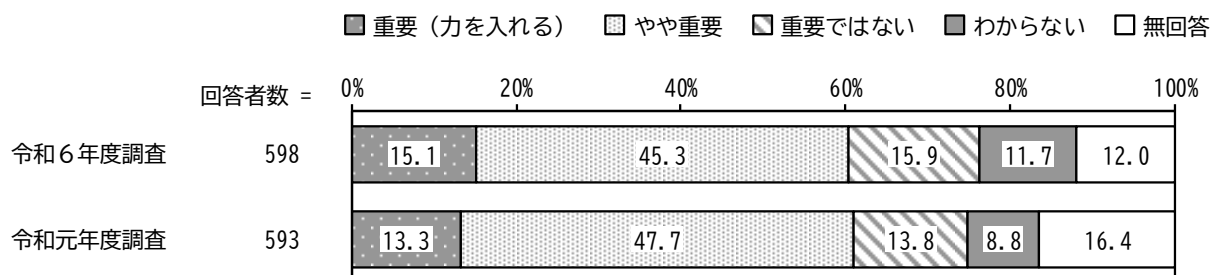
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(27) 近所づきあい

「やや重要」の割合が45.3%と最も高く、次いで「重要ではない」の割合が15.9%、「重要（力を入れる）」の割合が15.1%となっています。

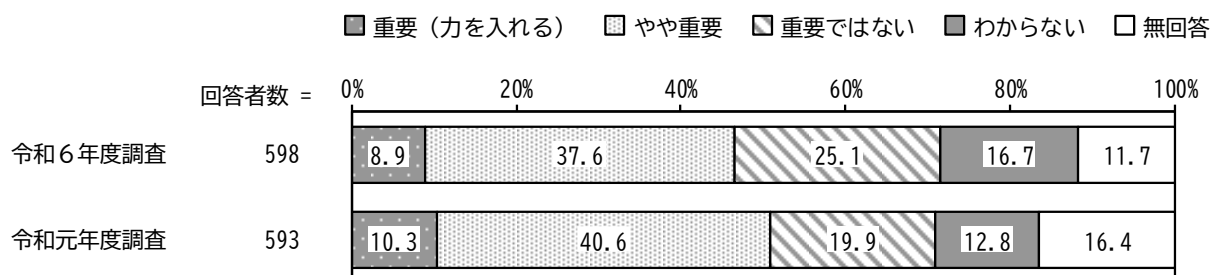
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(28) 町内会・自治会活動の活発さ

「やや重要」の割合が37.6%と最も高く、次いで「重要ではない」の割合が25.1%、「わからない」の割合が16.7%となっています。

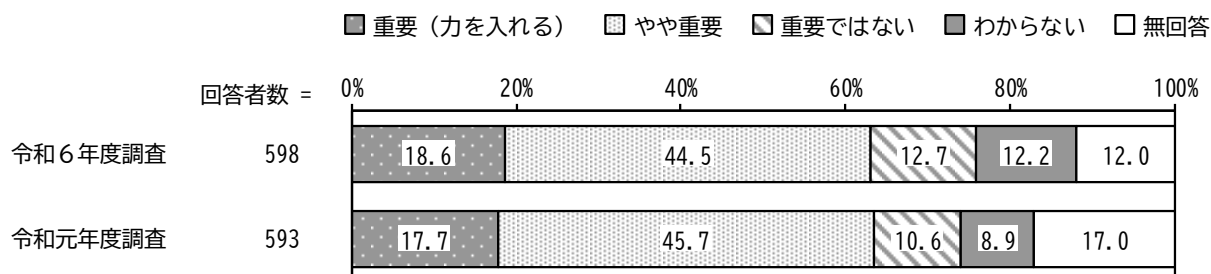
令和元年度調査と比較すると、「重要ではない」の割合が増加しています。



(29) 住民の助け合い

「やや重要」の割合が44.5%と最も高く、次いで「重要（力を入れる）」の割合が18.6%、「重要ではない」の割合が12.7%となっています。

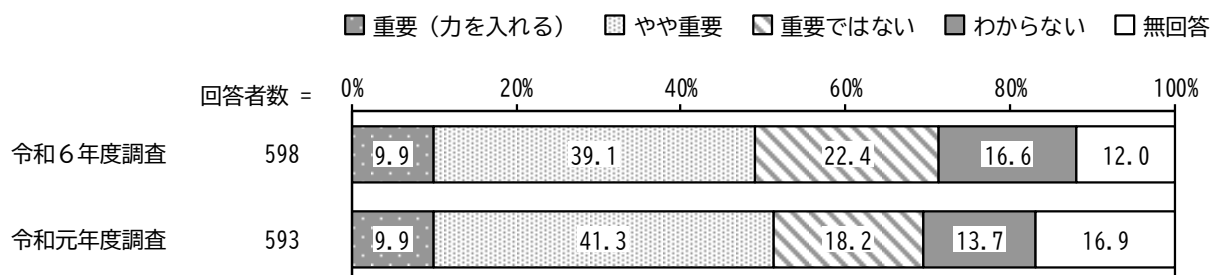
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(30) 町内の交流活動

「やや重要」の割合が39.1%と最も高く、次いで「重要ではない」の割合が22.4%、「わからない」の割合が16.6%となっています。

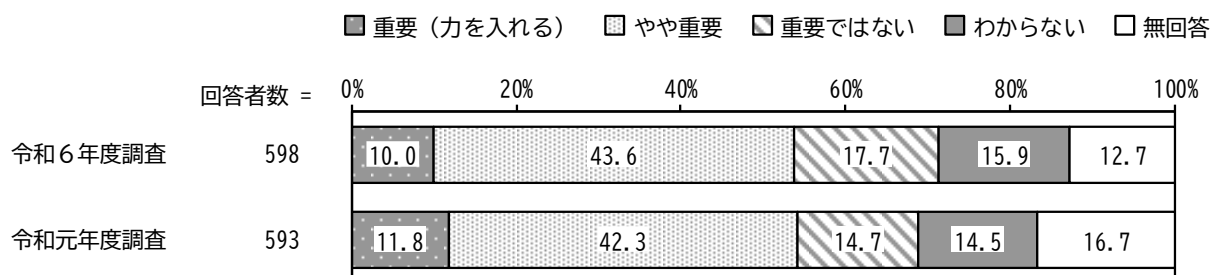
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(31) まちづくりへの町民の参加・協働

「やや重要」の割合が43.6%と最も高く、次いで「重要ではない」の割合が17.7%、「わからない」の割合が15.9%となっています。

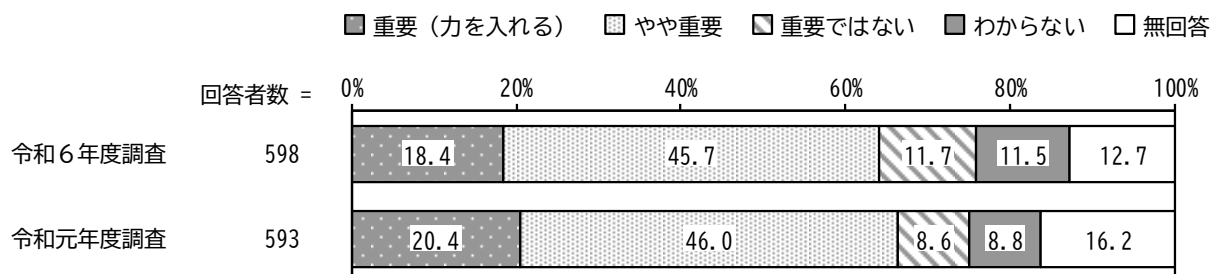
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(32) 広報・広聴や情報公開

「やや重要」の割合が45.7%と最も高く、次いで「重要 (力を入れる)」の割合が18.4%、「重要ではない」の割合が11.7%となっています。

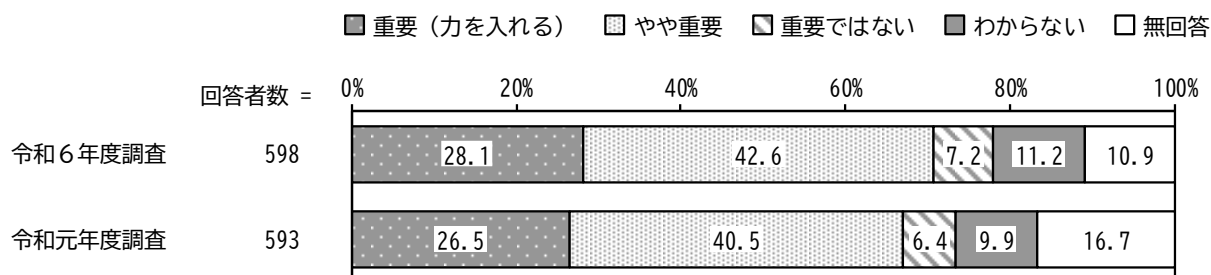
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(33) 行政サービスの内容

「やや重要」の割合が42.6%と最も高く、次いで「重要（力を入れる）」の割合が28.1%、「わからない」の割合が11.2%となっています。

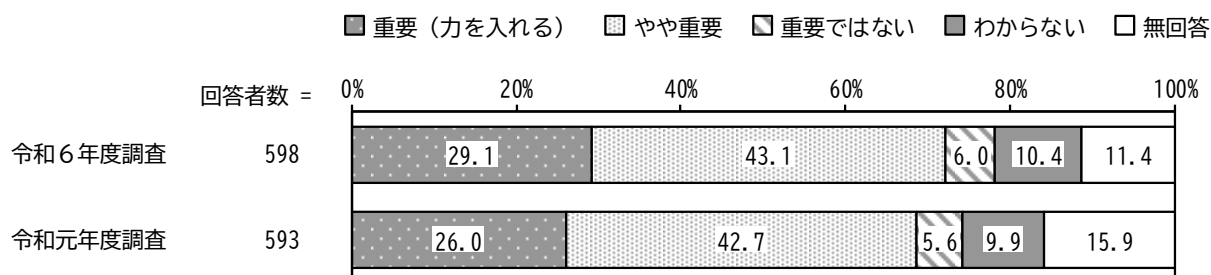
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(34) 行政サービスの利用の便利さ

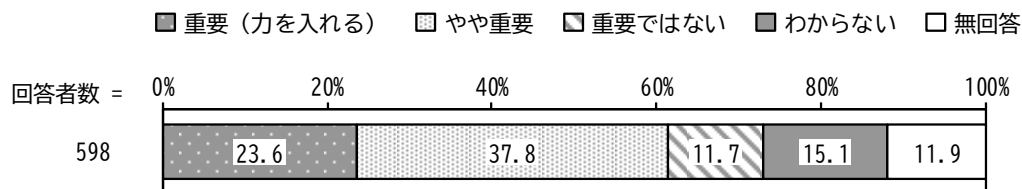
「やや重要」の割合が43.1%と最も高く、次いで「重要（力を入れる）」の割合が29.1%、「わからない」の割合が10.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(35) 町内のデジタル化の推進

「やや重要」の割合が37.8%と最も高く、次いで「重要（力を入れる）」の割合が23.6%、「わからない」の割合が15.1%となっています。



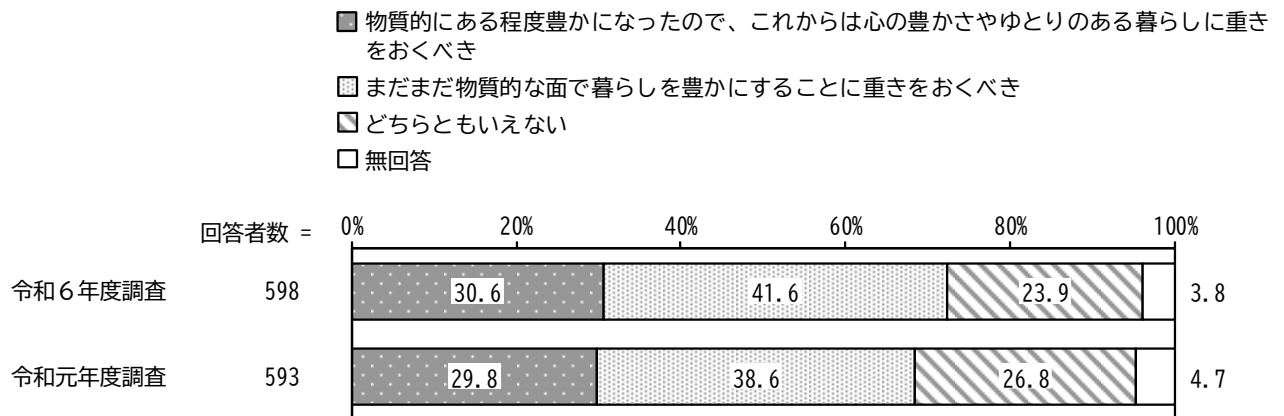
(2) これからの時代のまちづくりや町の将来について

問10 これからの暮らしの豊かさ

これからの大山崎町における住民の暮らしの豊かさについて、あなたの考えにより近い番号に○印をつけてください。(○は1つだけ)

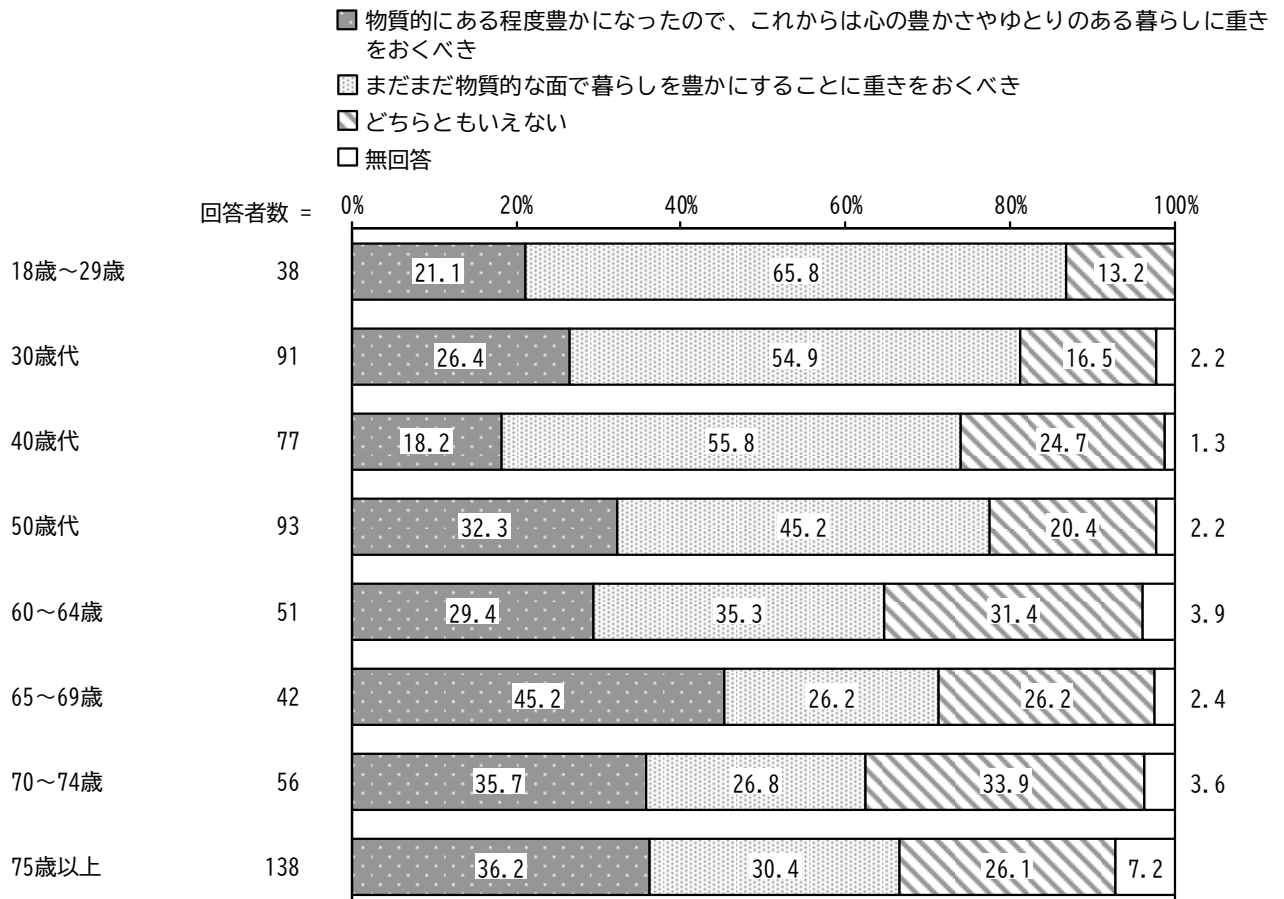
「物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある暮らしに重きをおくべき」の割合が30.6%、「まだまだ物質的な面で暮らしを豊かにすることに重きをおくべき」の割合が41.6%、「どちらともいえない」の割合が23.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、「まだまだ物質的な面で暮らしを豊かにすることに重きを置くべき」の割合が18歳～29歳で高くなっています。

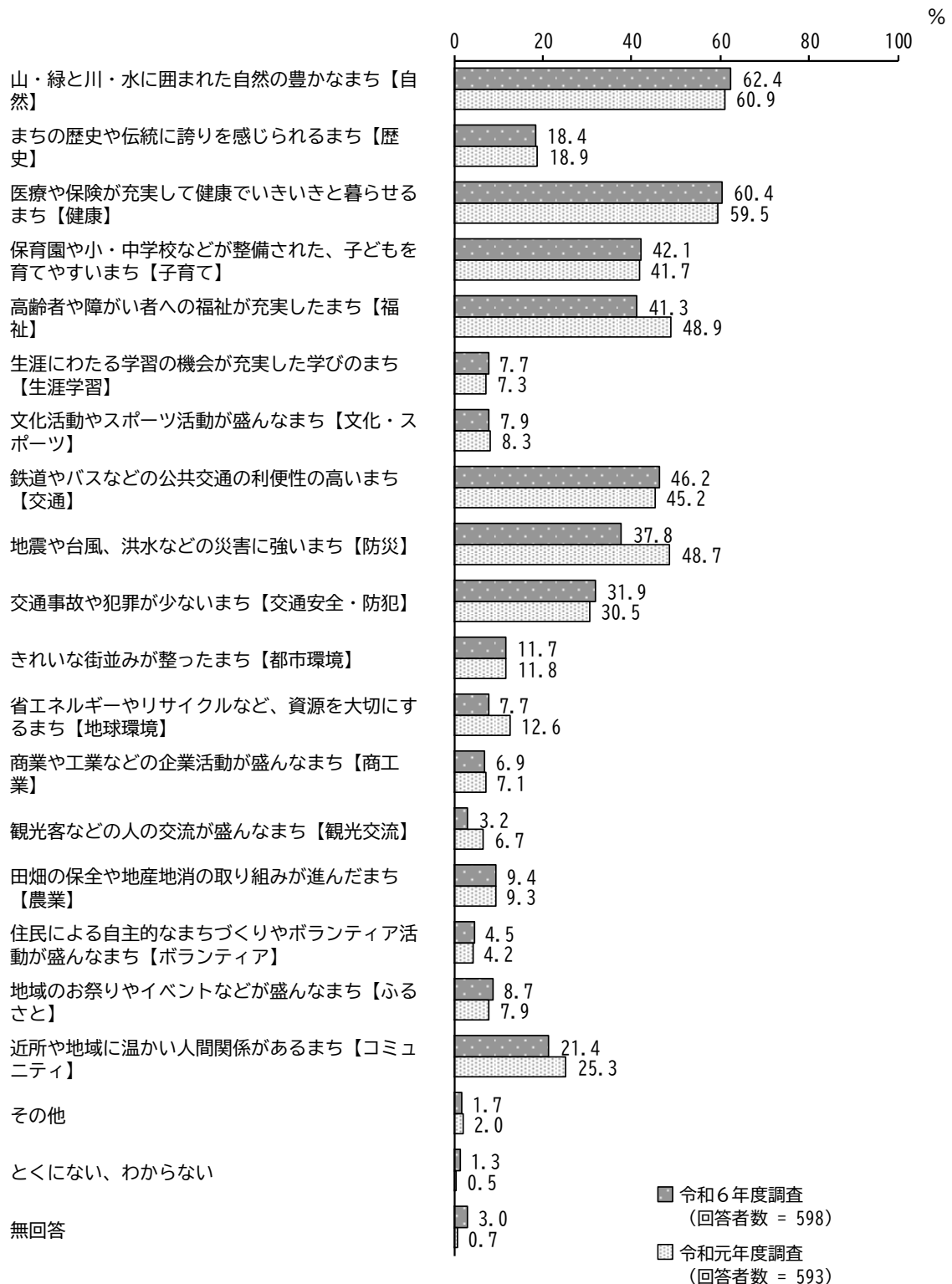


問 11 約 10 年後（2035 年）の大山崎町の将来像

あなたは、約 10 年後（2035 年）の大山崎町が、どのようなまちであってほしいと思いますか。当てはまる番号に○印をつけてください。（○は5つまで）

「山・緑と川・水に囲まれた自然の豊かなまち【自然】」の割合が 62.4%と最も高く、次いで「医療や保険が充実して健康でいきいきと暮らせるまち【健康】」の割合が 60.4%、「鉄道やバスなどの公共交通の利便性の高いまち【交通】」の割合が 46.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「高齢者や障がい者への福祉が充実したまち【福祉】」「地震や台風、洪水などの災害に強いまち【防災】」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、「医療や保険が充実して健康でいきいきと暮らせるまち【健康】」について 65～69 歳で高く、「保育園や小・中学校などが整備された、子どもを育てやすいまち【子育て】」について 30 歳代で高く、「地震や台風、洪水などの災害に強いまち【防災】」について 60～64 歳で高く、「きれいな街並みが整ったまち【都市環境】」について 18 歳～29 歳で高く、「近所や地域に温かい人間関係があるまち【コミュニティ】」について 75 歳以上で高く、40 歳代で低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	山・緑と川・水に囲まれた自然の豊かなまち【自然】	まちの歴史や伝統に誇りを感じられるまち【歴史】	医療や保険が充実して健康でいきいきと暮らせるまち【健康】	保育園や小・中学校などが整備された、子どもを育てやすいまち【子育て】	高齢者や障がい者への福祉が充実したまち【福祉】	生涯にわたる学習の機会が充実した学びのまち【生涯学習】	文化活動やスポーツ活動が盛んなまち【文化・スポーツ】	鉄道やバスなどの公共交通の利便性の高いまち【交通】	地震や台風、洪水などの災害に強いまち【防災】	交通事故や犯罪が少ないまち【交通安全・防犯】
全体	598	62.4	18.4	60.4	42.1	41.3	7.7	7.9	46.2	37.8	31.9
18歳～29歳	38	55.3	7.9	50.0	65.8	18.4	5.3	5.3	57.9	36.8	52.6
30歳代	91	65.9	9.9	52.7	81.3	17.6	8.8	6.6	44.0	27.5	33.0
40歳代	77	64.9	18.2	58.4	48.1	20.8	10.4	11.7	51.9	33.8	35.1
50歳代	93	60.2	21.5	66.7	33.3	47.3	6.5	9.7	49.5	43.0	31.2
60～64歳	51	54.9	19.6	58.8	37.3	49.0	5.9	7.8	41.2	45.1	39.2
65～69歳	42	59.5	26.2	71.4	33.3	45.2	7.1	7.1	50.0	38.1	33.3
70～74歳	56	53.6	23.2	62.5	30.4	57.1	8.9	3.6	50.0	32.1	12.5
75歳以上	138	69.6	18.8	63.0	23.2	59.4	8.0	8.7	38.4	42.0	27.5

区分	きれいな街並みが整ったまち【都市環境】	省エネルギーやリサイクルなど、資源を大切にすることを【地球環境】	商業や工業などの企業活動が盛んなまち【商工業】	観光客などの人の交流が盛んなまち【観光交流】	田畑の保全や地産地消の取り組みが進んだまち【農業】	住民による自主的なまちづくりやボランティア活動が盛んなまち【ボランティア】	地域のお祭りやイベントなどが盛んなまち【ふるさと】	近所や地域に温かい人間関係があるまち【コミュニティ】	その他	とくにない、わからない	無回答
全体	11.7	7.7	6.9	3.2	9.4	4.5	8.7	21.4	1.7	1.3	3.0
18歳～29歳	23.7	2.6	10.5	5.3	5.3	5.3	18.4	13.2	2.6	—	5.3
30歳代	17.6	4.4	12.1	3.3	6.6	3.3	12.1	20.9	4.4	1.1	—
40歳代	7.8	3.9	11.7	3.9	11.7	3.9	11.7	13.0	1.3	2.6	2.6
50歳代	14.0	10.8	6.5	3.2	10.8	3.2	9.7	15.1	—	1.1	1.1
60～64歳	15.7	5.9	3.9	2.0	5.9	3.9	3.9	23.5	2.0	—	2.0
65～69歳	7.1	9.5	—	2.4	11.9	7.1	2.4	16.7	—	—	4.8
70～74歳	8.9	10.7	3.6	1.8	12.5	1.8	7.1	19.6	5.4	3.6	7.1
75歳以上	7.2	10.1	4.3	2.9	8.7	7.2	5.8	32.6	—	1.4	3.6

【これからの住民の暮らしの豊かさについての考え別（問10）】

これからの住民の暮らしの豊かさについての考え別にみると、「山・緑と川・水に囲まれた自然の豊かなまち【自然】」の割合が物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある暮らしに重きをおくべきで高く、「まちの歴史や伝統に誇りを感じられるまち【歴史】」の割合がどちらともいえないで低く、「鉄道やバスなどの公共交通の利便性の高いまち【交通】」の割合がまだまだ物質的な面で暮らしを豊かにすることに重きをおくべきで高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	山・緑と川・水に囲まれた自然の豊かなまち【自然】	まちの歴史や伝統に誇りを感じられるまち【歴史】	医療や保険が充実して健康でいきいきと暮らせるまち【健康】	保育園や小・中学校などが整備された子どもを育てやすいまち【子育て】	高齢者や障がい者への福祉が充実したまち【福祉】	生涯にわたる学習の機会が充実した学びのまち【生涯学習】	文化活動やスポーツ活動が盛んなまち【文化・スポーツ】	鉄道やバスなどの公共交通の利便性の高いまち【交通】	地震や台風、洪水などの災害に強いまち【防災】	交通事故や犯罪が少ないまち【交通安全・防犯】
全体	598	62.4	18.4	60.4	42.1	41.3	7.7	7.9	46.2	37.8	31.9
物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある暮らしに重きをおくべき	183	74.9	24.0	61.2	37.2	48.6	12.6	8.7	38.8	39.3	26.8
まだまだ物質的な面で暮らしを豊かにすることに重きをおくべき	249	55.0	17.7	62.2	51.8	34.5	4.4	10.4	56.2	36.9	35.3
どちらともいえない	143	60.8	14.0	58.7	34.3	43.4	7.7	3.5	42.0	38.5	34.3

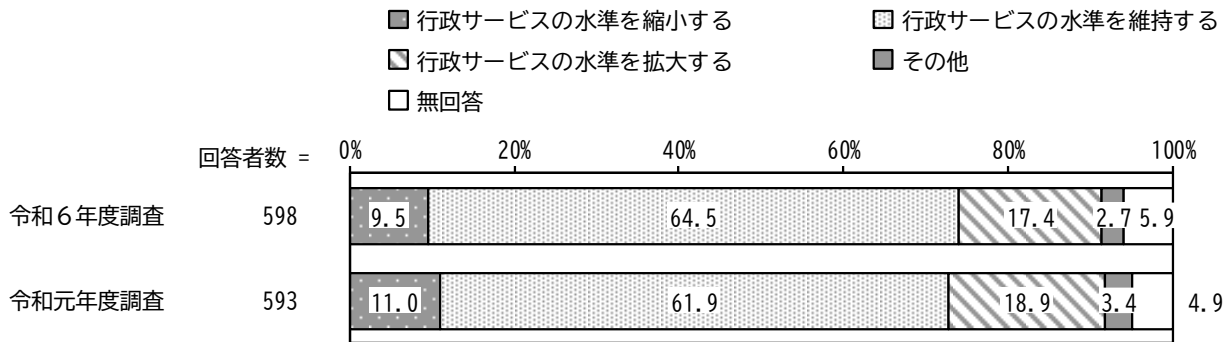
区分	きれいな街並みが整ったまち【都市環境】	省エネルギーやリサイクルなど、資源を大切に暮らすまち【地球環境】	商業や工業などの企業活動が盛んなまち【商工業】	観光客などの人の交流が盛んなまち【観光交流】	田畑の保全や地産地消の取り組みが進んだまち【農業】	住民による自主的なまちづくりやボランティア活動が盛んなまち【ボランティア】	地域のお祭りやイベントなどが盛んなまち【ふるさと】	近所や地域に温かい人間関係があるまち【コミュニティ】	その他	とくにない、わからない	無回答
全体	11.7	7.7	6.9	3.2	9.4	4.5	8.7	21.4	1.7	1.3	3.0
物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある暮らしに重きをおくべき	12.0	10.9	2.2	3.8	11.5	8.7	8.2	25.1	1.1	1.1	1.1
まだまだ物質的な面で暮らしを豊かにすることに重きをおくべき	13.3	4.8	12.0	3.2	8.0	2.8	10.0	20.1	2.4	0.8	1.2
どちらともいえない	9.8	9.1	3.5	1.4	9.8	2.8	8.4	19.6	1.4	2.8	4.2

問 12 行政サービスのあり方と住民の負担

今後、さらなる進行が予測される人口減少社会においては、町財政等の縮小を余儀なくされることが見込まれますが、これからの行政サービスのあり方について、あなたの考えに最も近い番号に○印をつけてください。(○は1つだけ)

「行政サービスの水準を維持する」の割合が 64.5%、「行政サービスの水準を拡大する」の割合が 17.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

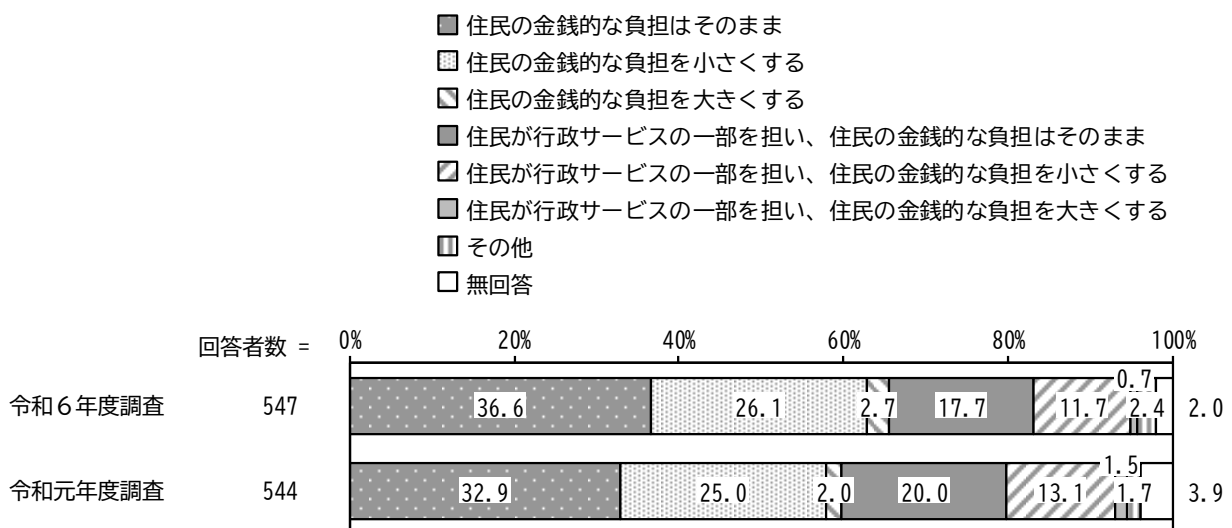


問 12-1 前の問 12 で「1」「2」「3」のいずれかに○をされた方にお聞きします。

その場合の負担のあり方について、あなたの考えに最も近い番号に○印をつけてください。(○は1つだけ)

「住民の金銭的な負担はそのまま」の割合が 36.6%と最も高く、次いで「住民の金銭的な負担を小さくする」の割合が 26.1%、「住民が行政サービスの一部を担い、住民の金銭的な負担はそのまま」の割合が 17.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



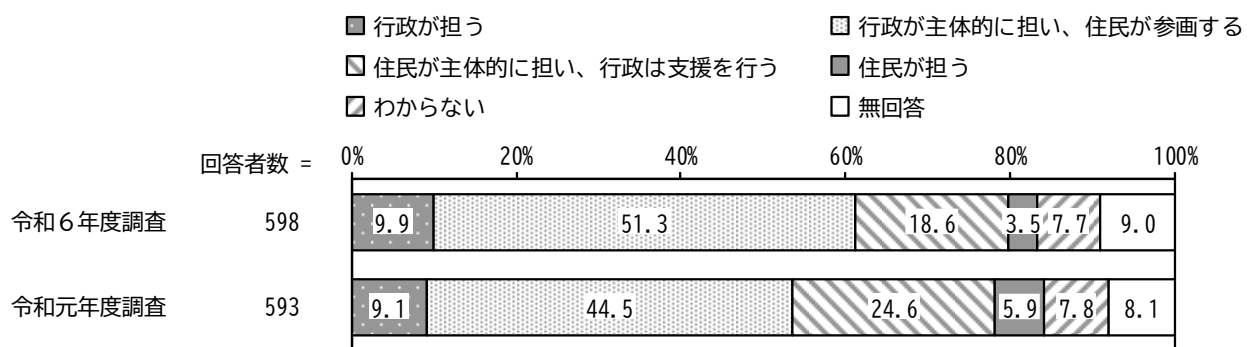
問13 まちづくりにおける住民と行政の役割分担

これからの社会では、住民のみなさんと行政が役割分担しながら、住民一人ひとりが主体となってまちづくりを進めていくことが必要だと考えられます。
 あなたのお住まいの地域（町内会・自治会、小学校区）で次の(1)から(14)までのまちづくり活動を行う場合に、行政と住民とがどのように役割を分担したほうがよいと思いますか。各項目について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

(1) 地域での健康づくり教室や勉強会の開催

「行政が主体的に担い、住民が参画する」の割合が51.3%と最も高く、次いで「住民が主体的に担い、行政は支援を行う」の割合が18.6%となっています。

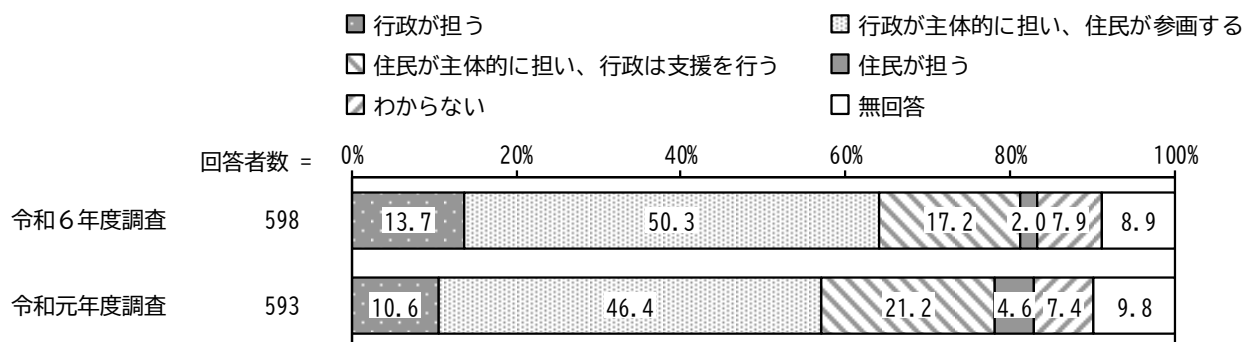
令和元年度調査と比較すると、「行政が主体的に担い、住民が参画する」の割合が増加しています。一方、「住民が主体的に担い、行政は支援を行う」の割合が減少しています。



(2) 地域の福祉拠点における地域活動

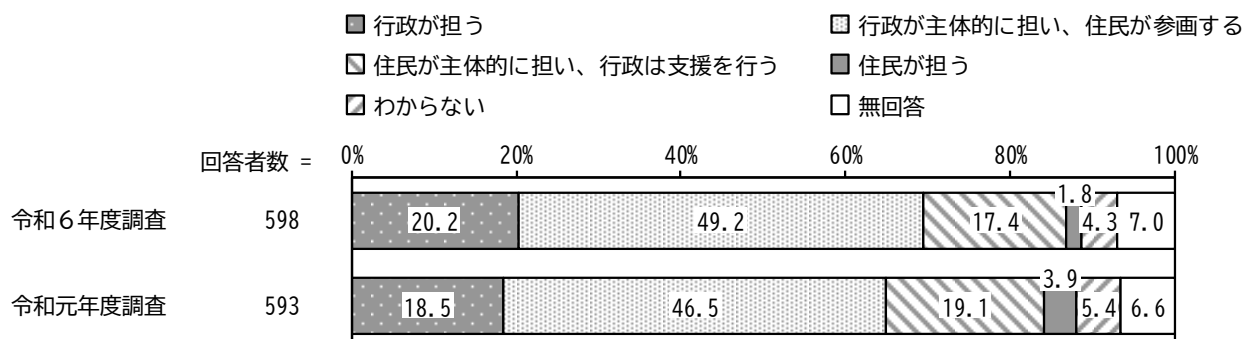
「行政が主体的に担い、住民が参画する」の割合が50.3%と最も高く、次いで「住民が主体的に担い、行政は支援を行う」の割合が17.2%、「行政が担う」の割合が13.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



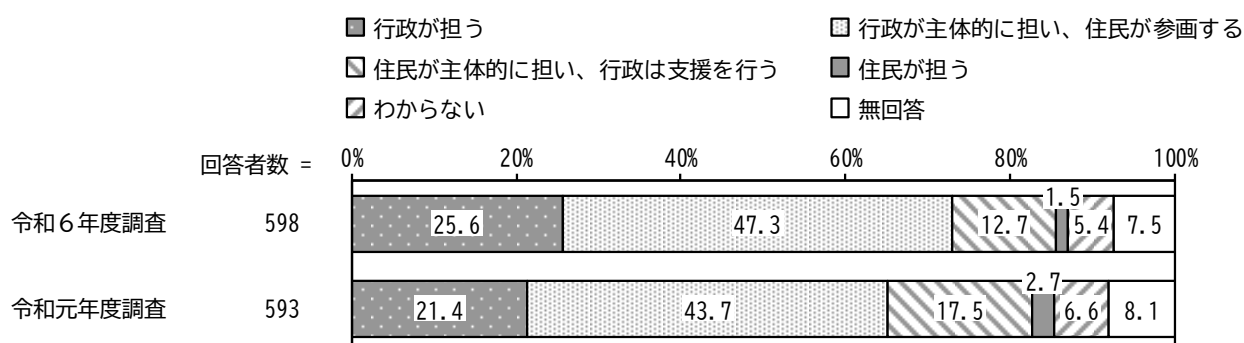
(3) 高齢者の介護・見守り

「行政が主体的に担い、住民が参画する」の割合が 49.2%と最も高く、次いで「行政が担う」の割合が 20.2%、「住民が主体的に担い、行政は支援を行う」の割合が 17.4%となっています。令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



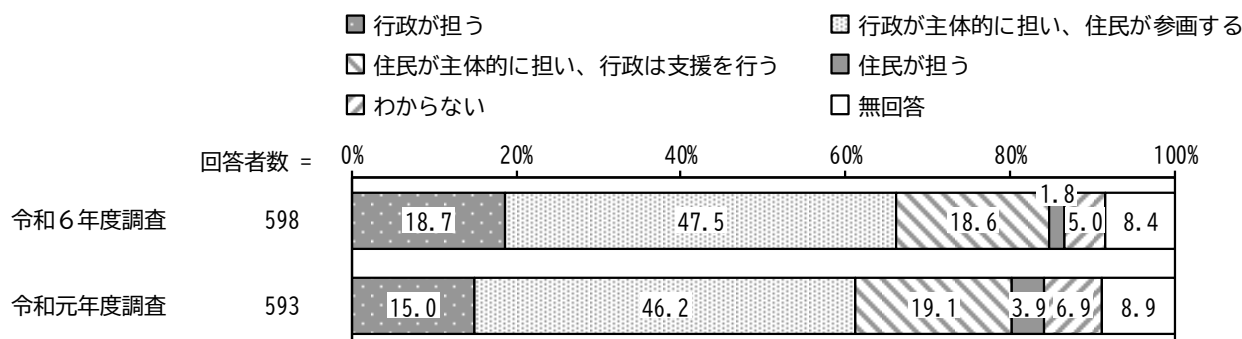
(4) 障がい者の介護・見守り

「行政が主体的に担い、住民が参画する」の割合が 47.3%と最も高く、次いで「行政が担う」の割合が 25.6%、「住民が主体的に担い、行政は支援を行う」の割合が 12.7%となっています。令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



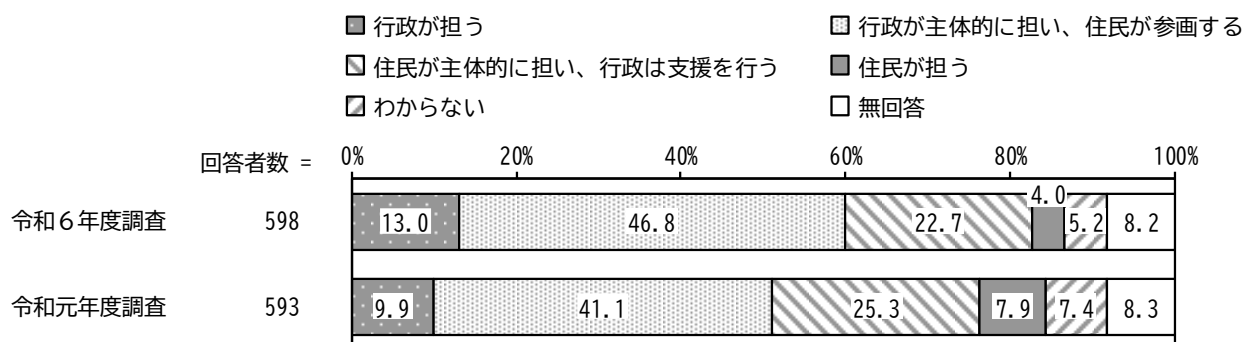
(5) 乳幼児や児童の放課後保育などの子育て支援活動

「行政が主体的に担い、住民が参画する」の割合が47.5%と最も高く、次いで「行政が担う」の割合が18.7%、「住民が主体的に担い、行政は支援を行う」の割合が18.6%となっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



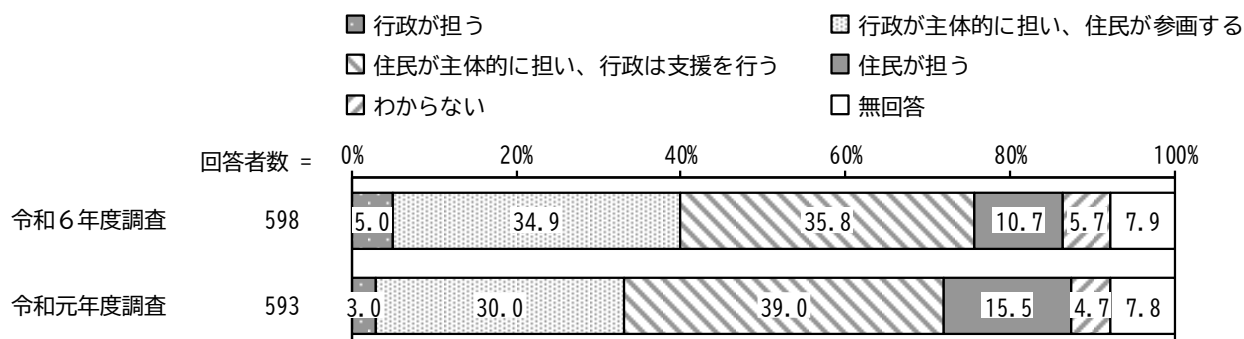
(6) 学校・幼稚園における教育活動の支援（防犯・安全、図書ボランティア等）

「行政が主体的に担い、住民が参画する」の割合が46.8%と最も高く、次いで「住民が主体的に担い、行政は支援を行う」の割合が22.7%、「行政が担う」の割合が13.0%となっています。
令和元年度調査と比較すると、「行政が主体的に担い、住民が参画する」の割合が増加しています。



(7) 子どもへの声かけなどの青少年の健全育成活動

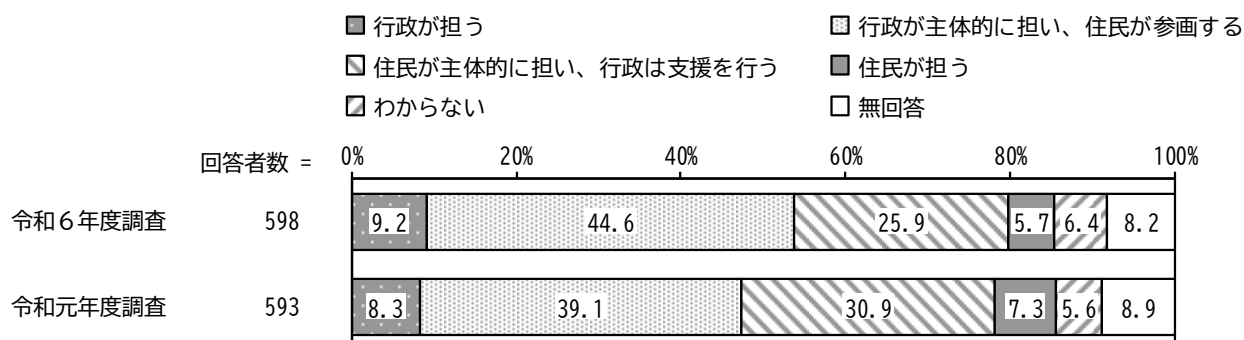
「住民が主体的に担い、行政は支援を行う」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「行政が主体的に担い、住民が参画する」の割合が 34.9%、「住民が担う」の割合が 10.7%となっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(8) 生涯学習やスポーツ、芸術活動に関する講座等の開催

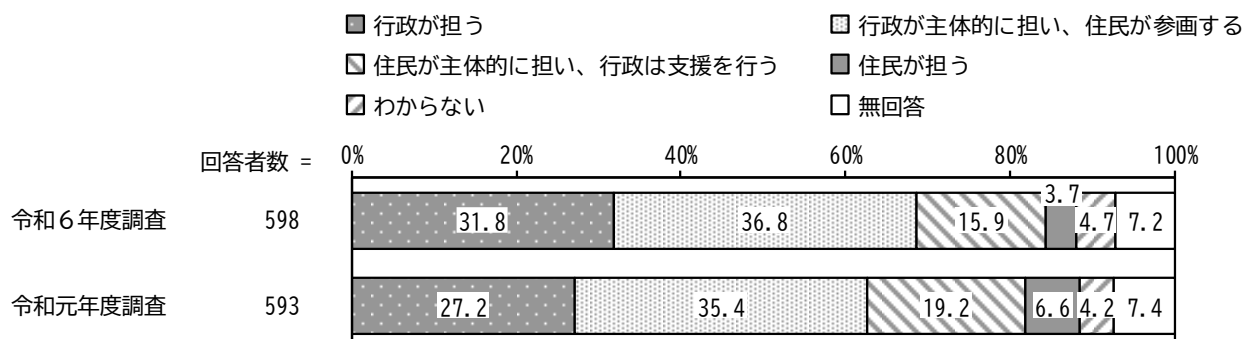
「行政が主体的に担い、住民が参画する」の割合が 44.6%と最も高く、次いで「住民が主体的に担い、行政は支援を行う」の割合が 25.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「行政が主体的に担い、住民が参画する」の割合が増加しています。



(9) 不法投棄のパトロール

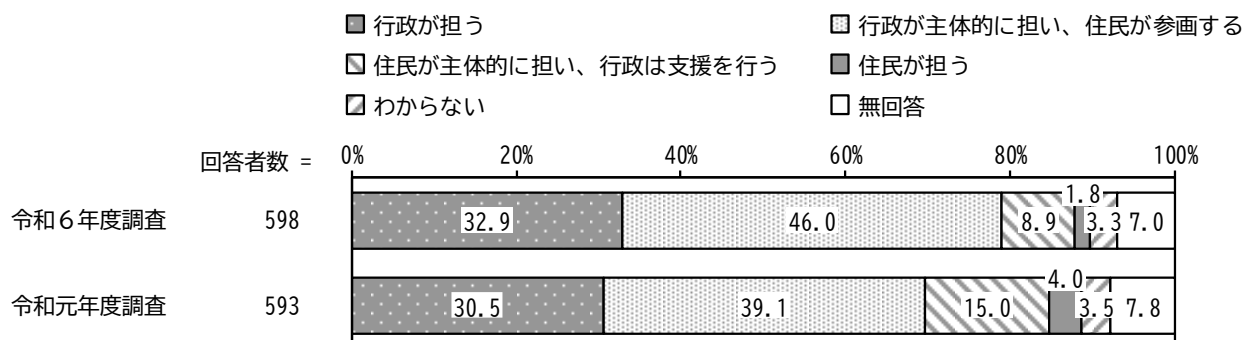
「行政が主体的に担い、住民が参画する」の割合が 36.8%と最も高く、次いで「行政が担う」の割合が 31.8%、「住民が主体的に担い、行政は支援を行う」の割合が 15.9%となっています。令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(10) 資源ゴミの回収などのリサイクル活動

「行政が主体的に担い、住民が参画する」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「行政が担う」の割合が 32.9%となっています。

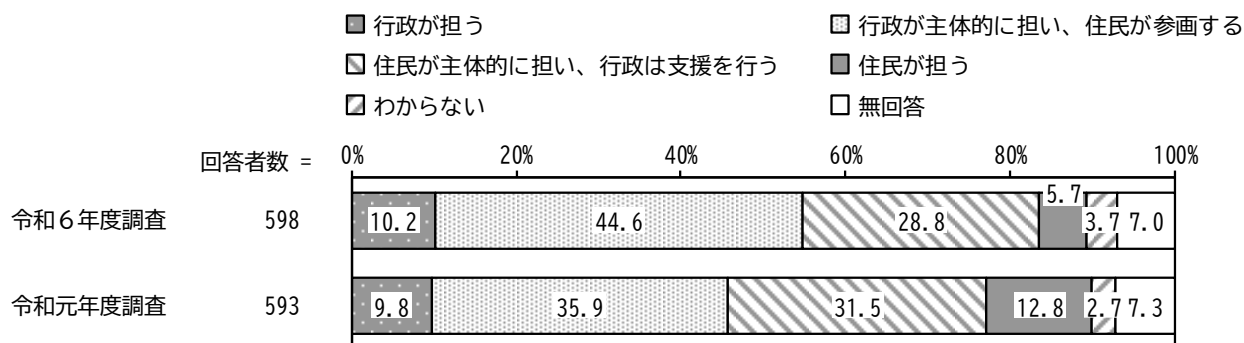
令和元年度調査と比較すると、「行政が主体的に担い、住民が参画する」の割合が増加しています。一方、「住民が主体的に担い、行政は支援を行う」の割合が減少しています。



(11) 近所の公園・まちかどの清掃や緑化活動

「行政が主体的に担い、住民が参画する」の割合が 44.6%と最も高く、次いで「住民が主体的に担い、行政は支援を行う」の割合が 28.8%、「行政が担う」の割合が 10.2%となっています。

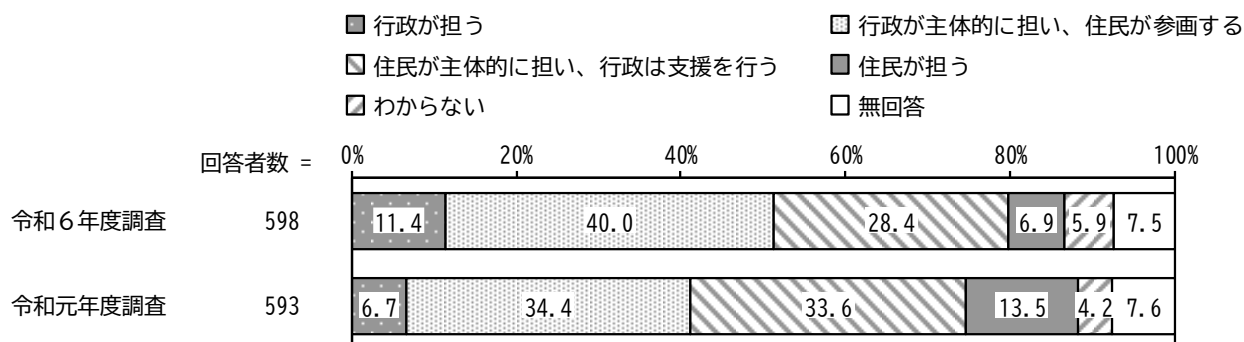
令和元年度調査と比較すると、「行政が主体的に担い、住民が参画する」の割合が増加しています。一方、「住民が担う」の割合が減少しています。



(12) 夜間や通学路の防犯パトロール

「行政が主体的に担い、住民が参画する」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「住民が主体的に担い、行政は支援を行う」の割合が 28.4%、「行政が担う」の割合が 11.4%となっています。

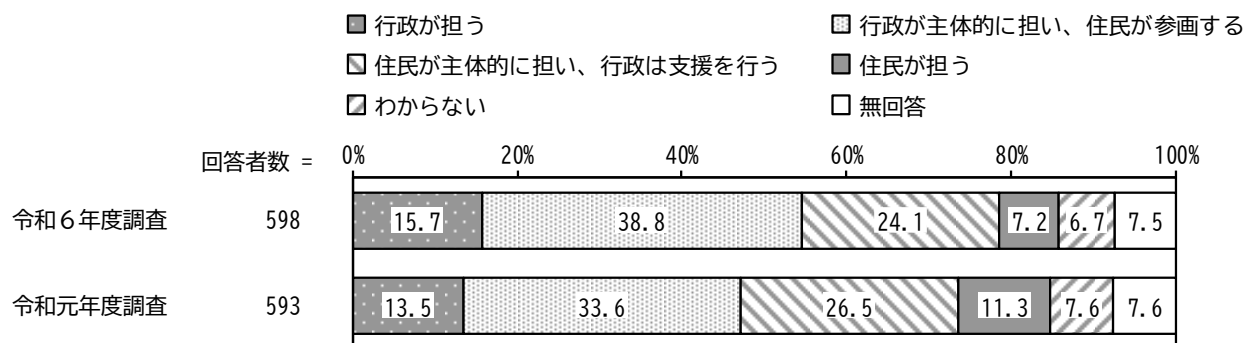
令和元年度調査と比較すると、「行政が主体的に担い、住民が参画する」の割合が増加しています。一方、「住民が主体的に担い、行政は支援を行う」「住民が担う」の割合が減少しています。



(13) 地域の観光名所・文化財のガイド

「行政が主体的に担い、住民が参画する」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「住民が主体的に担い、行政は支援を行う」の割合が 24.1%、「行政が担う」の割合が 15.7%となっています。

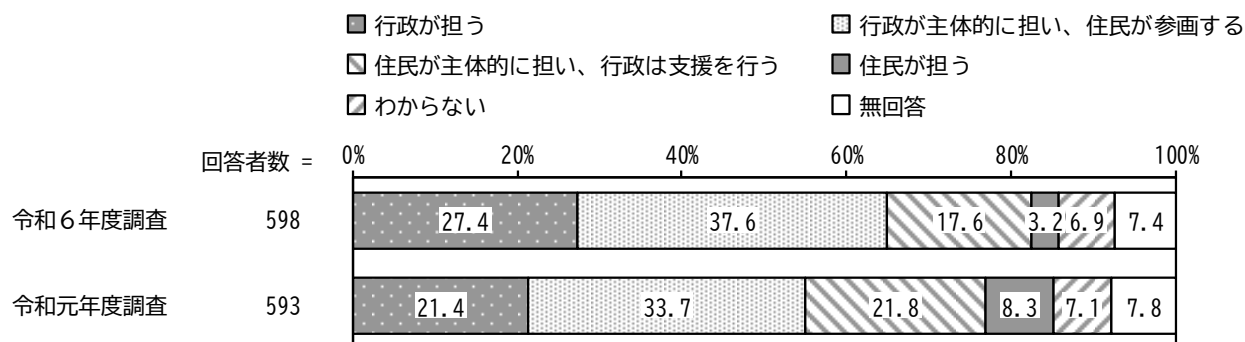
令和元年度調査と比較すると、「行政が主体的に担い、住民が参画する」の割合が増加しています。



(14) 地域施設（コミュニティセンターなど）の管理運営

「行政が主体的に担い、住民が参画する」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「行政が担う」の割合が 27.4%、「住民が主体的に担い、行政は支援を行う」の割合が 17.6%となっています。

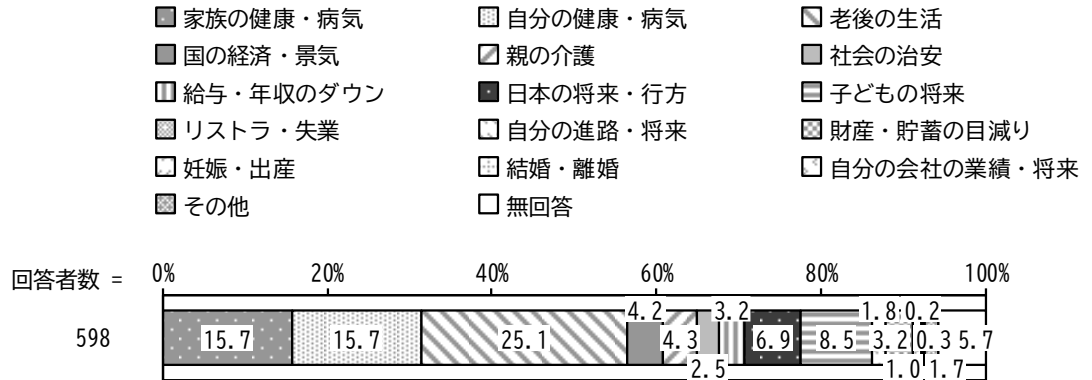
令和元年度調査と比較すると、「行政が担う」の割合が増加しています。一方、「住民が担う」の割合が減少しています。



問 14 現在及び将来の不安について

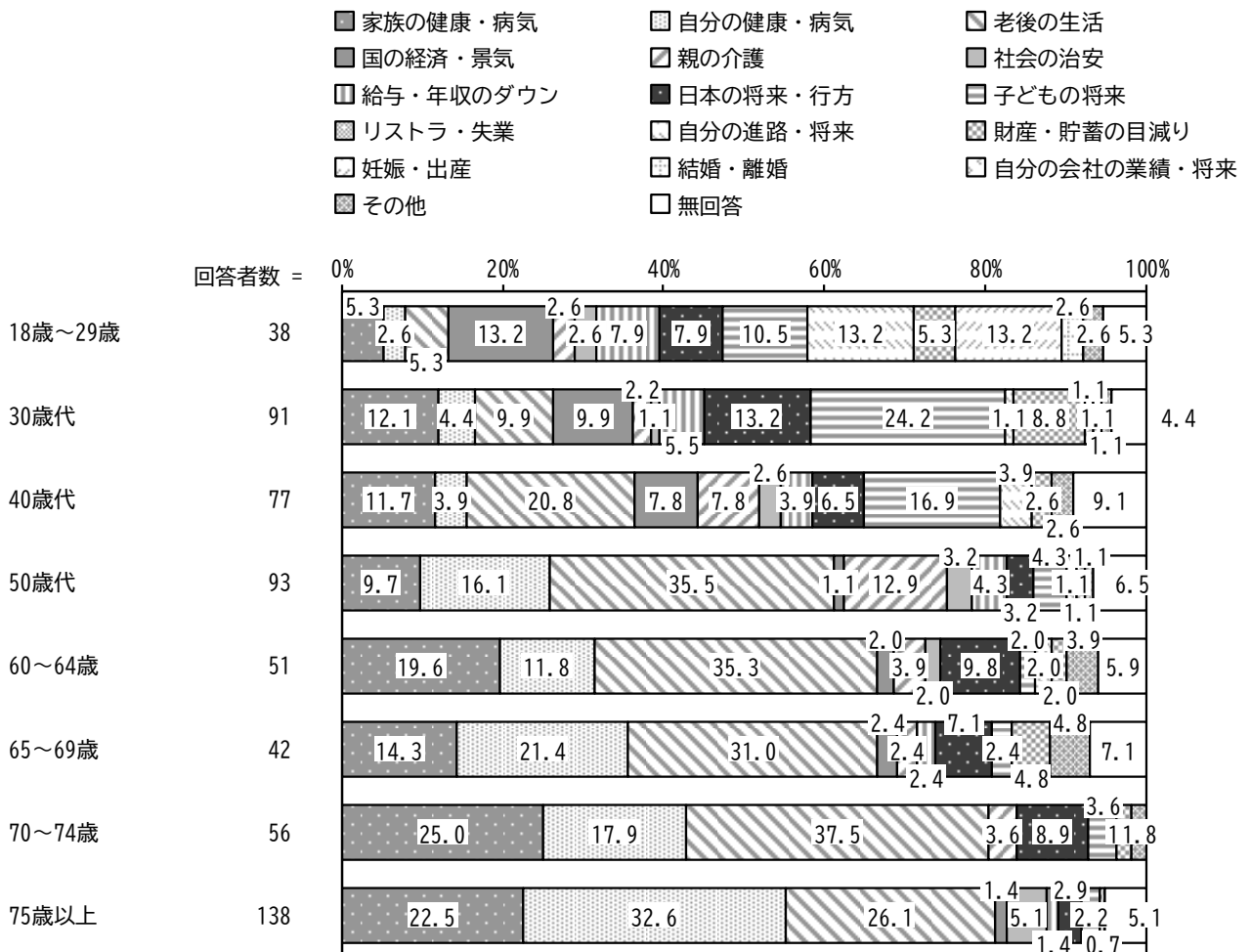
現在及び将来の不安についてお答えください。(○は1つだけ)

「老後の生活」の割合が25.1%と最も高く、次いで「家族の健康・病気」、「自分の健康・病気」の割合が15.7%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、「家族の健康・病気」について70～74歳で高く、18歳～29歳で低く、「自分の健康・病気」について75歳以上で高く、「子どもの将来」について30歳代で高くなっています。

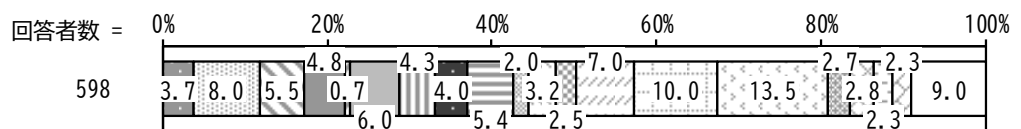


問 15 結婚や出産、子育てしやすいまちづくりに向けて

結婚や出産、子育てしやすいまちづくりに向けて必要な支援は何ですか。
(○は1つだけ)

「子育てがしやすい税制や社会保障」の割合が 13.5%と最も高く、次いで「保育所などの預け先の施設数やサービス内容の充実」の割合が 10.0%となっています。

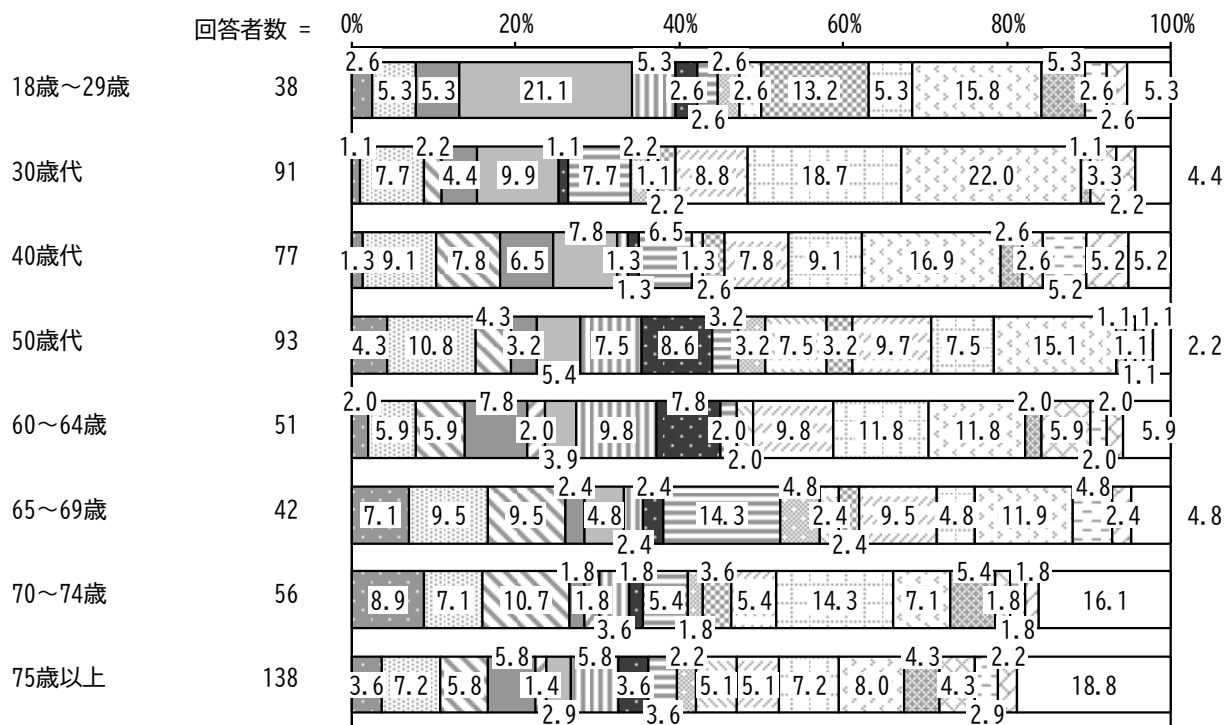
- 男女の出会いの場の提供
- 夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実
- 安定した雇用機会の提供
- 結婚した方が有利になるような税制や社会保障
- 結婚に関する相談体制
- 結婚や出産、育児に対する資金貸与や補助支援
- 安定した住居の供給、住宅に対する補助支援
- 女性が働きやすい環境づくり
- 長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、自由な時間や育児時間の確保
- 産休・育休制度の充実
- 妊娠・出産・子育てに関する相談・地域のサポート体制の充実
- 妊娠・出産時の経済的負担の軽減
- 子どもの人数に応じた経済的な支援
- 保育所などの預け先の施設数やサービス内容の充実
- 子育てがしやすい税制や社会保障
- 学校などの教育環境の充実
- 子どもの安全を確保する対策の充実
- 小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制づくり
- その他
- 無回答



【年齢別】

年齢別にみると、「男女の出会いの場の提供」について65～69歳、70～74歳で高く、「女性が働きやすい環境づくり」について50歳代で高く、「保育所などの預け先の施設数やサービス内容の充実」について30歳代で高くなっています。

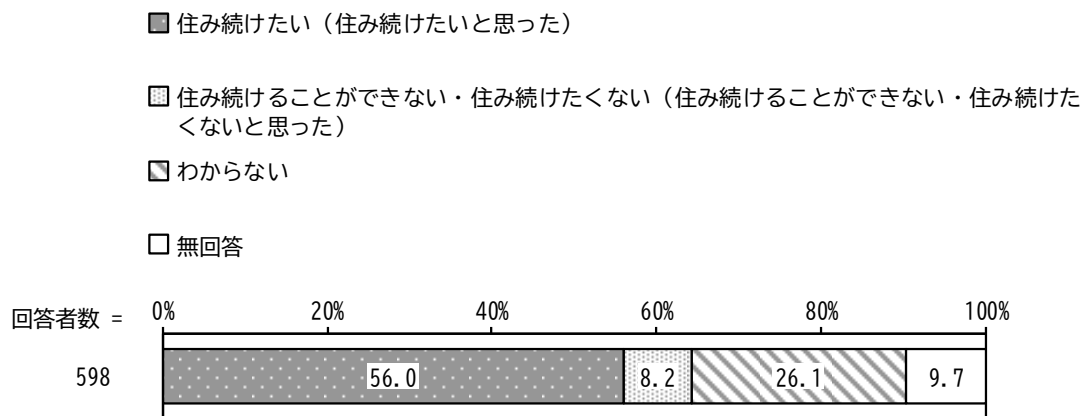
- 男女の出会いの場の提供
- 夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実
- 安定した雇用機会の提供
- 結婚した方が有利になるような税制や社会保障
- 結婚に関する相談体制
- 結婚や出産、育児に対する資金貸与や補助支援
- 安定した住居の供給、住宅に対する補助支援
- 女性が働きやすい環境づくり
- 長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、自由な時間や育児時間の確保
- 産休・育休制度の充実
- 妊娠・出産・子育てに関する相談・地域のサポート体制の充実
- 妊娠・出産時の経済的負担の軽減
- 子どもの人数に応じた経済的な支援
- 保育所などの預け先の施設数やサービス内容の充実
- 子育てがしやすい税制や社会保障
- 学校などの教育環境の充実
- 子どもの安全を確保する対策の充実
- 小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制づくり
- その他
- 無回答



問 16 結婚後も大山崎町に住み続けたいか

結婚後も大山崎町に住み続けたいですか。(住み続けたいと思いましたが。)
(○は1つだけ)

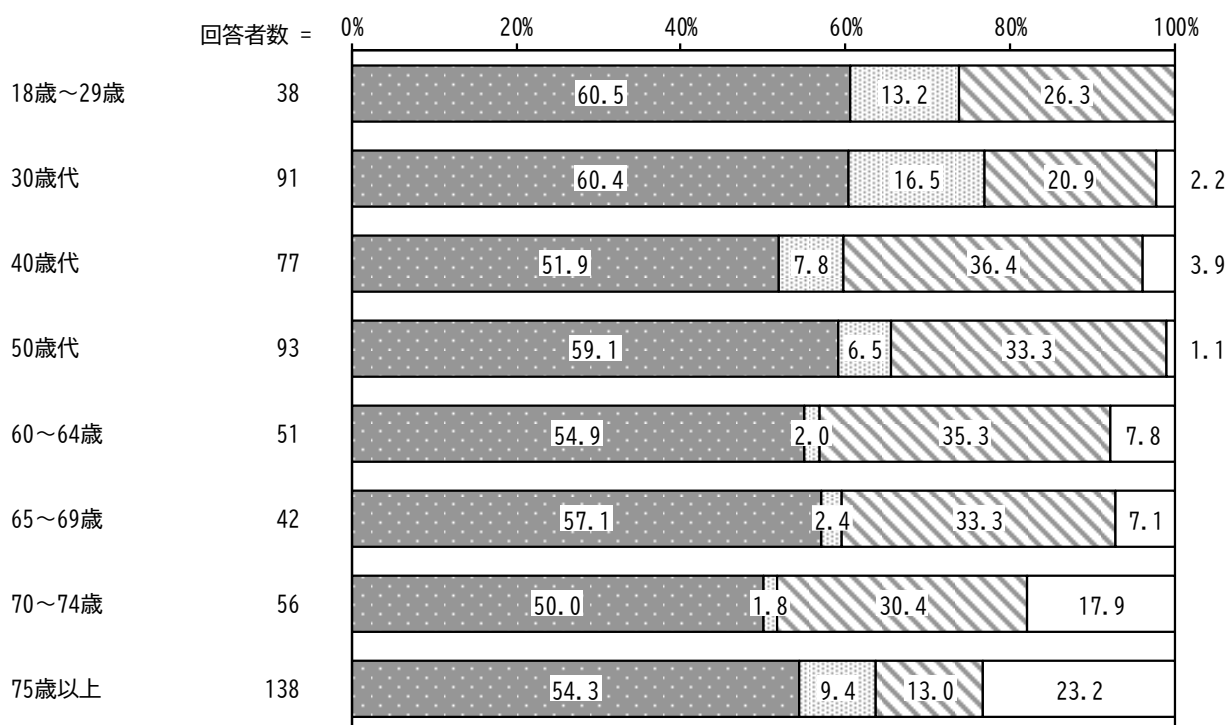
「住み続けたい(住み続けたいと思った)」の割合が56.0%、「わからない」の割合が26.1%となっています。



【年齢別】

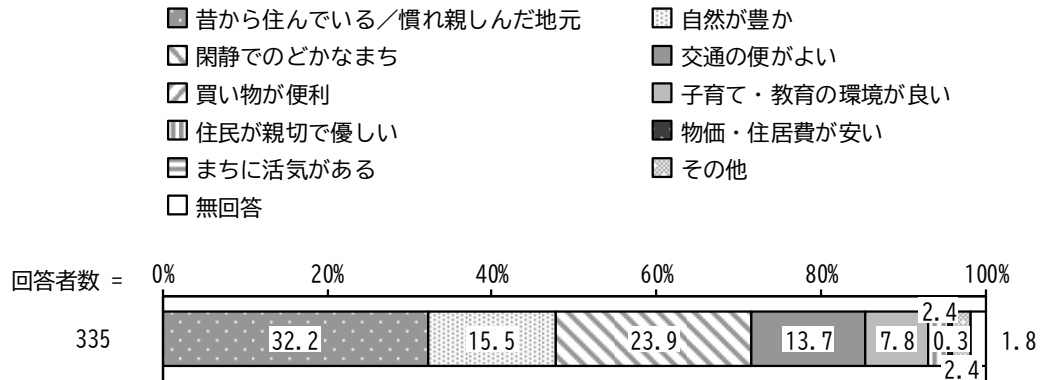
年齢別にみると、「住みたい（住みたいと思った）」について70～74歳で低く、「住み続けることができない・住みたいくない（住み続けることができない・住みたいくないと思った）」について30歳代で高く、「わからない」について75歳以上で低くなっています。

- 住みたい（住みたいと思った）
- ▨ 住み続けることができない・住みたいくない（住み続けることができない・住みたいくないと思った）
- ▩ わからない
- 無回答



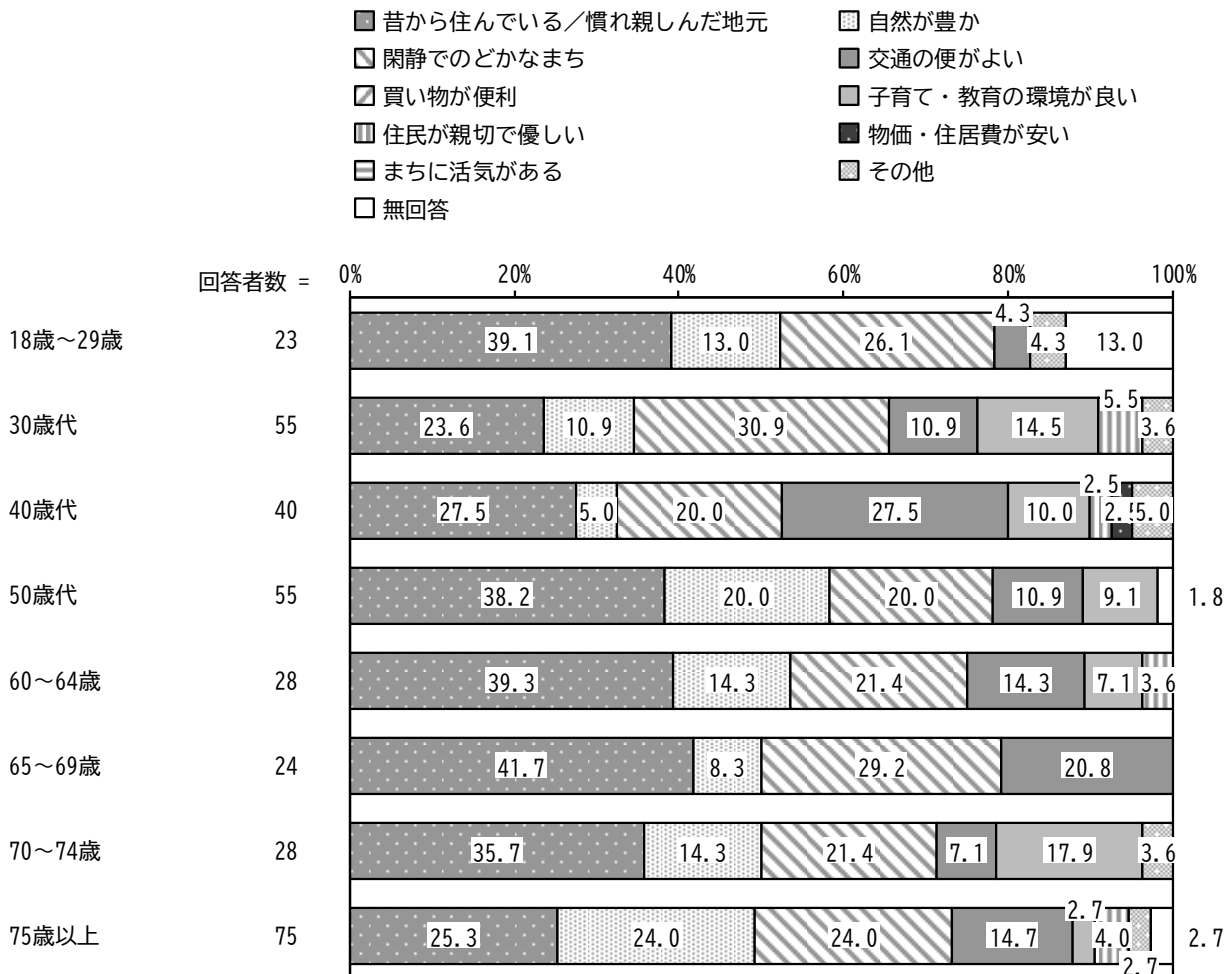
問 16-1 前の問 16 で「1」に○をされた方にお聞きします。
結婚後も住み続けたい理由は何ですか。(○は1つだけ)

「昔から住んでいる／慣れ親しんだ地元」の割合が 32.2%と最も高く、次いで「閑静でのどかなまち」の割合が 23.9%、「自然が豊か」の割合が 15.5%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、「閑静でのどかなまち」について 30 歳代で高く、「交通の便がよい」について 40 歳代で高く、18 歳～29 歳で低くなっています。

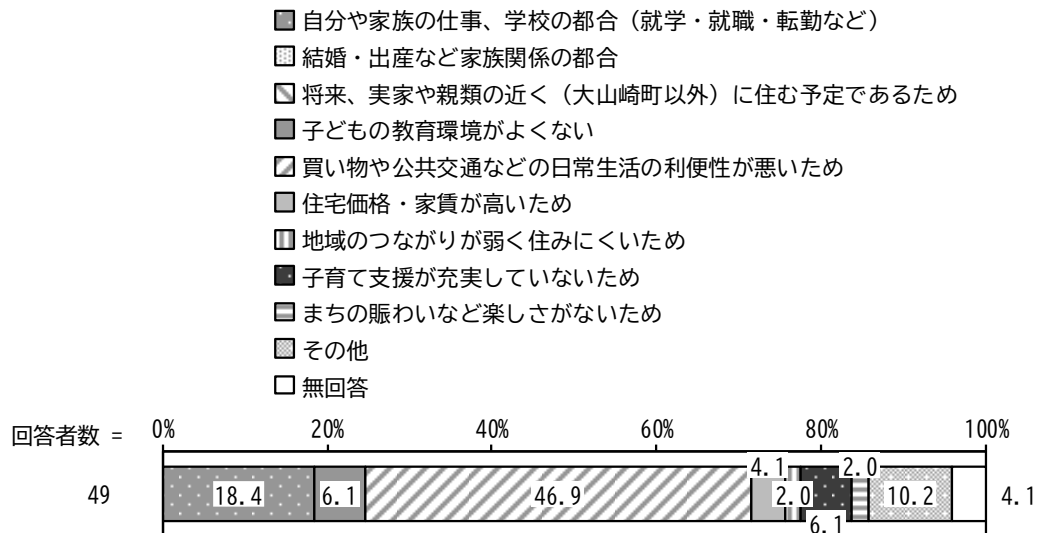


問 16-2 前の問 16 で「2」に○をされた方にお聞きします。

結婚後も住み続けることができない・住み続けたくない理由は何ですか。

(○は1つだけ)

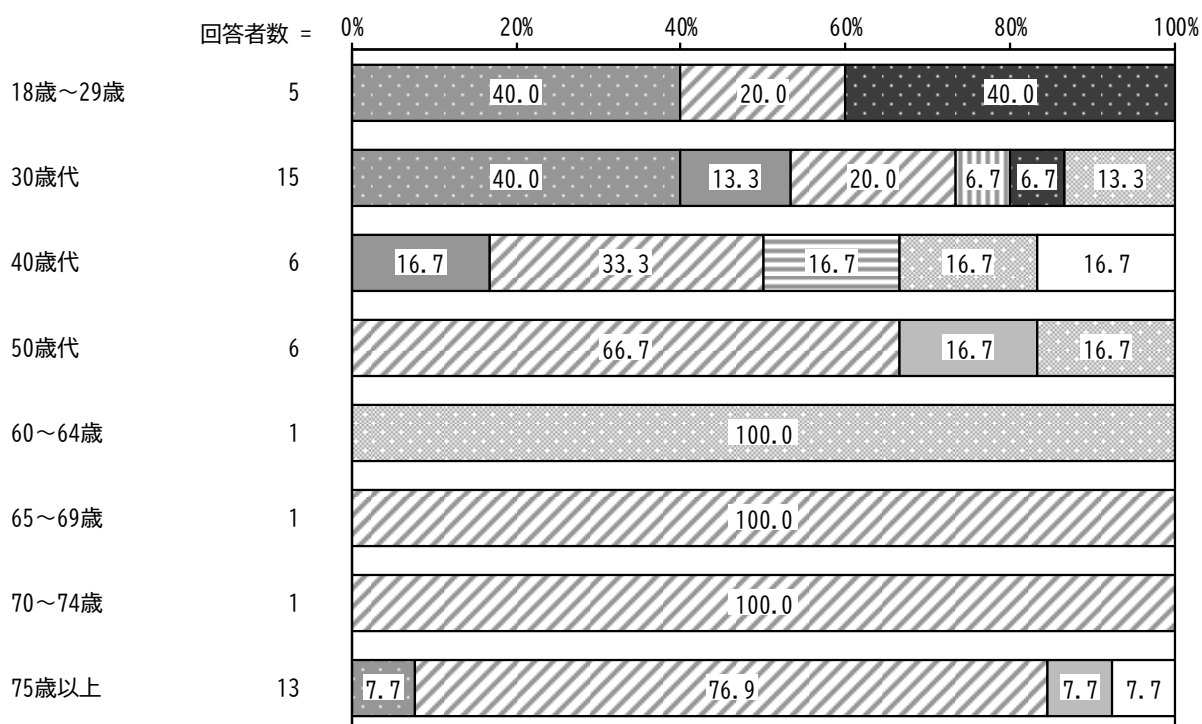
「買い物や公共交通などの日常生活の利便性が悪いため」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「自分や家族の仕事、学校の都合（就学・就職・転勤など）」の割合が 18.4%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、「住宅価格・家賃が高いため」について50歳代で高くなっています。

- 自分や家族の仕事、学校の都合（就学・就職・転勤など）
- ▨ 結婚・出産など家族関係の都合
- ▩ 将来、実家や親類の近く（大山崎町以外）に住む予定であるため
- 子どもの教育環境がよくない
- ▨ 買い物や公共交通などの日常生活の利便性が悪い
- 住宅価格・家賃が高いため
- ▨ 地域のつながりが弱く住みにくいため
- 子育て支援が充実していないため
- ▨ まちの賑わいなど楽しさがないため
- ▩ その他
- 無回答

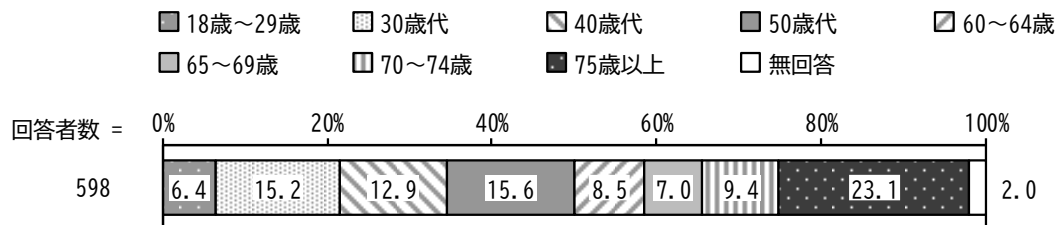


(3) 回答者属性

問 17 年齢

あなたの年齢について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

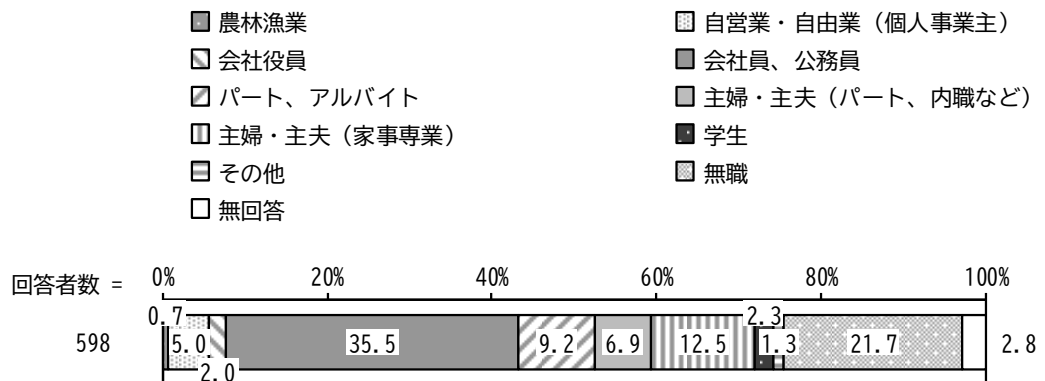
「75歳以上」の割合が23.1%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が15.6%、「30歳代」の割合が15.2%となっています。



問 18 職業

あなたの職業について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

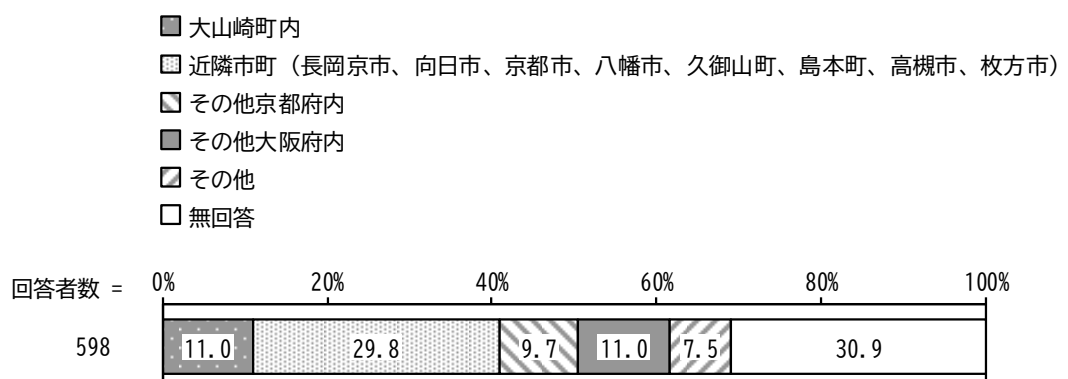
「会社員、公務員」の割合が35.5%と最も高く、次いで「無職」の割合が21.7%、「主婦・主夫（家事専業）」の割合が12.5%となっています。



問 19 通勤・通学先

あなたの通勤・通学先について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

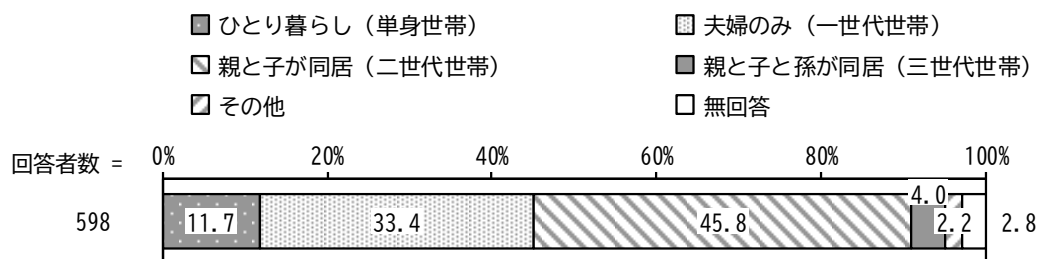
「近隣市町（長岡京市、向日市、京都市、八幡市、久御山町、島本町、高槻市、枚方市）」の割合が29.8%と最も高く、次いで「大山崎町内」、「その他大阪府内」の割合が11.0%となっています。



問 20 世帯構成

あなたの世帯の構成について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

「親と子が同居（二世帯世帯）」の割合が45.8%と最も高く、次いで「夫婦のみ（一世帯世帯）」の割合が33.4%、「ひとり暮らし（単身世帯）」の割合が11.7%となっています。



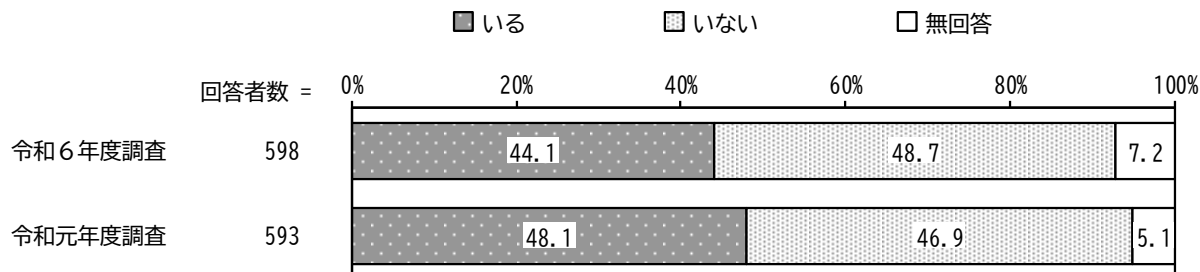
問 21 世帯の構成（高齢者と子ども）

あなたの世帯の構成について、次の（1）と（2）の問いそれぞれ1つに○印をつけてください。

（1）あなたの世帯には、65歳以上の方がおられますか。

「いる」の割合が44.1%、「いない」の割合が48.7%となっています。

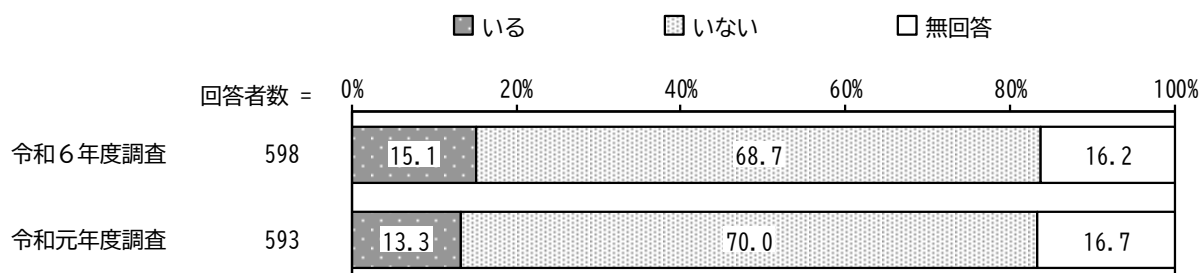
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



（2）あなたの世帯には、小学校就学前の子どもがいますか。

「いる」の割合が15.1%、「いない」の割合が68.7%となっています。

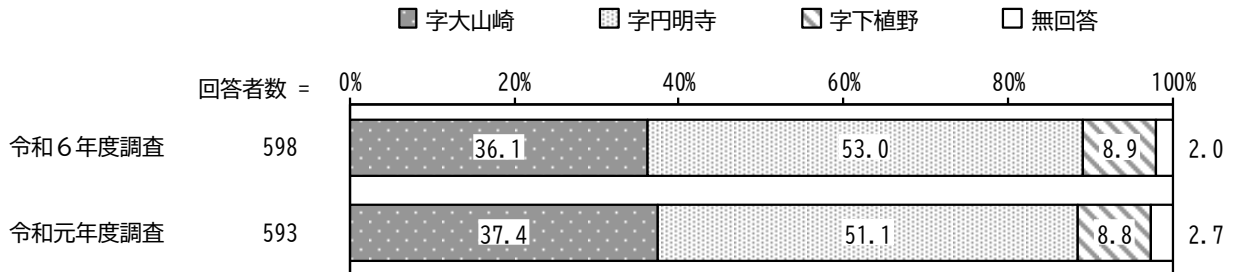
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 22 地区

あなたのお住まいは、次のどの地区ですか。当てはまる番号1つに○印をつけてください。

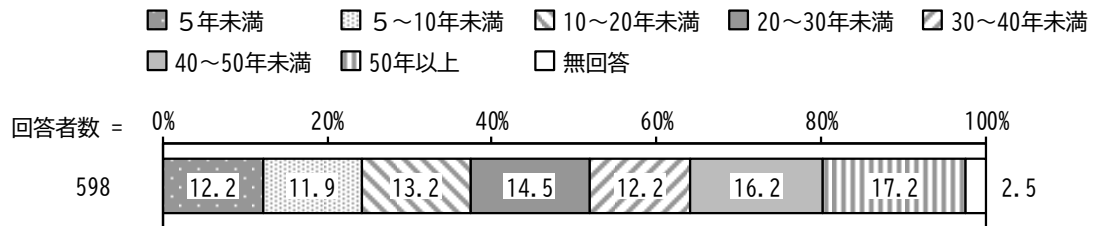
「字大山崎」の割合が36.1%、「字円明寺」の割合が53.0%となっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 23 通算居住年数

あなたは、これまで大山崎町に通算して何年お住みですか。当てはまる番号1つに○印をつけてください。

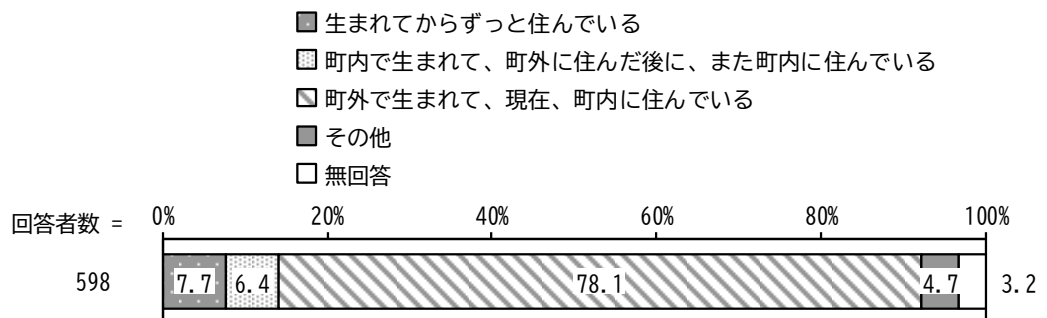
「50年以上」の割合が17.2%と最も高く、次いで「40～50年未満」の割合が16.2%、「20～30年未満」の割合が14.5%、「20～30年未満」の割合が14.5%となっています。



問 24 居住歴

大山崎町での居住歴は、どれですか。当てはまる番号1つに○印をつけてください。

「町外で生まれて、現在、町内に住んでいる」の割合が78.1%となっています。



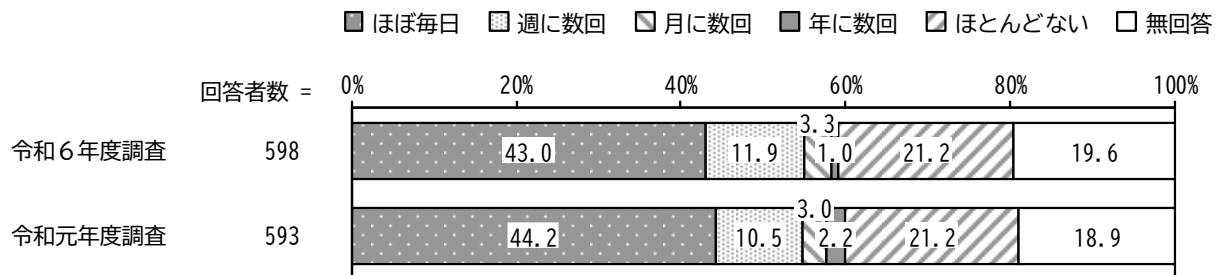
問 25 生活圏

あなたは、通勤や通学や病院の通院などで、町外に出ることはどのくらいありますか。また、日用品の買物は、町内や町外でどのくらい行なっていますか。次の（１）～（４）の項目について、当てはまる番号１つに○印をつけてください。

（１）通勤や通学で町外に出ること

「ほぼ毎日」の割合が 43.0%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が 21.2%、「週に数回」の割合が 11.9%となっています。

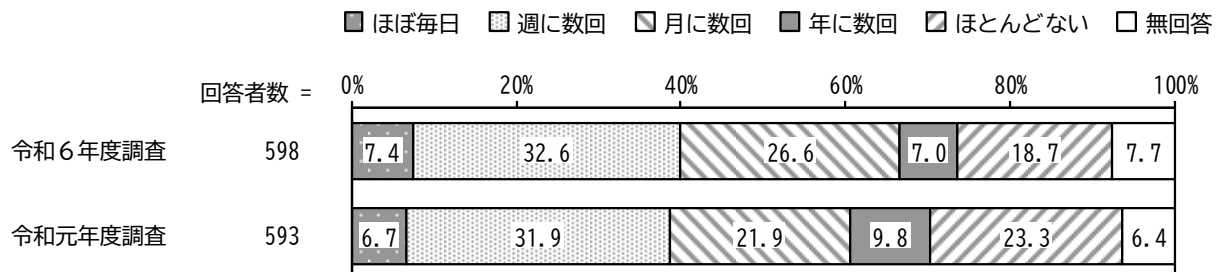
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



（２）日用品の買物に町内の商店を利用すること

「週に数回」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「月に数回」の割合が 26.6%、「ほとんどない」の割合が 18.7%となっています。

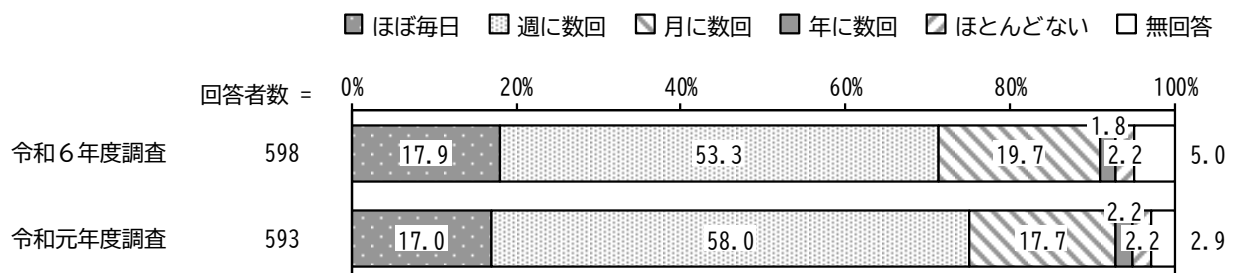
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



（３）日用品の買物に町外の商店を利用すること

「週に数回」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「月に数回」の割合が 19.7%、「ほぼ毎日」の割合が 17.9%となっています。

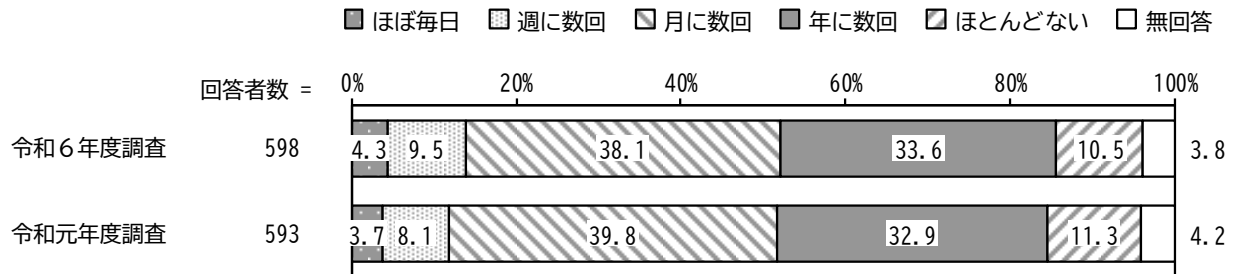
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(4) 病院等への通院で町外に出ること

「月に数回」の割合が 38.1%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が 33.6%、「ほとんどない」の割合が 10.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



2 小6・中学生調査

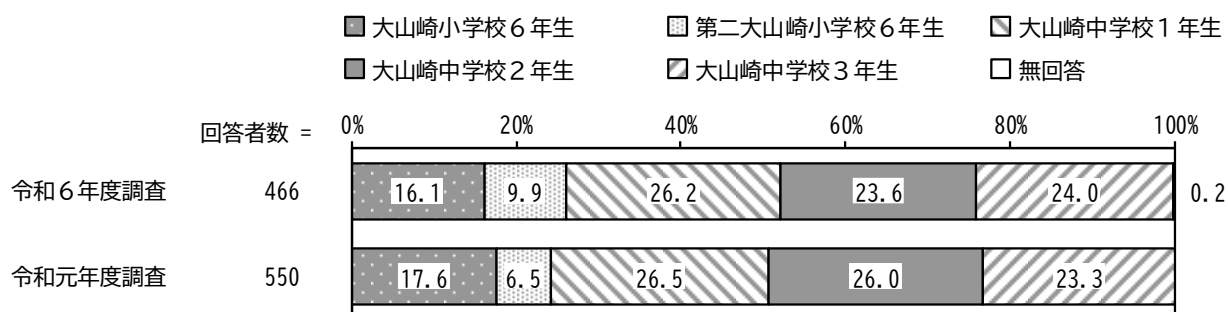
(1) 回答者属性

問1 あなたの学校・学年

あなたの学校・学年は、次のどれですか。当てはまる番号1つに○印をつけてください。

「大山崎中学校1年生」の割合が26.2%と最も高く、次いで「大山崎中学校3年生」の割合が24.0%、「大山崎中学校2年生」の割合が23.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



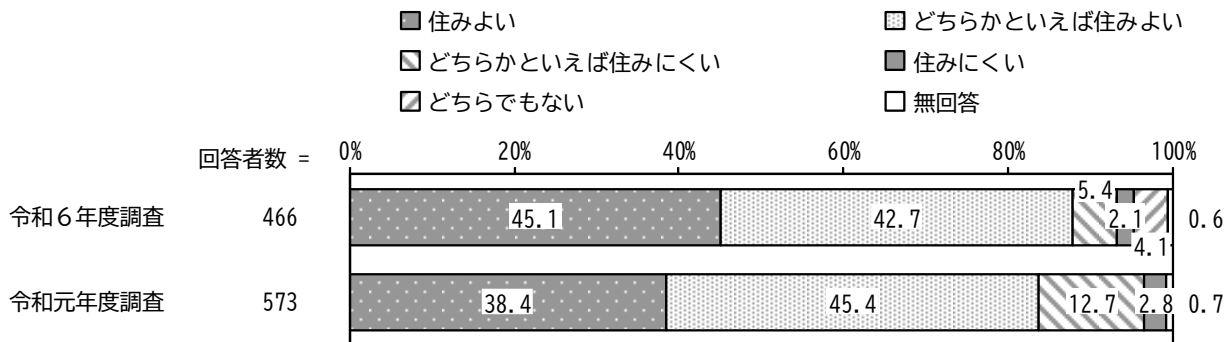
(2) 大山崎町の住みやすさや魅力などについて

問2 大山崎町の住みやすさ

あなたは、大山崎町は住みよいまちだと思いますか。当てはまる番号に○印をつけてください。(○は1つだけ)

「住みよい」「どちらかといえば住みよい」を合わせた”住みよい”の割合が87.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「住みよい」の割合が増加しています。一方、「どちらかといえば住みにくい」の割合が減少しています。

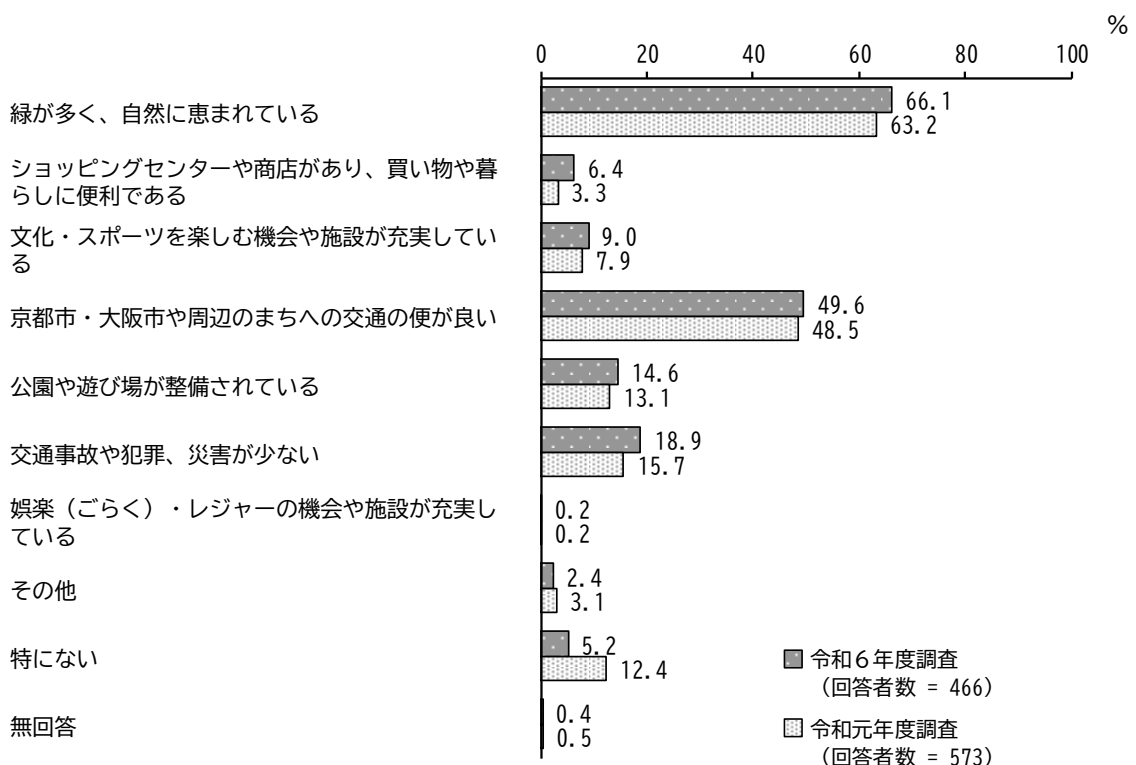


問3 大山崎町の好きなところ

あなたは、大山崎町のどんなところが好きですか。当てはまる番号に○印をつけてください。(○は2つまで)

「緑が多く、自然に恵まれている」の割合が66.1%と最も高く、次いで「京都市・大阪市や周辺のまちへの交通の便が良い」の割合が49.6%、「交通事故や犯罪、災害が少ない」の割合が18.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「特にない」の割合が減少しています。

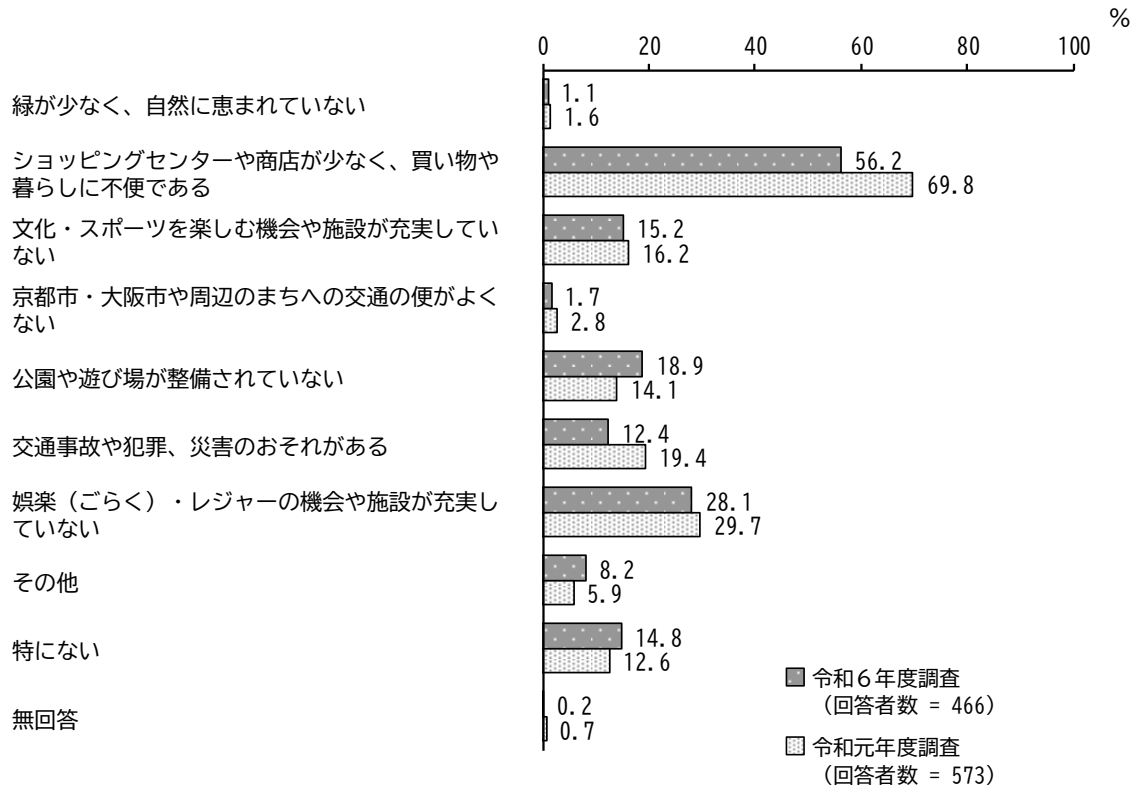


問4 大山崎町の好きでないところ

大山崎町の好きでないところは、どんなところですか。当てはまる番号に○印をつけてください。(○は2つまで)

「ショッピングセンターや商店が少なく、買い物や暮らしに不便である」の割合が56.2%と最も高く、次いで「娯楽(ごらく)・レジャーの機会や施設が充実していない」の割合が28.1%、「公園や遊び場が整備されていない」の割合が18.9%となっています。

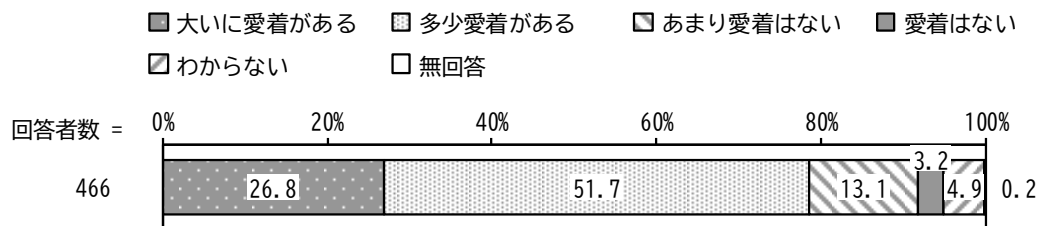
令和元年度調査と比較すると、「ショッピングセンターや商店が少なく、買い物や暮らしに不便である」「交通事故や犯罪、災害のおそれがある」の割合が減少しています。



問6 大山崎町での暮らしへの愛着

あなたは、大山崎町での生活に愛着を感じていますか。当てはまる番号に○印をつけてください。(○は1つだけ)

「大いに愛着がある」「多少愛着がある」を合わせた「愛着がある」の割合が78.5%、「あまり愛着はない」「愛着はない」を合わせた「愛着はない」の割合が16.3%となっています。



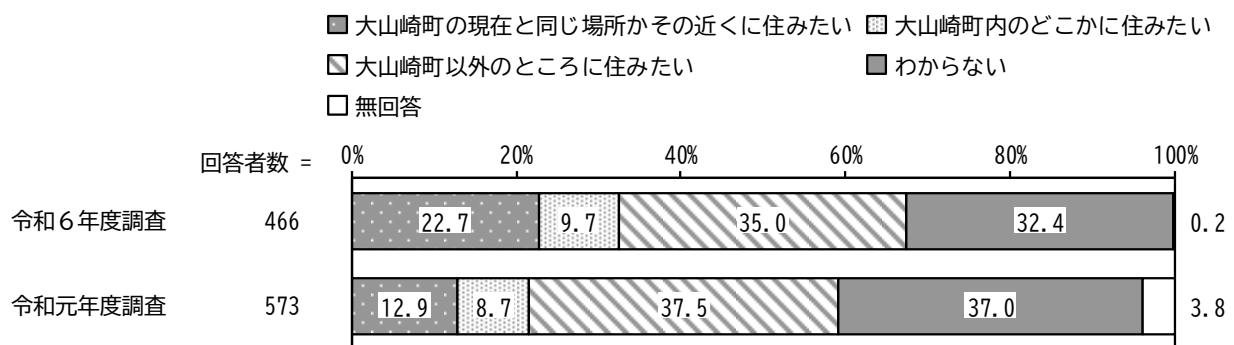
(3) 大山崎町に住み続けることについて

問7 大山崎町に住み続けたいか

あなたは、大人になっても大山崎町に住み続けたいと思いますか。当てはまる番号に○印をつけてください。(○は1つだけ)

「大山崎町以外のところに住みたい」の割合が35.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が32.4%、「大山崎町の現在と同じ場所かその近くに住みたい」の割合が22.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「大山崎町の現在と同じ場所かその近くに住みたい」の割合が増加しています。

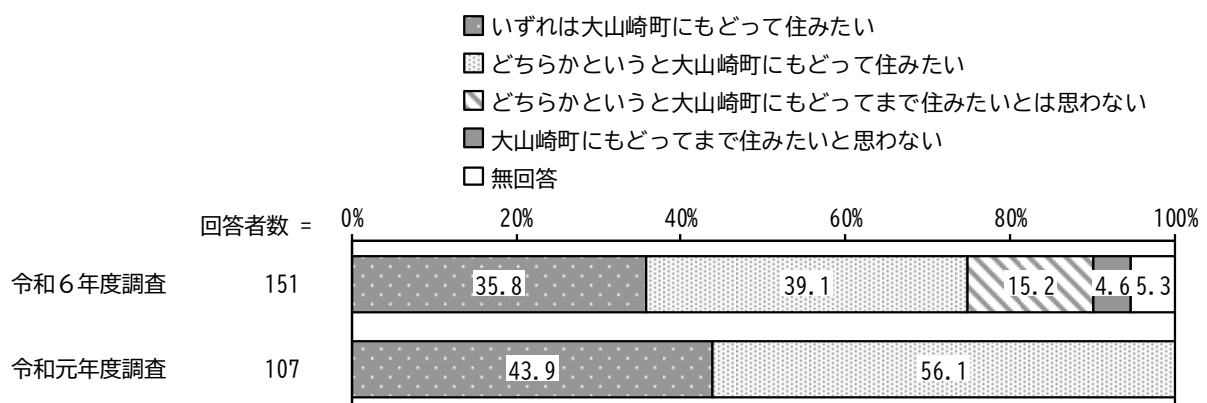


問7-1 問7で、「1」または「2」と回答した方にお聞きします

もし、引越しや就職などの事情でいったん町外に出ても、いずれは大山崎町にもどって住みたいと思いますか。自分の思いに一番近い番号に○印をつけてください。(○は1つだけ)

「いずれは大山崎町にもどって住みたい」「どちらかという大山崎町にもどって住みたい」を合わせた「もどって住みたいと思う」の割合が74.9%、「どちらかという大山崎町にもどってまで住みたいとは思わない」「大山崎町にもどってまで住みたいとは思わない」を合わせた「もどって住みたいとは思わない」の割合が19.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「どちらかという大山崎町にもどってまで住みたいとは思わない」の割合が増加しています。一方、「いずれは大山崎町にもどって住みたい」「どちらかという大山崎町にもどって住みたい」の割合が減少しています。

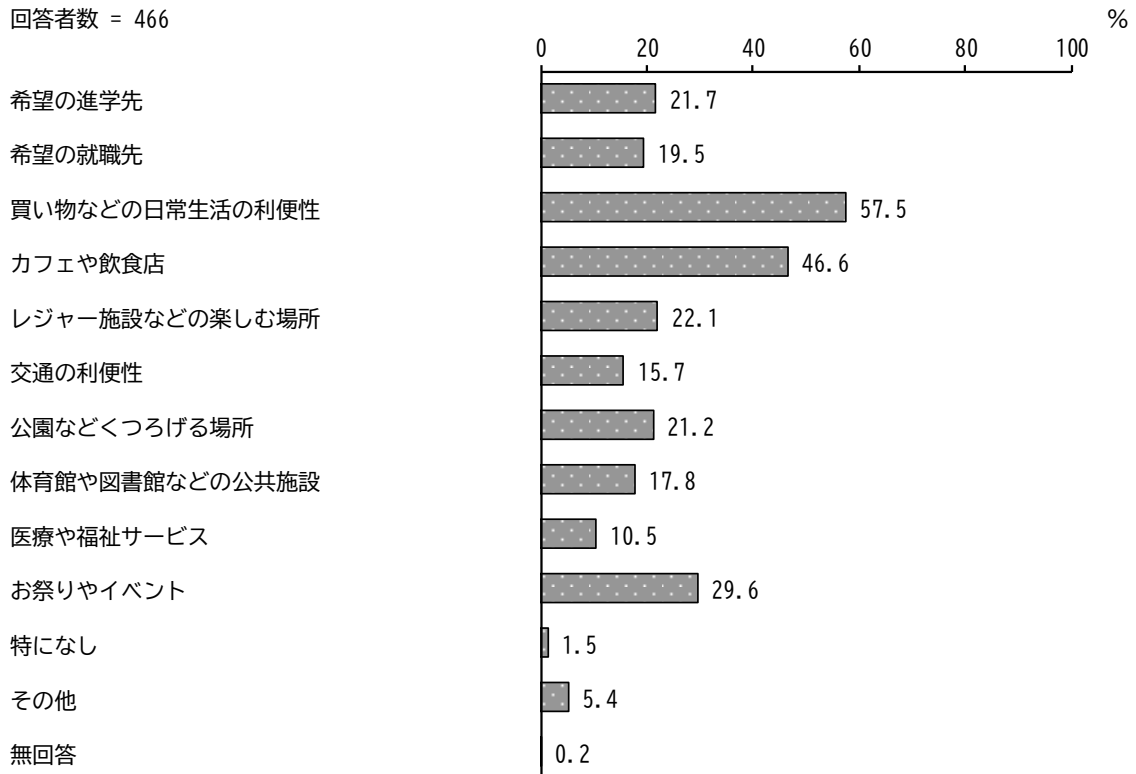


問8 子ども、若者が大山崎町に住み続けるために必要なこと

子ども、若者が大山崎町に住み続けるために必要なことは何だと思えますか。当てはまる番号に○印をつけてください。(○は3つまで)

「買い物などの日常生活の利便性」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「カフェや飲食店」の割合が 46.6%、「お祭りやイベント」の割合が 29.6%となっています。

回答者数 = 466



【大山崎町の住みやすさ別】

大山崎町の住みやすさ別にみると、「希望の進学先」についてどちらかといえば住みにくいで高く、「レジャー施設などの楽しむ場所」について住みにくいで高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	希望の進学先	希望の就職先	買い物などの日常生活の利便性	カフェや飲食店	レジャー施設などの楽しむ場所	交通の利便性	公園などくつろげる場所	体育館や図書館などの公共施設	医療や福祉サービス	お祭りやイベント	特になし	その他	無回答
全体	466	21.7	19.5	57.5	46.6	22.1	15.7	21.2	17.8	10.5	29.6	1.5	5.4	0.2
住みよい	210	19.5	18.1	54.8	43.8	22.4	18.1	23.3	16.7	11.9	39.0	0.5	4.3	—
どちらかといえば住みよい	199	22.6	21.1	60.3	47.2	21.6	15.1	18.1	20.1	10.1	24.1	2.5	6.0	—
どちらかといえば住みにくい	25	32.0	12.0	68.0	52.0	20.0	8.0	32.0	16.0	8.0	12.0	—	8.0	—
住みにくい	10	20.0	30.0	50.0	70.0	30.0	10.0	10.0	20.0	—	10.0	10.0	—	—
どちらでもない	19	21.1	26.3	52.6	57.9	21.1	10.5	21.1	5.3	10.5	15.8	—	10.5	—

【大山崎町での愛着別】

大山崎町での愛着別にみると、「希望の就職先」についてあまり愛着はないで低く、「カフェや飲食店」について愛着はないで高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	希望の進学先	希望の就職先	買い物などの日常生活の利便性	カフェや飲食店	レジャー施設などの楽しむ場所	交通の利便性	公園などくつろげる場所	体育館や図書館などの公共施設	医療や福祉サービス	お祭りやイベント	特になし	その他	無回答
全 体	466	21.7	19.5	57.5	46.6	22.1	15.7	21.2	17.8	10.5	29.6	1.5	5.4	0.2
大いに愛着がある	125	25.6	22.4	56.8	46.4	20.8	16.0	20.8	18.4	10.4	35.2	—	5.6	—
多少愛着がある	241	20.3	21.6	56.0	44.0	24.9	16.2	22.0	17.8	11.2	29.9	1.2	5.4	—
あまり愛着はない	61	19.7	9.8	73.8	54.1	18.0	11.5	21.3	19.7	9.8	24.6	—	3.3	—
愛着はない	15	26.7	13.3	46.7	66.7	13.3	20.0	20.0	13.3	13.3	13.3	6.7	6.7	—
わからない	23	17.4	13.0	43.5	43.5	17.4	17.4	17.4	13.0	4.3	21.7	13.0	8.7	—

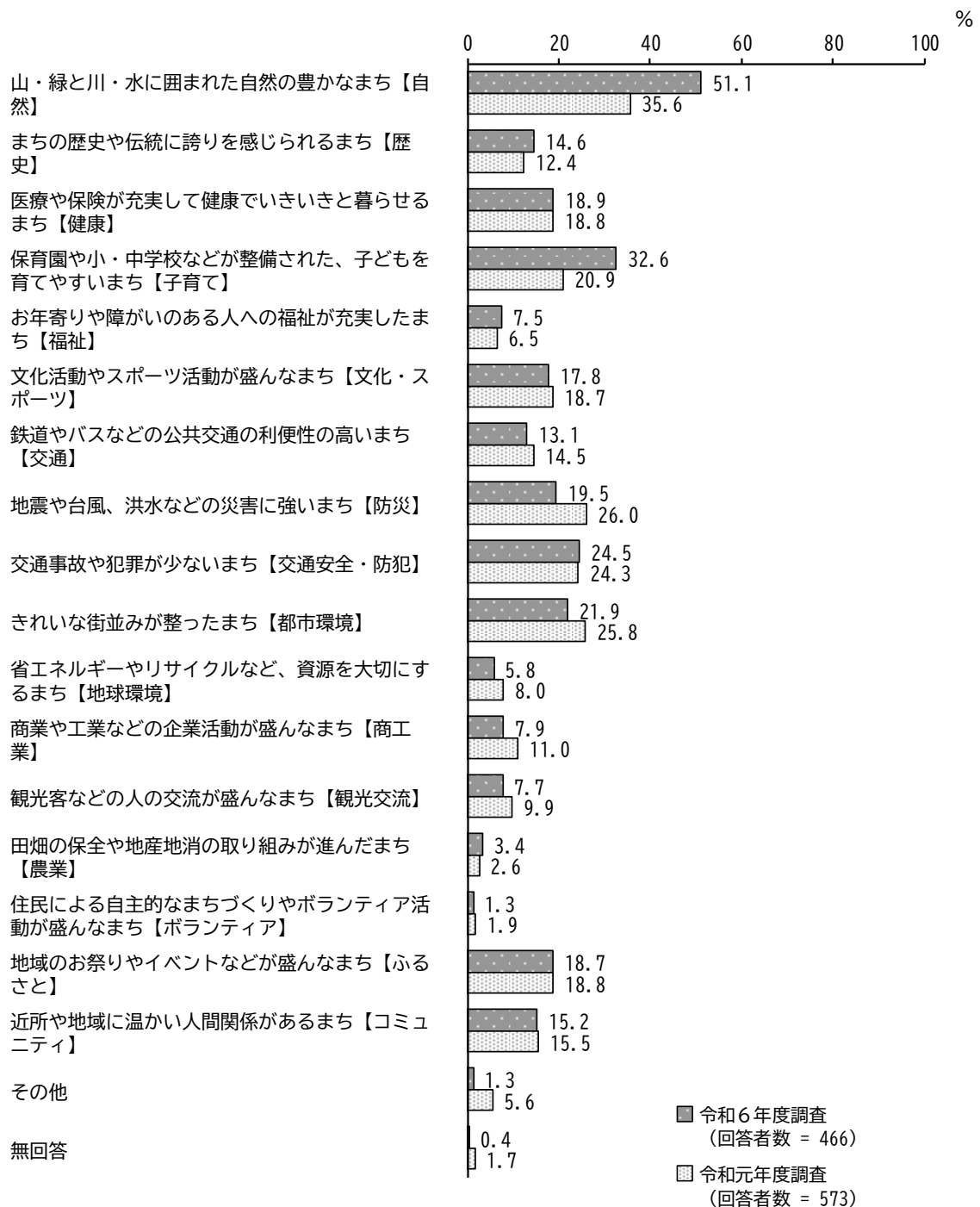
(4) 大山崎町の将来像や地域活動への参加、まちの魅力向上について

問9 2035年(約10年後)の大山崎町の将来像

あなたは、2035年(約10年後)の大山崎町が、どのようなまちであってほしいと思いますか。当てはまる番号に○印をつけてください。(○は3つまで)

「山・緑と川・水に囲まれた自然の豊かなまち【自然】」の割合が51.1%と最も高く、次いで「保育園や小・中学校などが整備された、子どもを育てやすいまち【子育て】」の割合が32.6%、「交通事故や犯罪が少ないまち【交通安全・防犯】」の割合が24.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「山・緑と川・水に囲まれた自然の豊かなまち【自然】」「保育園や小・中学校などが整備された、子どもを育てやすいまち【子育て】」の割合が増加しています。一方、「地震や台風、洪水などの災害に強いまち【防災】」の割合が減少しています。



【大山崎町の住みやすさ別】

大山崎町の住みやすさ別にみると、「まちの歴史や伝統に誇りを感じられるまち【歴史】」についてどちらでもないで低くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	山・緑と川・水に囲まれた自然の豊かなまち【自然】	まちの歴史や伝統に誇りを感じられるまち【歴史】	医療や保険が充実して健康でいきいきと暮らせるまち【健康】	子育てやすいまち【子育て】	保育園や小・中学校などが整備された、子どもを育てやすいまち【子育て】	お年寄りや障がいのある人への福祉が充実したまち【福祉】	文化活動やスポーツ活動が盛んなまち【文化・スポーツ】	鉄道やバスなどの公共交通の利便性の高いまち【交通】	地震や台風、洪水などの災害に強いまち【防災】	交通事故や犯罪が少ないまち【交通安全・防犯】
全体	466	51.1	14.6	18.9	32.6	7.5	17.8	13.1	19.5	24.5	
住みよい	210	61.4	19.0	16.2	31.4	8.6	17.6	13.3	19.0	25.2	
どちらかといえば住みよい	199	43.7	11.6	22.6	33.2	5.5	19.6	14.6	21.6	25.1	
どちらかといえば住みにくい	25	36.0	12.0	16.0	40.0	12.0	16.0	—	16.0	20.0	
住みにくい	10	40.0	10.0	10.0	40.0	—	10.0	20.0	20.0	—	
どちらでもない	19	36.8	5.3	21.1	31.6	15.8	5.3	10.5	5.3	31.6	

区分	きれいな街並みが整ったまち【都市環境】	省エネルギーやリサイクルなど、資源を大切にすま【地球環境】	商業や工業などの企業活動が盛んなまち【商工業】	観光客などの人の交流が盛んなまち【観光交流】	田畑の保全や地産地消の取り組みが進んだまち【農業】	住民による自主的なまちづくりやボランティア活動が盛んなまち【ボランティア】	地域のお祭りやイベントなどが盛んなまち【ふるさと】	近所や地域に温かい人間関係があるまち【コミュニティ】	その他	無回答
全体	21.9	5.8	7.9	7.7	3.4	1.3	18.7	15.2	1.3	0.4
住みよい	16.7	6.7	7.6	5.2	4.3	1.9	20.5	14.3	—	—
どちらかといえば住みよい	22.6	5.5	6.5	10.6	2.0	1.0	17.6	16.1	2.5	0.5
どちらかといえば住みにくい	44.0	4.0	16.0	8.0	4.0	—	16.0	20.0	4.0	—
住みにくい	40.0	—	30.0	10.0	—	—	10.0	30.0	—	—
どちらでもない	36.8	5.3	5.3	5.3	10.5	—	10.5	5.3	—	—

【大山崎町での愛着別】

大山崎町での愛着別にみると、「まちの歴史や伝統に誇りを感じられるまち【歴史】」についてあまり愛着はないで低く、「お年寄りや障がいのある人への福祉が充実したまち【福祉】」について愛着はないで高く、「きれいな街並みが整ったまち【都市環境】」についてわからないで高く、「近所や地域に温かい人間関係があるまち【コミュニティ】」について大いに愛着があるで高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	山・緑と川・水に囲まれた自然の豊かなまち【自然】	まちの歴史や伝統に誇りを感じられるまち【歴史】	医療や保険が充実して健康でいきいきと暮らせるまち【健康】	保育園や小・中学校などが整備された、子どもを育てやすいまち【子育て】	お年寄りや障がいのある人への福祉が充実したまち【福祉】	文化活動やスポーツ活動が盛んなまち【文化・スポーツ】	鉄道やバスなどの公共交通の利便性の高いまち【交通】	地震や台風、洪水などの災害に強いまち【防災】	交通事故や犯罪が少ないまち【交通安全・防犯】
全体	466	51.1	14.6	18.9	32.6	7.5	17.8	13.1	19.5	24.5
大いに愛着がある	125	66.4	18.4	14.4	28.8	4.8	16.8	8.8	20.0	19.2
多少愛着がある	241	50.2	14.5	20.7	33.2	9.1	20.3	13.3	21.2	25.7
あまり愛着はない	61	36.1	6.6	18.0	31.1	4.9	18.0	21.3	18.0	29.5
愛着はない	15	26.7	13.3	26.7	46.7	13.3	6.7	6.7	13.3	20.0
わからない	23	34.8	17.4	21.7	43.5	8.7	4.3	17.4	8.7	30.4

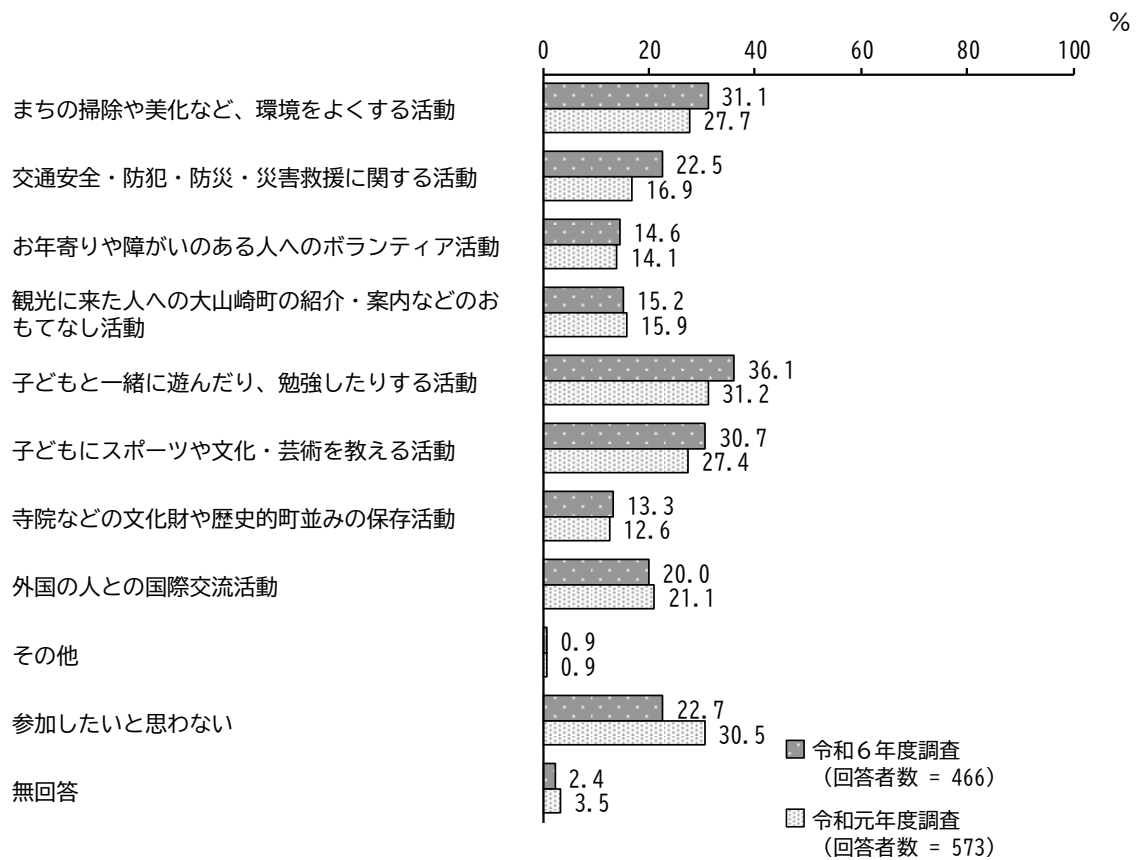
区分	きれいな街並みが整ったまち【都市環境】	省エネルギーやリサイクルなど、資源を大切にします【地球環境】	商業や工業などの企業活動が盛んなまち【商工業】	観光客などの人の交流が盛んなまち【観光交流】	田畑の保全や地産地消の取り組みが進んだまち【農業】	住民による自主的なまちづくりやボランティア活動が盛んなまち【ボランティア】	地域のお祭りやイベントなどが盛んなまち【ふるさと】	近所や地域に温かい人間関係があるまち【コミュニティ】	その他	無回答
全体	21.9	5.8	7.9	7.7	3.4	1.3	18.7	15.2	1.3	0.4
大いに愛着がある	20.0	9.6	8.0	5.6	5.6	-	22.4	22.4	0.8	-
多少愛着がある	20.3	5.0	7.5	9.1	3.7	2.1	18.3	12.0	0.8	-
あまり愛着はない	24.6	-	6.6	11.5	-	1.6	18.0	14.8	1.6	1.6
愛着はない	33.3	6.7	26.7	-	-	-	-	20.0	6.7	-
わからない	34.8	8.7	4.3	-	-	-	17.4	8.7	4.3	-

問 10 大山崎町の地域活動への参加

あなたは、今後、大山崎町の地域行事やボランティアなどの地域活動に参加したいと思いますか。参加したいと思うものの番号すべてに○をつけてください。
(○はいくつでも)

「子どもと一緒に遊んだり、勉強したりする活動」の割合が 36.1%と最も高く、次いで「まちの掃除や美化など、環境をよくする活動」の割合が 31.1%、「子どもにスポーツや文化・芸術を教える活動」の割合が 30.7%となっています。また、「参加したいと思わない」の割合が 22.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「交通安全・防犯・防災・災害救援に関する活動」の割合が増加しています。一方、「参加したいと思わない」の割合が減少しています。



【大山崎町の住みやすさ別】

大山崎町の住みやすさ別にみると、「まちの掃除や美化など、環境をよくする活動」について住みにくいで低く、「交通安全・防犯・防災・災害救援に関する活動」についてどちらかといえば住みにくい、どちらでもないで低くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	まちの掃除や美化など、環境をよくする活動	交通安全・防犯・防災・災害救援に関する活動	お年寄りや障がいのある人へのボランティア活動	観光に来た人への大山崎町の紹介・案内などのおもてなし活動	子どもと一緒に遊んだり、勉強したりする活動	子どもにスポーツや文化・芸術を教える活動	寺院などの文化財や歴史的町並みの保存活動	外国人の人との国際交流活動	その他	参加したいと思わない	無回答
全体	466	31.1	22.5	14.6	15.2	36.1	30.7	13.3	20.0	0.9	22.7	2.4
住みよい	210	40.5	29.0	18.6	18.6	36.7	34.3	16.7	18.6	1.0	16.7	1.9
どちらかといえば住みよい	199	22.6	18.6	10.6	13.1	36.2	30.2	10.6	22.6	1.0	25.6	2.0
どちらかといえば住みにくい	25	36.0	12.0	16.0	16.0	44.0	24.0	12.0	24.0	—	24.0	—
住みにくい	10	—	10.0	—	—	—	10.0	—	—	—	80.0	—
どちらでもない	19	31.6	10.5	15.8	10.5	42.1	15.8	10.5	15.8	—	26.3	10.5

【大山崎町での愛着別】

大山崎町での愛着別にみると、「まちの掃除や美化など、環境をよくする活動」について愛着はないで低く、「寺院などの文化財や歴史的町並みの保存活動」について大いに愛着があるで高くなっています。

単位：%

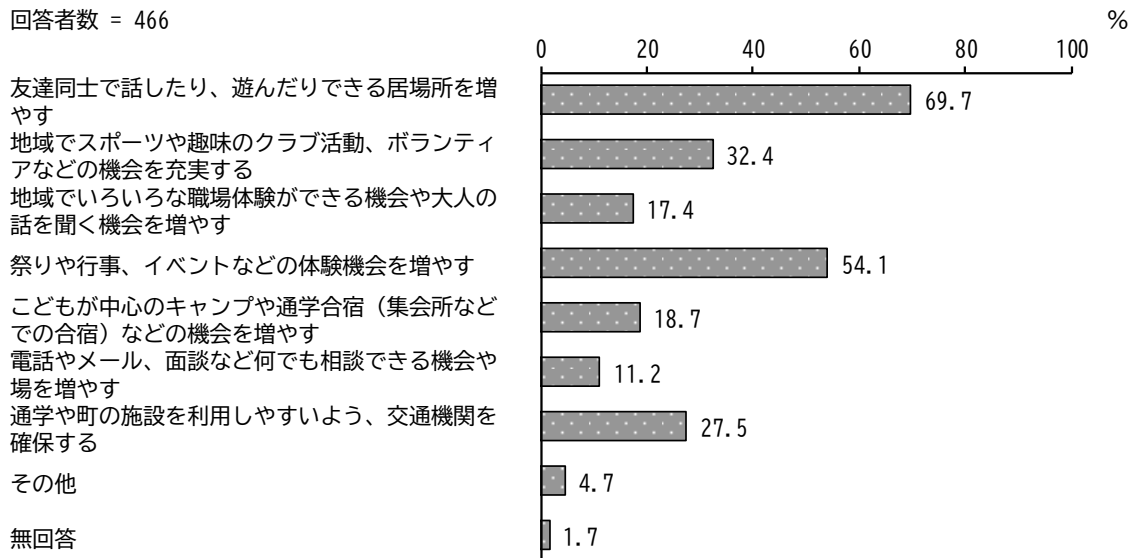
区分	回答者数(件)	まちの掃除や美化など、環境をよくする活動	交通安全・防犯・防災・災害救援に関する活動	お年寄りや障がいのある人へのボランティア活動	観光に来た人への大山崎町の紹介・案内などのおもてなし活動	子どもと一緒に遊んだり、勉強したりする活動	子どもにスポーツや文化・芸術を教える活動	寺院などの文化財や歴史的町並みの保存活動	外国人の人との国際交流活動	その他	参加したいと思わない	無回答
全体	466	31.1	22.5	14.6	15.2	36.1	30.7	13.3	20.0	0.9	22.7	2.4
大いに愛着がある	125	46.4	36.0	23.2	21.6	40.0	34.4	25.6	23.2	0.8	12.0	1.6
多少愛着がある	241	31.1	20.3	13.3	14.5	39.0	30.7	10.0	21.2	1.2	21.2	0.8
あまり愛着はない	61	13.1	11.5	4.9	9.8	32.8	29.5	6.6	13.1	—	27.9	4.9
愛着はない	15	—	—	6.7	6.7	—	6.7	—	6.7	—	80.0	—
わからない	23	17.4	17.4	13.0	8.7	17.4	30.4	8.7	17.4	—	47.8	13.0

問 11 まちの魅力向上に必要なこと

まちの魅力向上に必要なことは何だと思いますか。当てはまる番号に○印をつけてください。(○は3つまで)

「友達同士で話したり、遊んだりできる居場所を増やす」の割合が 69.7%と最も高く、次いで「祭りや行事、イベントなどの体験機会を増やす」の割合が 54.1%、「地域でスポーツや趣味のクラブ活動、ボランティアなどの機会を充実する」の割合が 32.4%となっています。

回答者数 = 466



【大山崎町の住みやすさ別】

大山崎町の住みやすさ別にみると、「友達同士で話したり、遊んだりできる居場所を増やす」について住みにくいで低く、「地域でスポーツや趣味のクラブ活動、ボランティアなどの機会を充実する」についてどちらかといえば住みにくい、どちらでもないで低くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	友達同士で話したり、遊んだりできる居場所を増やす	地域でスポーツや趣味のクラブ活動、ボランティアなどの機会を充実する	地域でいろいろな職場体験ができる機会や大人の話を聞く機会を増やす	祭りや行事、イベントなどの体験機会を増やす	こどもが中心のキャンプや通学合宿（集会所などでの合宿）などの機会を増やす	電話やメール、面談など何でも相談できる機会や場を増やす	通学や町の施設を利用しやすいよう、交通機関を確保する	その他	無回答
全体	466	69.7	32.4	17.4	54.1	18.7	11.2	27.5	4.7	1.7
住みよい	210	70.0	37.1	20.0	57.1	15.2	14.8	23.8	3.3	1.9
どちらかといえば住みよい	199	68.8	31.2	14.6	52.8	22.6	6.0	31.7	4.5	1.5
どちらかといえば住みにくい	25	80.0	16.0	28.0	52.0	24.0	16.0	20.0	12.0	—
住みにくい	10	50.0	20.0	10.0	50.0	—	10.0	50.0	30.0	—
どちらでもない	19	73.7	21.1	10.5	36.8	21.1	21.1	26.3	—	—

【大山崎町での愛着別】

大山崎町での愛着別にみると、「友達同士で話したり、遊んだりできる居場所を増やす」について愛着はないで低く、「地域でスポーツや趣味のクラブ活動、ボランティアなどの機会を充実する」についてわからないで低く、「こどもが中心のキャンプや通学合宿（集会所などでの合宿）などの機会を増やす」についてあまり愛着はない、愛着はないで低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	友達同士で話したり、遊んだりできる居場所を増やす	地域でスポーツや趣味のクラブ活動、ボランティアなどの機会を充実する	地域でいろいろな職場体験ができる機会や大人の話を聞く機会を増やす	祭りや行事、イベントなどの体験機会を増やす	こどもが中心のキャンプや通学合宿（集会所などでの合宿）などの機会を増やす	電話やメール、面談など何でも相談できる機会や場を増やす	通学や町の施設を利用しやすいよう、交通機関を確保する	その他	無回答
全 体	466	69.7	32.4	17.4	54.1	18.7	11.2	27.5	4.7	1.7
大いに愛着がある	125	80.0	40.0	14.4	58.4	19.2	12.8	22.4	4.8	0.8
多少愛着がある	241	67.2	33.6	19.1	56.4	20.3	10.0	29.0	3.7	0.8
あまり愛着はない	61	70.5	23.0	14.8	41.0	13.1	14.8	24.6	8.2	4.9
愛着はない	15	46.7	13.3	26.7	53.3	13.3	6.7	40.0	6.7	—
わからない	23	56.5	17.4	17.4	43.5	17.4	8.7	39.1	4.3	4.3

3 職員調査

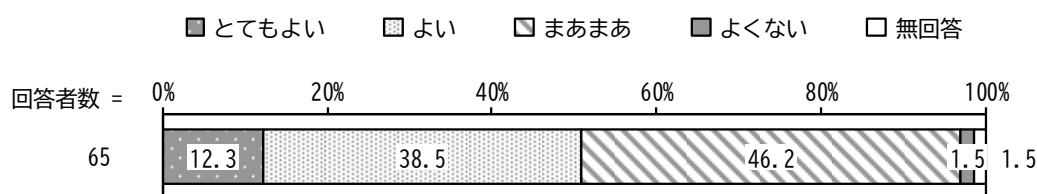
(1) 大山崎町での暮らし（現在のこと）について

問1 大山崎町の住みやすさ

あなたは、自分の知人や友人に対して、大山崎町はどの程度よいまちだと推薦できますか。(1)～(5)の各項目について、自分の考えに近い番号を1つ選んで○印をつけてください。

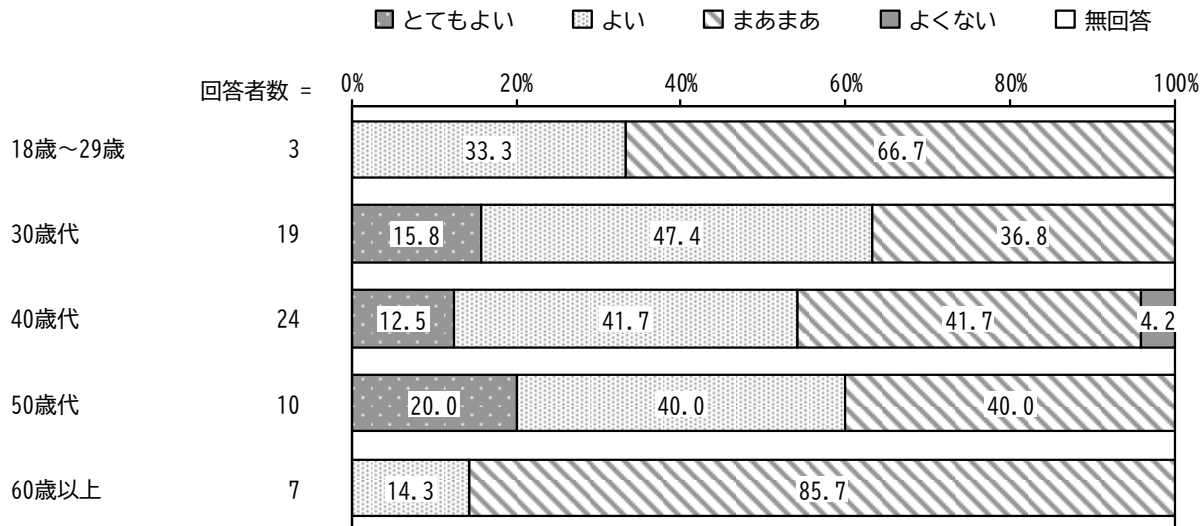
(1) 全般的に住みよいまちとして

「まあまあ」の割合が46.2%と最も高く、次いで「よい」の割合が38.5%、「とてもよい」の割合が12.3%となっています。



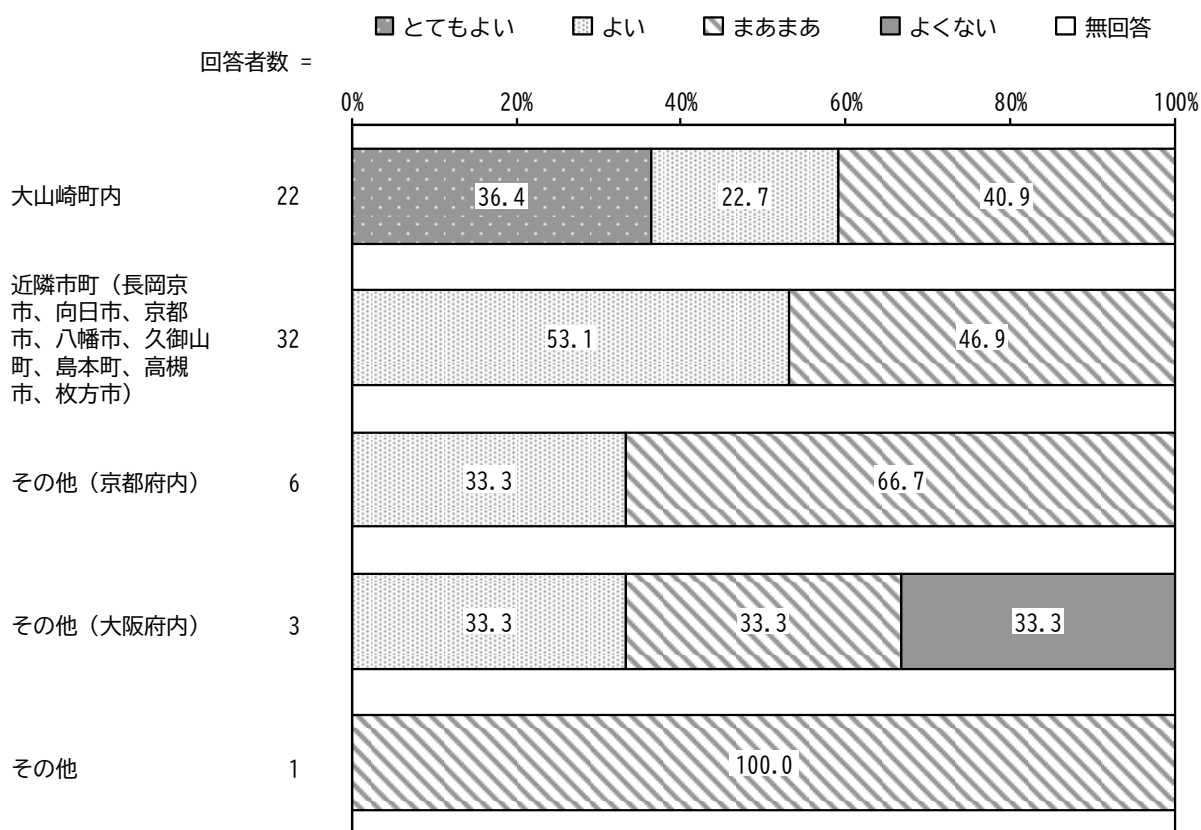
【年齢別】

年齢別にみると、「よい」で、30歳代から50歳代にかけて低くなる傾向にあります。



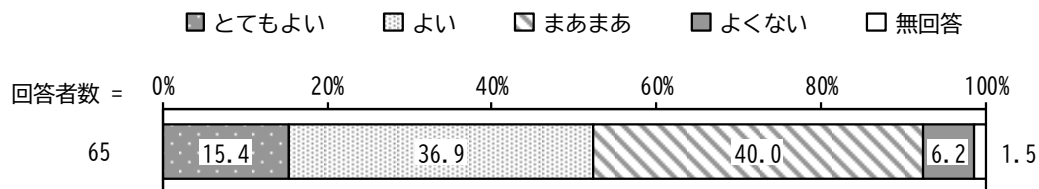
【居住地別】

居住地別にみると、「とてもよい」について大山崎町内で高くなっています。



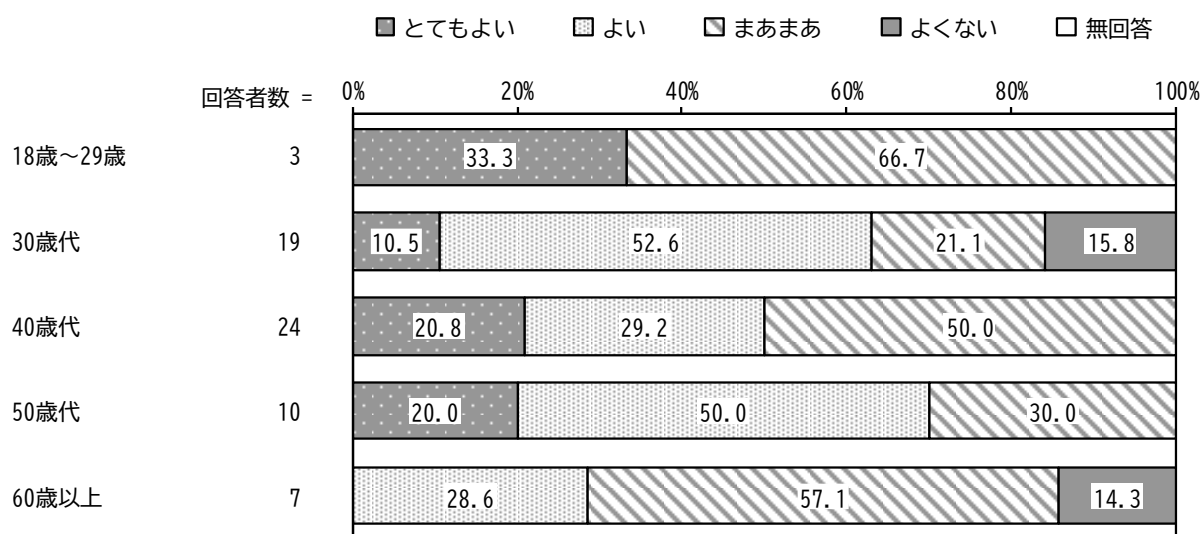
(2) 子どもを育てるまちとして

「まあまあ」の割合が40.0%と最も高く、次いで「よい」の割合が36.9%、「とてもよい」の割合が15.4%となっています。



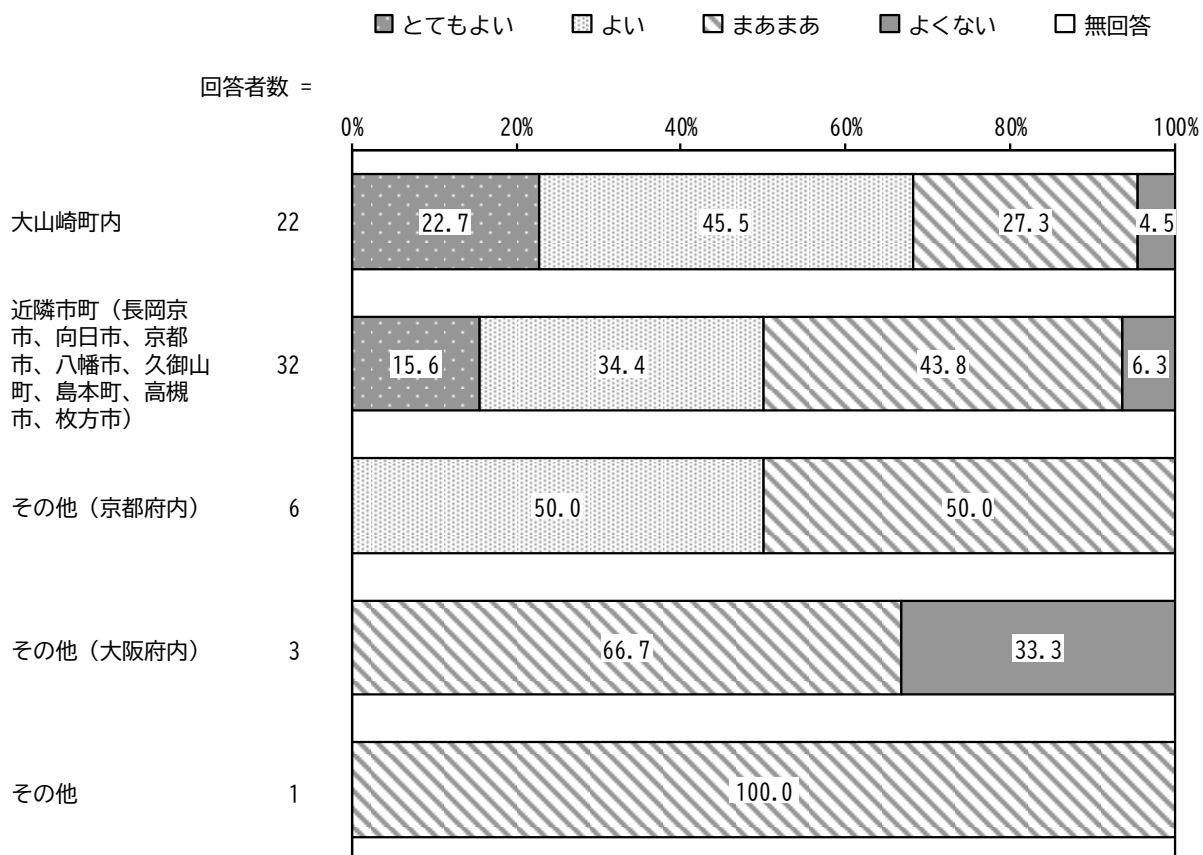
【年齢別】

年齢別にみると、「とてもよい」について18歳～29歳で高く、60歳以上で低く、「よくない」について30歳代で高くなっています。



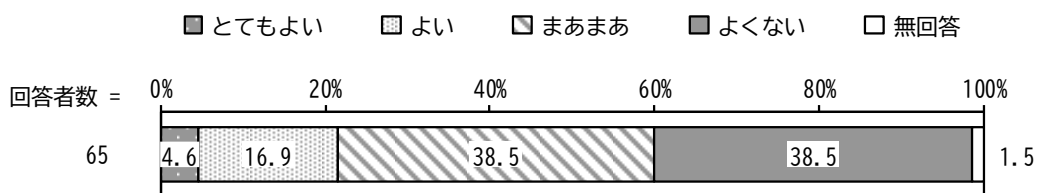
【居住地別】

居住地別にみると、「よくない」についてその他（大阪府内）で高くなっています。



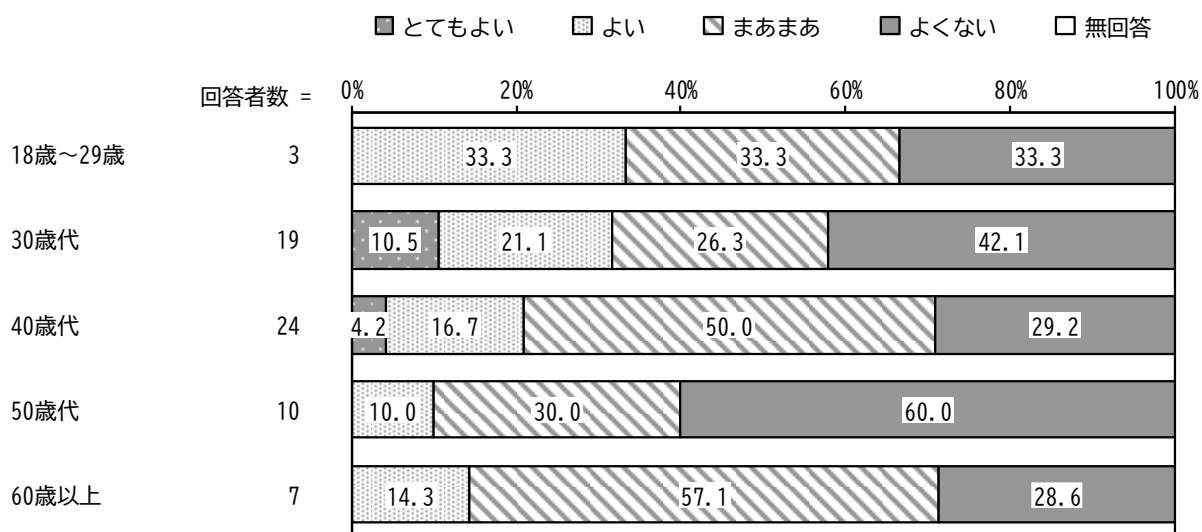
(3) 仕事・商売をするまちとして

「まあまあ」、「よくない」の割合が38.5%と最も高く、次いで「よい」の割合が16.9%となっています。



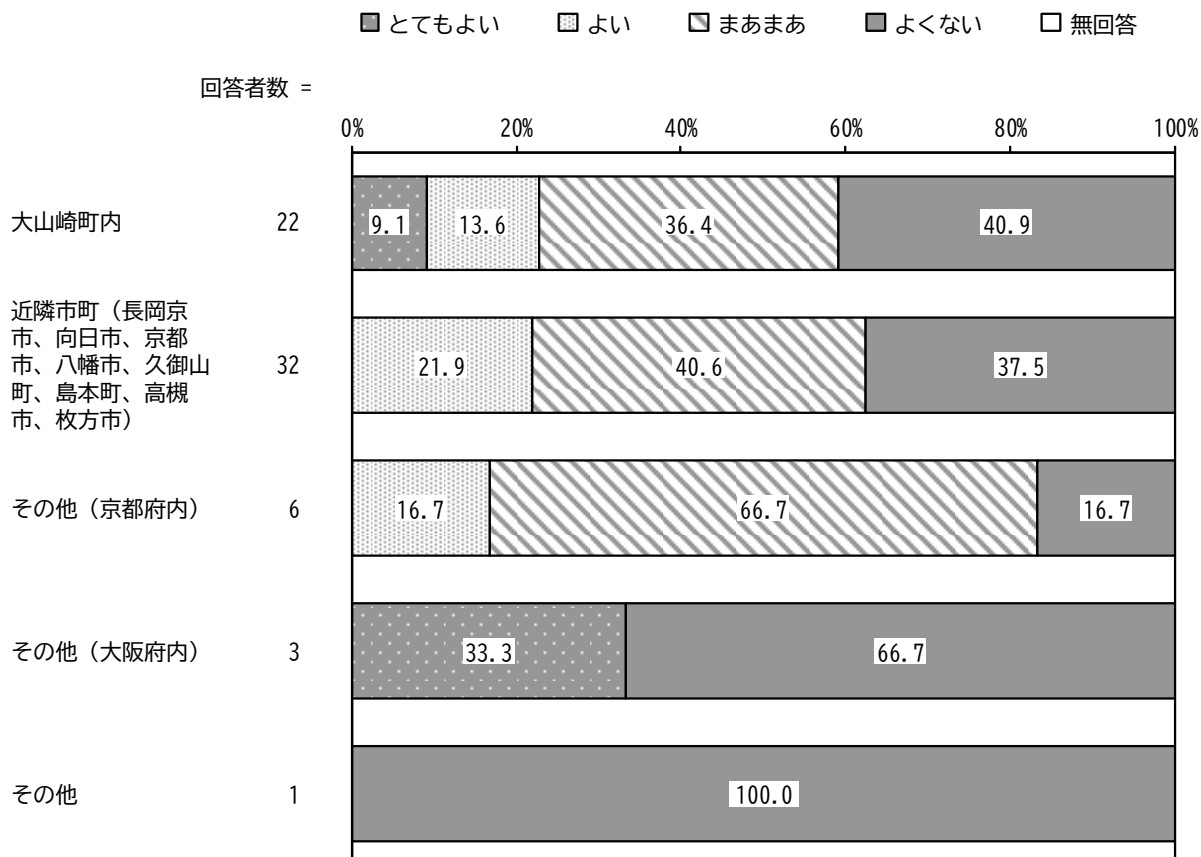
【年齢別】

年齢別にみると、「よい」で、18歳～29歳から50歳代にかけて低くなる傾向にあります。



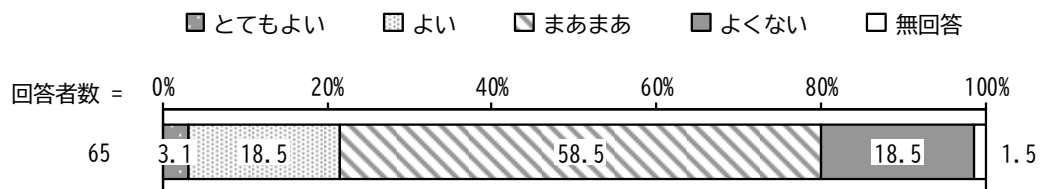
【居住地別】

居住地別にみると、「とてもよい」についてその他（大阪府内）で高くなっています。



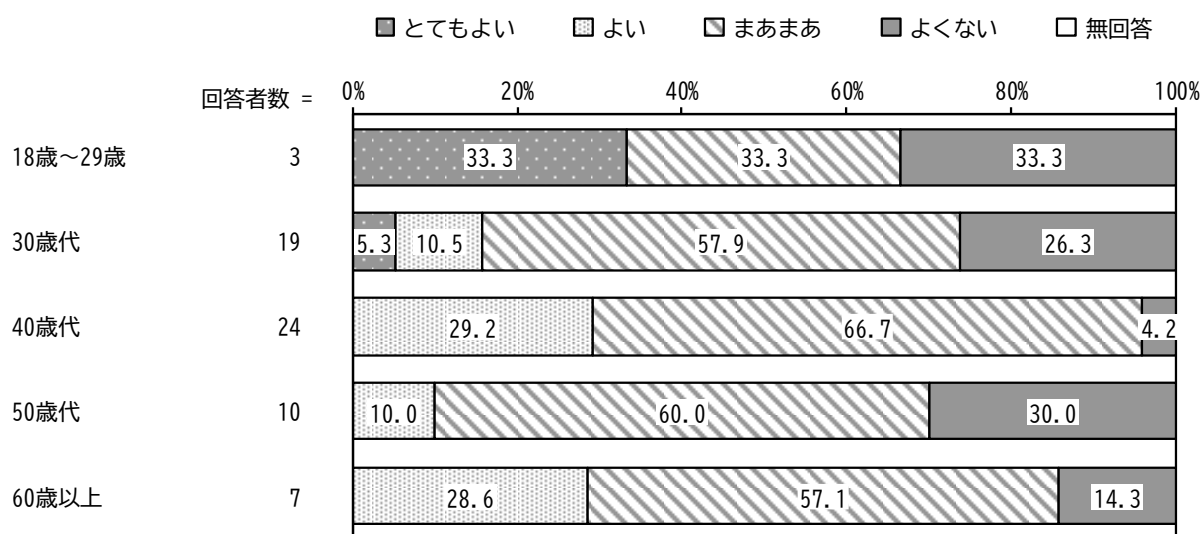
（４）観光・旅行で訪れるまちとして

「まあまあ」の割合が58.5%と最も高く、次いで「よい」、「よくない」の割合が18.5%となっています。



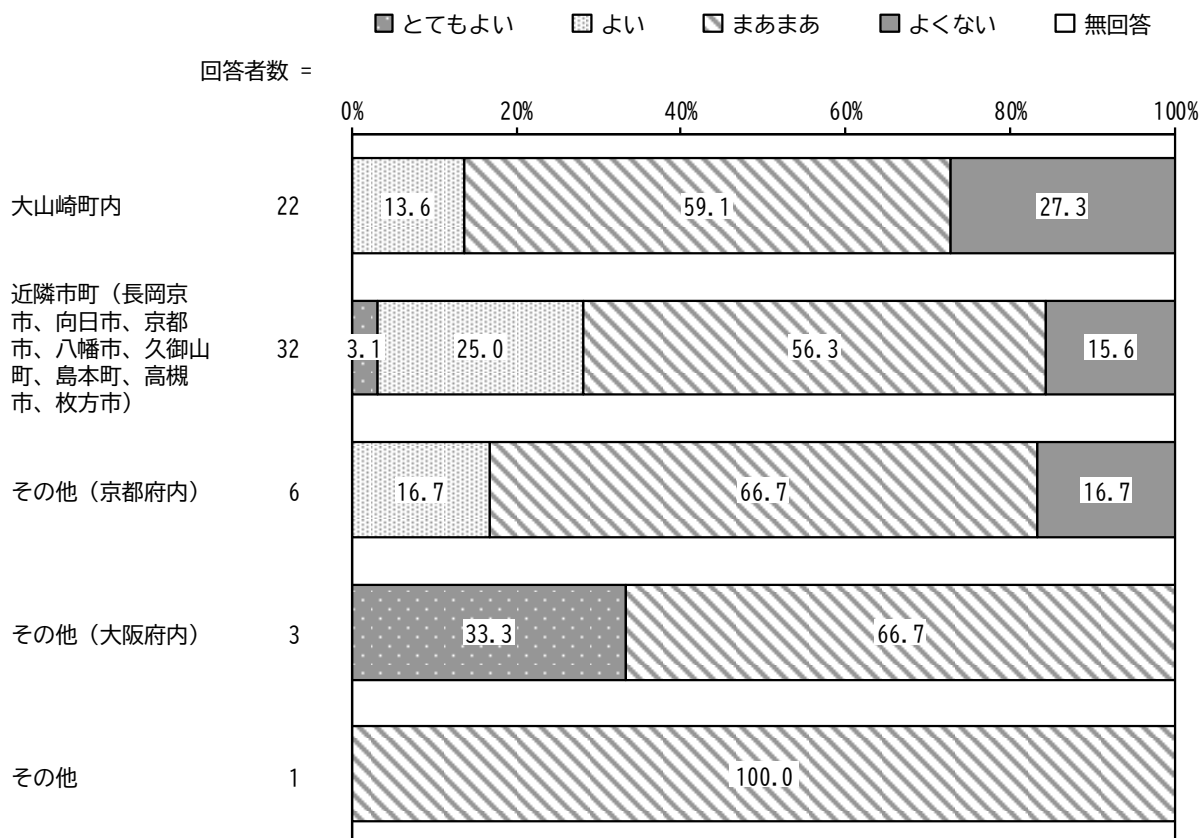
【年齢別】

年齢別にみると、「とてもよい」で、18歳～29歳から40歳代にかけて低くなる傾向にあります。



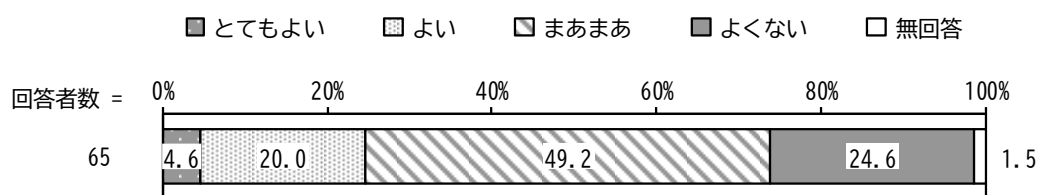
【居住地別】

居住地別にみると、「とてもよい」についてその他（大阪府内）で高くなっています。



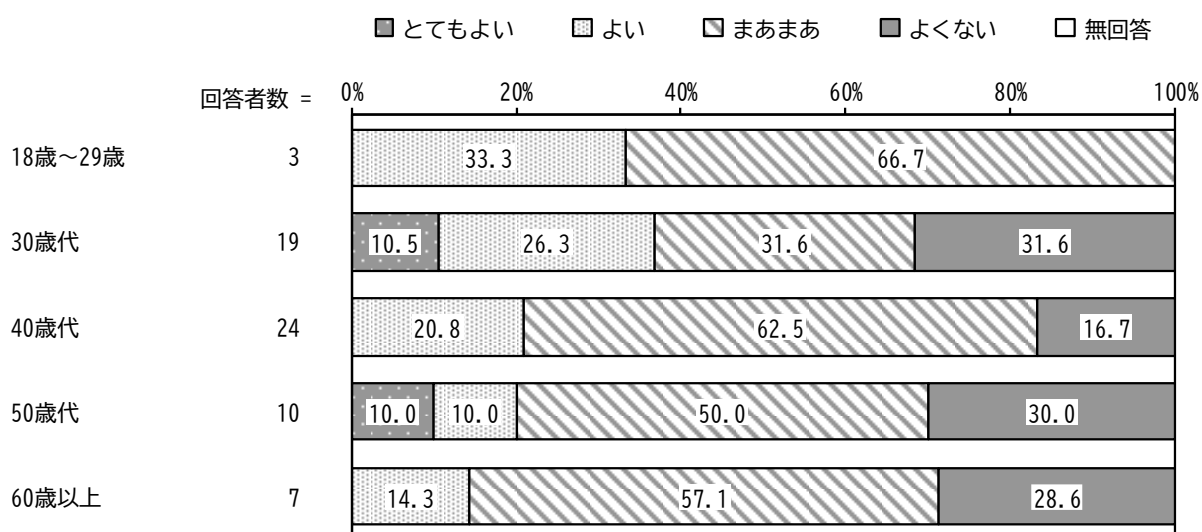
(5) 退職後に暮らすまちとして

「まあまあ」の割合が49.2%と最も高く、次いで「よくない」の割合が24.6%、「よい」の割合が20.0%となっています。



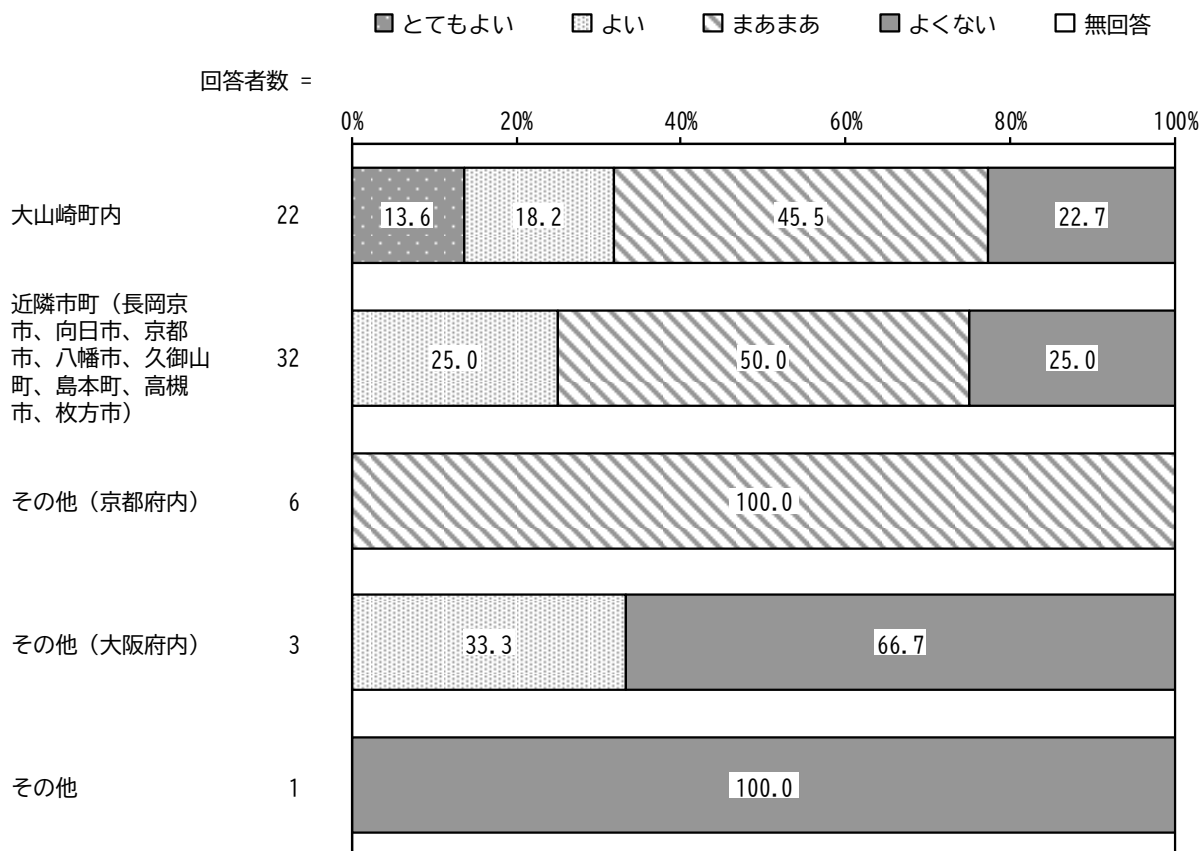
【年齢別】

年齢別にみると、「よい」で、18歳～29歳から60歳以上にかけて低くなる傾向にあります。



【居住地別】

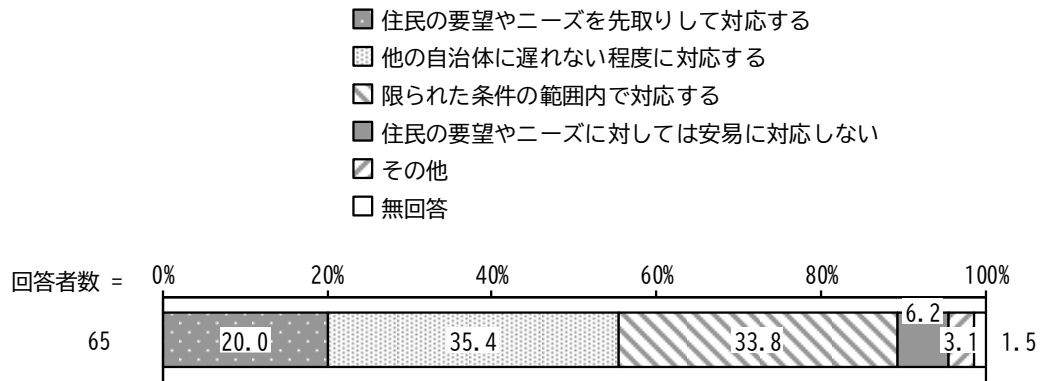
居住地別にみると、「とてもよい」について大山崎町内で高くなっています。



問3 これからの時代の行政サービス

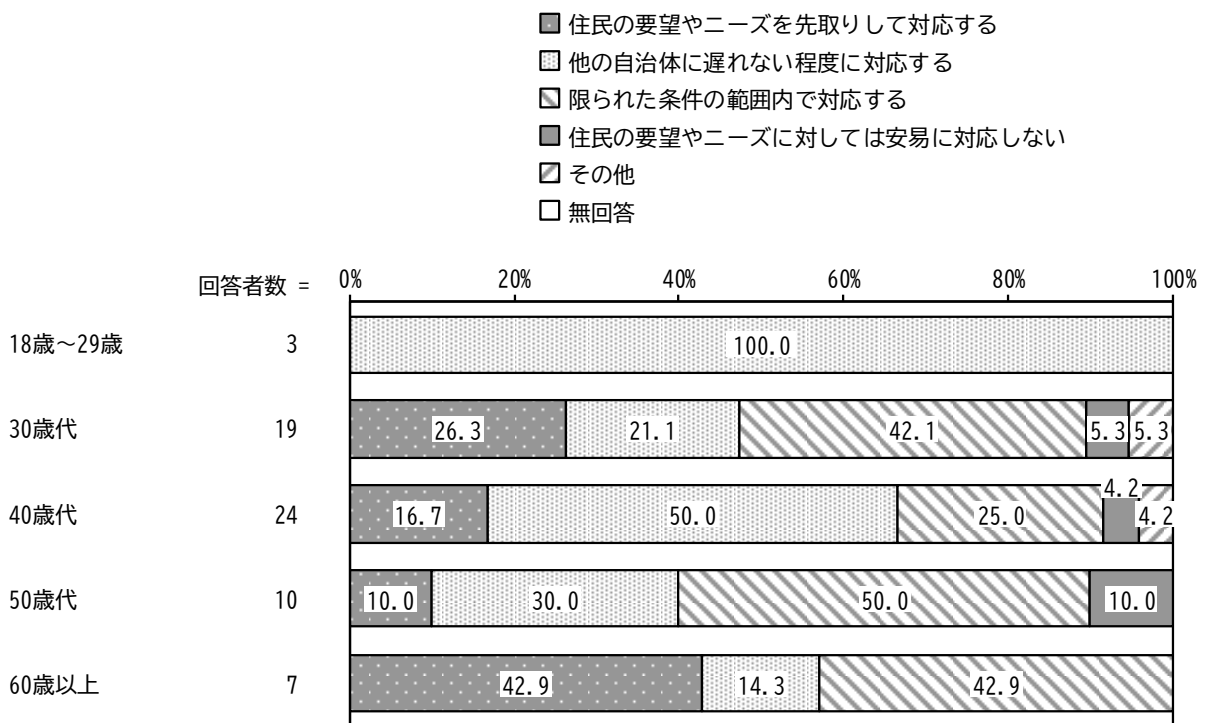
あなたは、これからの時代に町が提供する行政サービスをどのようにすべきだと思いますか。あなたの考えに最も近い番号に○印をつけてください。(○は1つだけ)

「他の自治体に遅れない程度に対応する」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「限られた条件の範囲内で対応する」の割合が 33.8%、「住民の要望やニーズを先取りして対応する」の割合が 20.0%となっています。



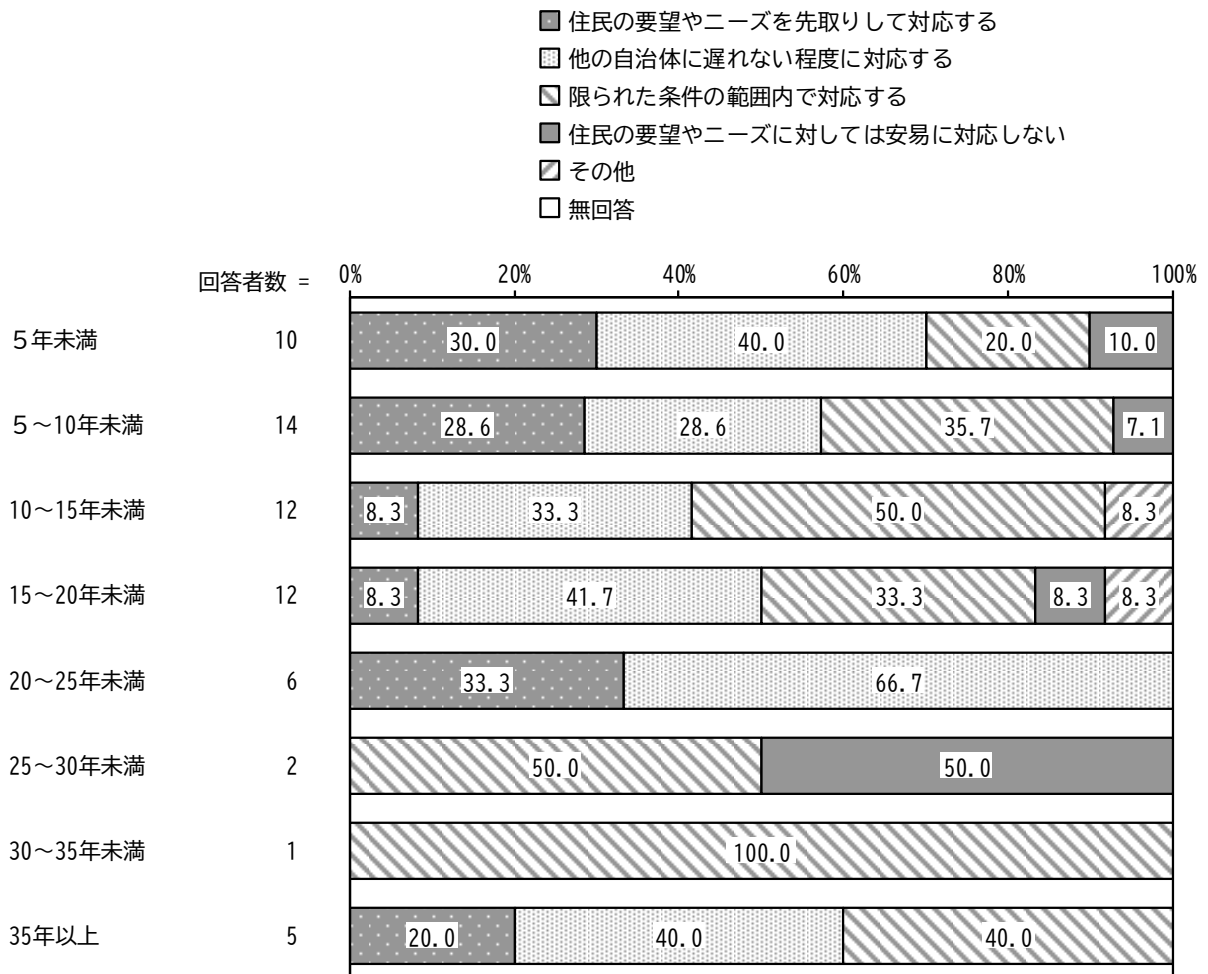
【年齢別】

年齢別にみると、「その他」で、30歳代から60歳以上にかけて低くなる傾向にあります。



【通算職員年数別】

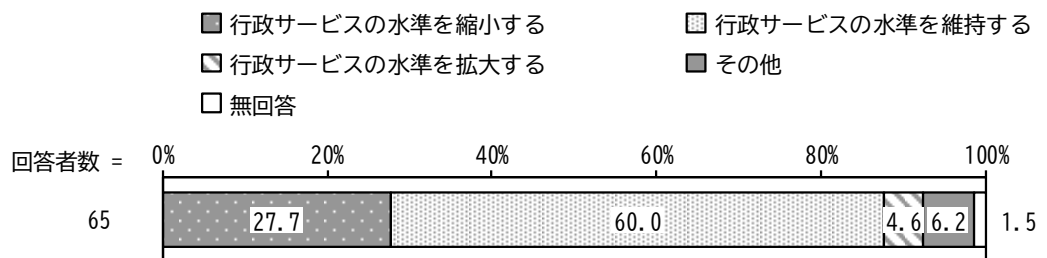
通算職員年数別にみると、「住民の要望やニーズを先取りして対応する」について 25～30 年未満で低く、「他の自治体に遅れない程度に対応する」について 20～25 年未満で高くなっています。



問4 行政サービスのあり方と住民の負担

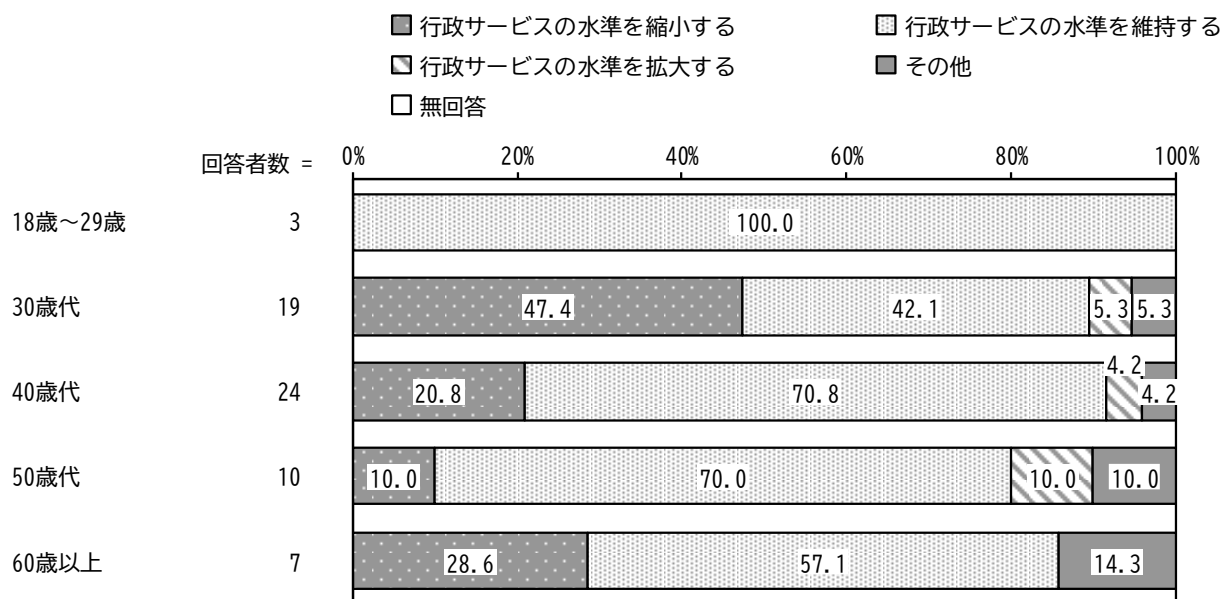
今後、さらなる進行が予測される人口減少社会においては、町財政等の縮小を余儀なくされることが見込まれますが、これからの行政サービスのあり方について、あなたの考えに最も近い番号に○印をつけてください。(○は1つだけ)

「行政サービスの水準を縮小する」の割合が 27.7%、「行政サービスの水準を維持する」の割合が 60.0%となっています。



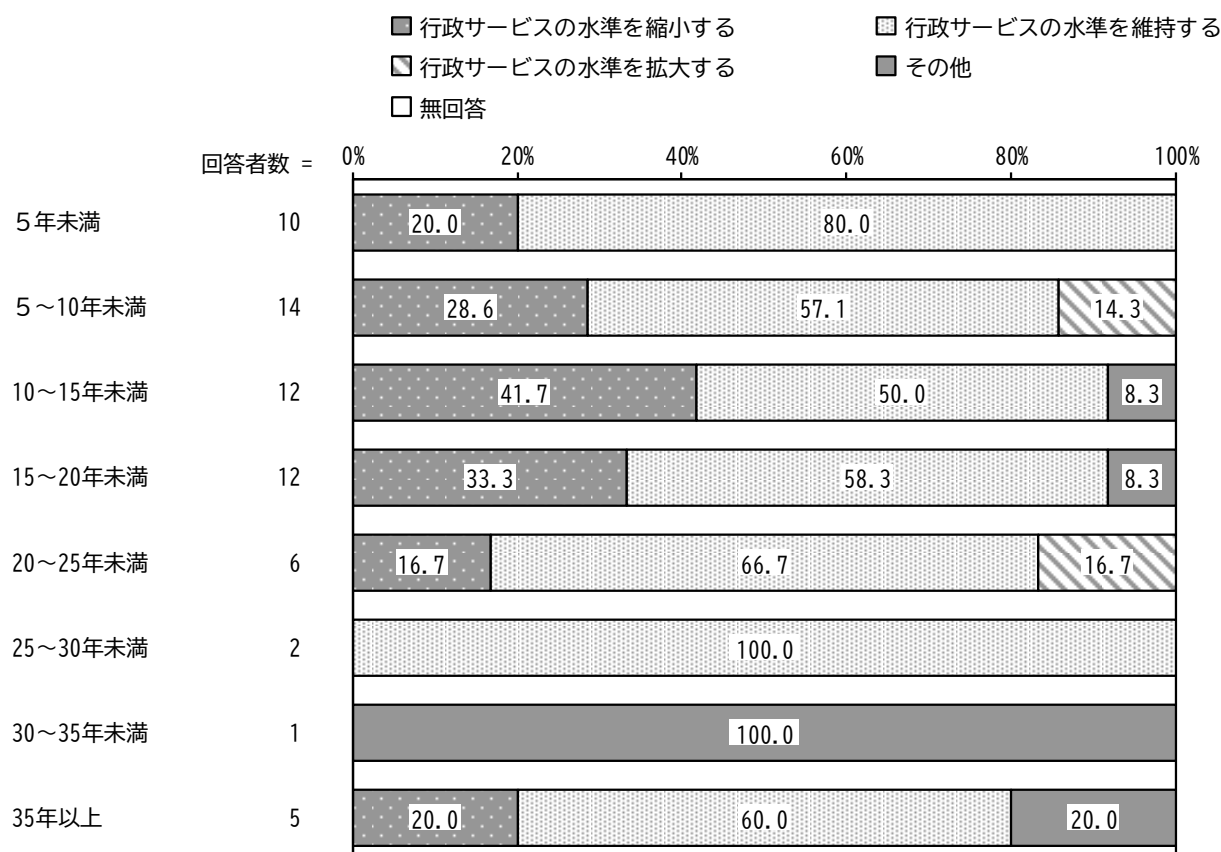
【年齢別】

年齢別にみると、「行政サービスの水準を縮小する」で、18歳～29歳から60歳以上にかけて高くなる傾向にあります。



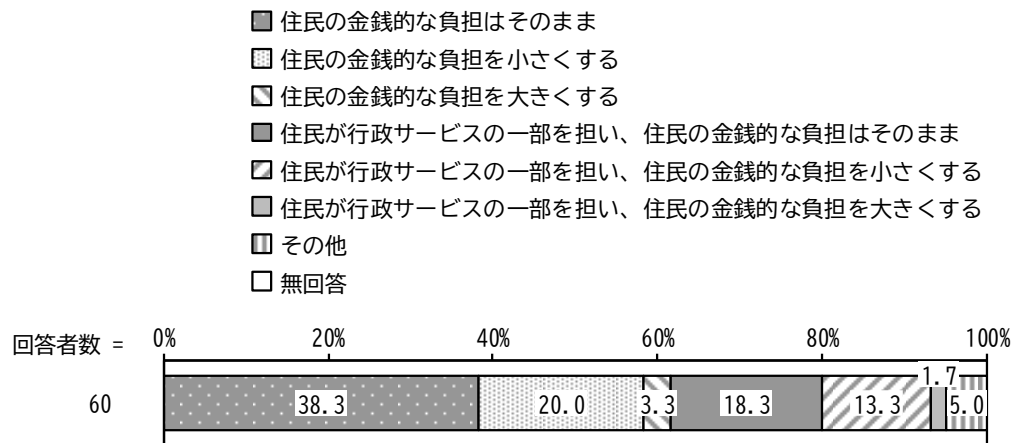
【通算職員年数別】

通算職員年数別にみると、「行政サービスの水準を縮小する」で、10～15年未満から20～25年未満にかけて低くなる傾向にあります。



問4-1 問4で「1」「2」「3」のいずれかに○をされた方にお聞きします。
 その場合の負担のあり方について、あなたの考えに最も近い番号に○印をつけてください。(○は1つだけ)

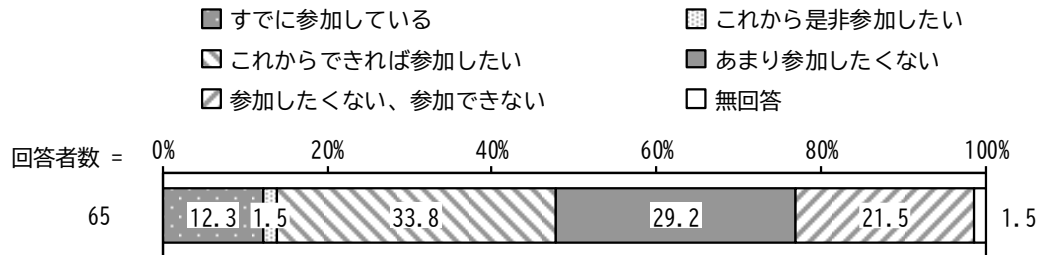
「住民の金銭的な負担はそのまま」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「住民の金銭的な負担を小さくする」の割合が 20.0%、「住民が行政サービスの一部を担い、住民の金銭的な負担はそのまま」の割合が 18.3%となっています。



問5 自分自身の地域づくりへの参加意向

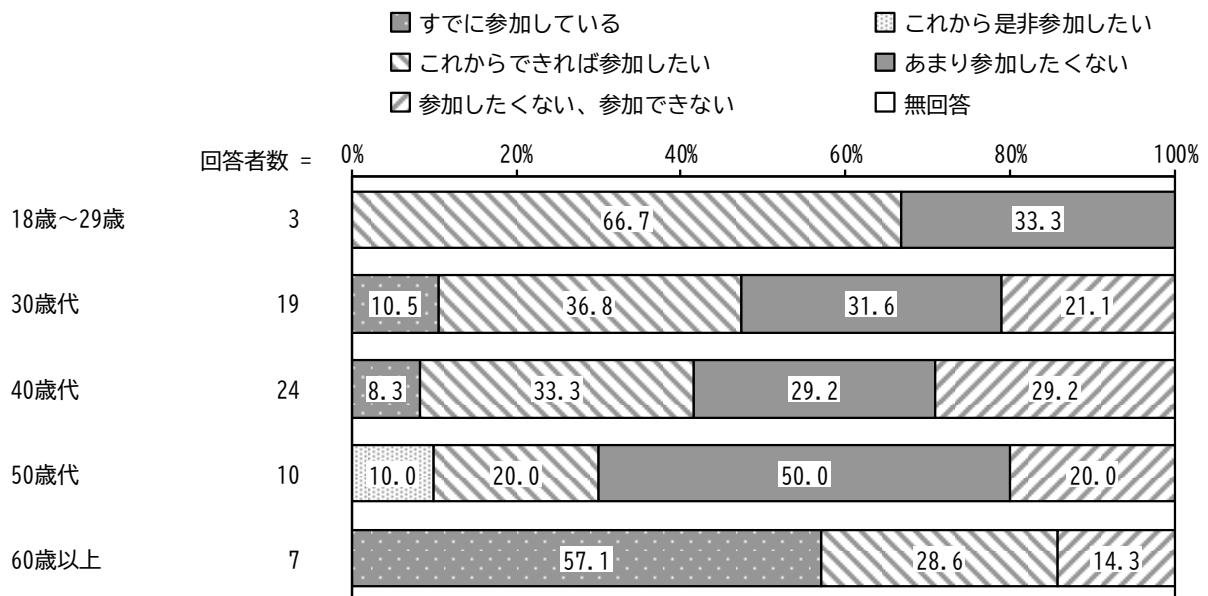
あなたは、一人の住民として、自分が住んでいる地域のボランティア活動や地域社会活動などの地域づくりに参加してみたいと思いますか。あなたの考えに最も近い番号に○印をつけてください。(○は1つだけ)

「これからできれば参加したい」の割合が33.8%と最も高く、次いで「あまり参加したくない」の割合が29.2%、「参加したくない、参加できない」の割合が21.5%となっています。



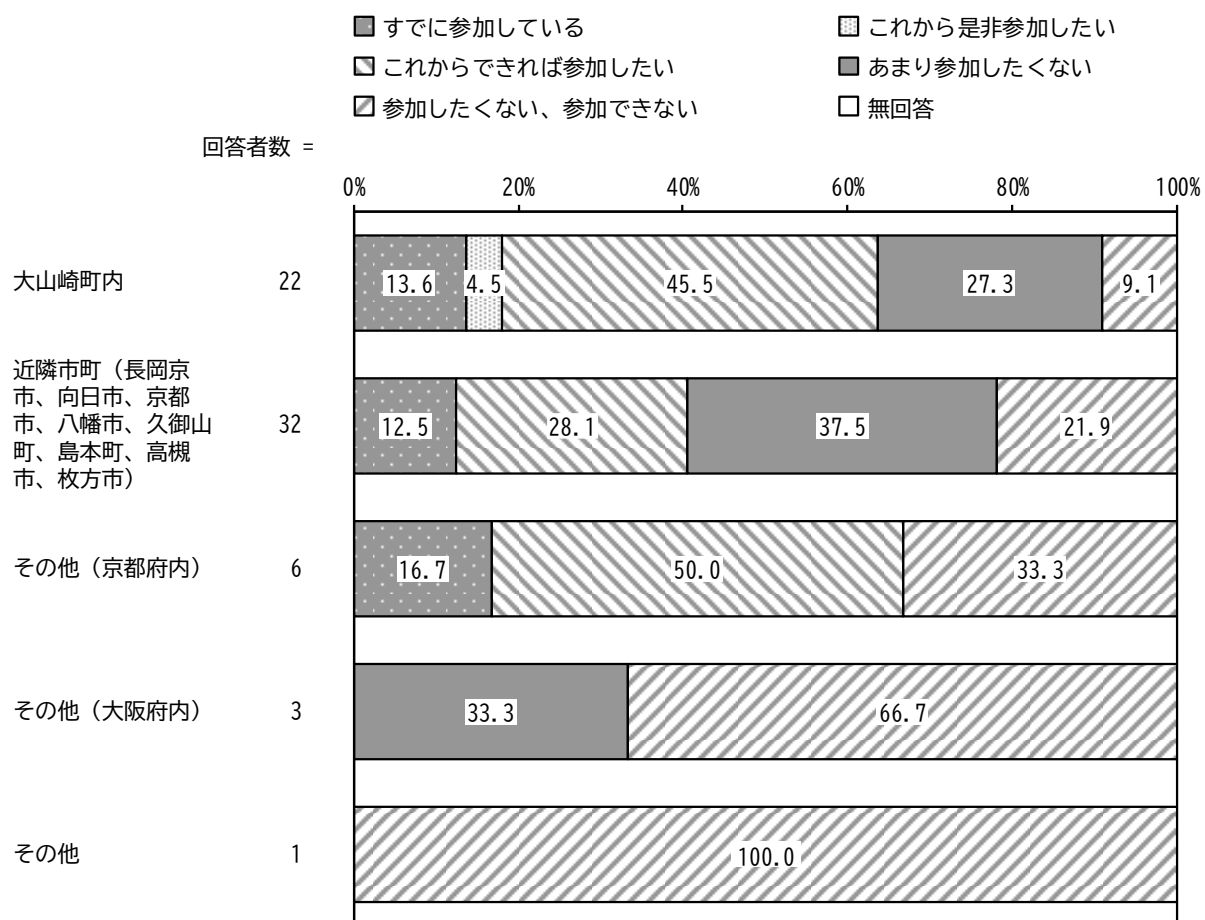
【年齢別】

年齢別にみると、「これからできれば参加したい」で、18歳～29歳から50歳代にかけて低くなる傾向にあります。



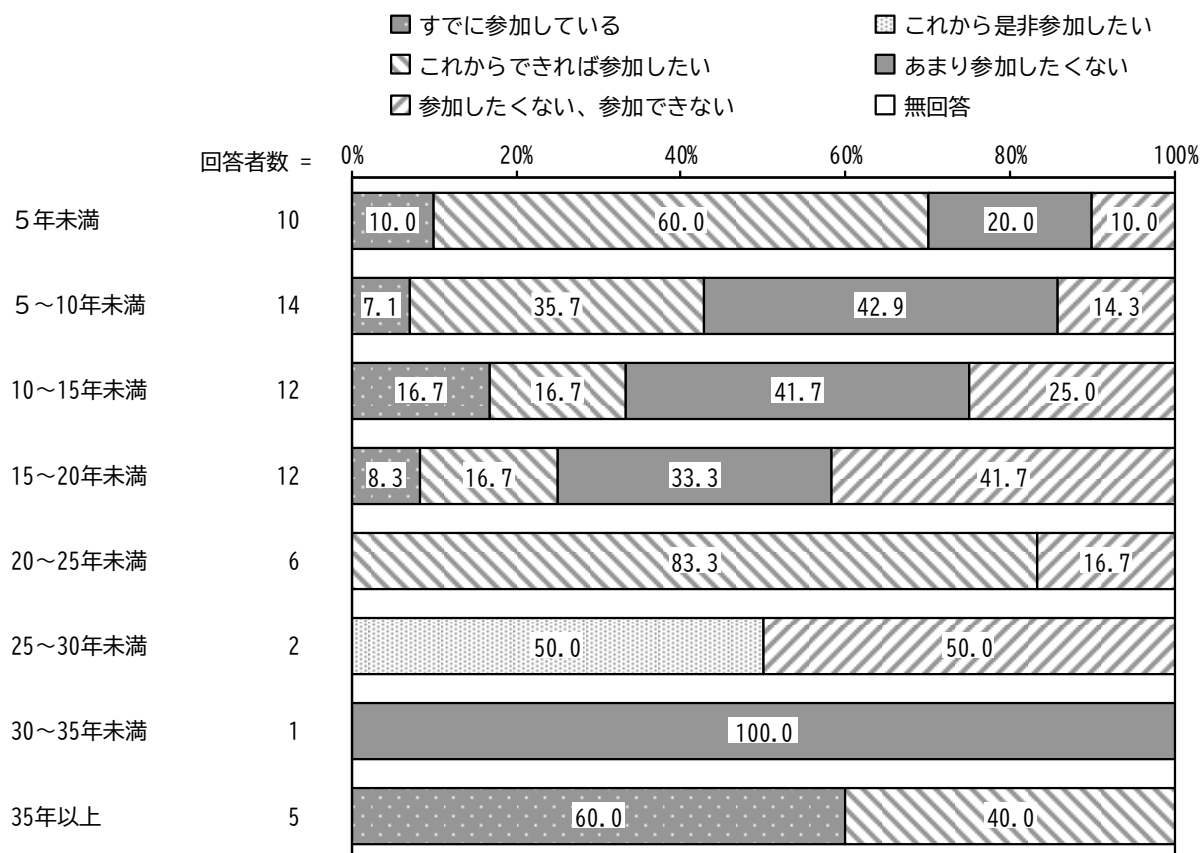
【居住地別】

居住地別にみると、「すでに参加している」についてその他（大阪府内）で低く、「あまり参加したくない」についてその他（京都府内）で低くなっています。



【通算職員年数別】

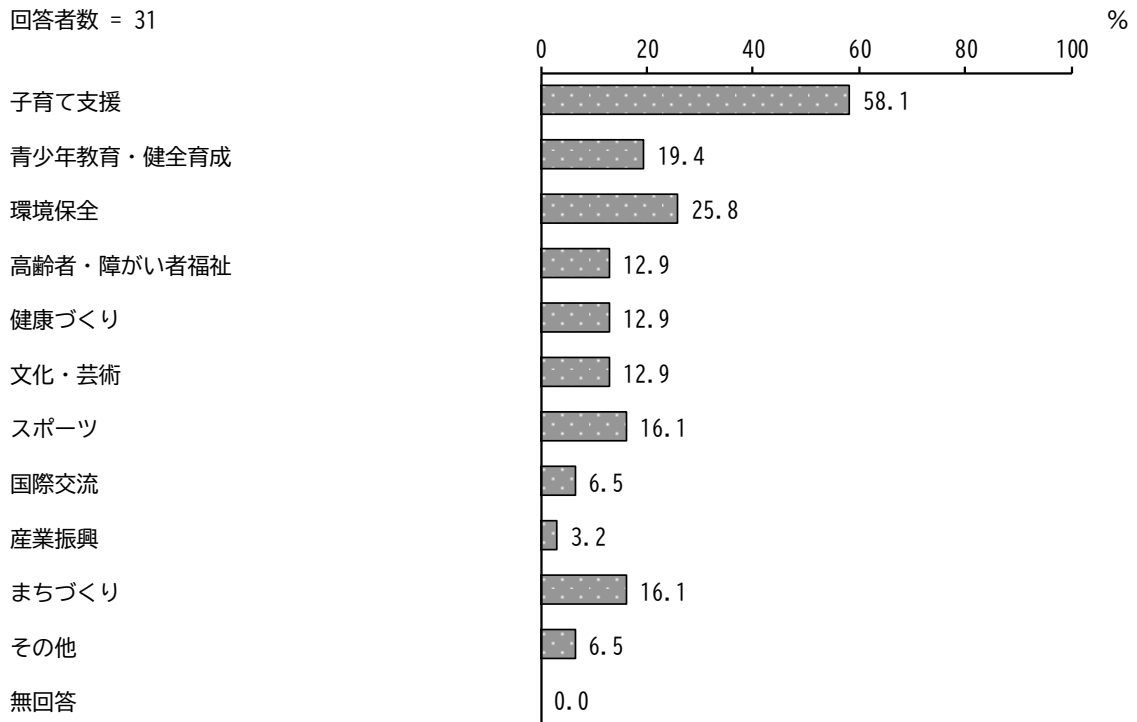
通算職員年数別にみると、「すでに参加している」について35年以上で高くなっています。



問5-1 問5で「1」「2」「3」のいずれかに○をされた方にお聞きします。
どのような分野の活動に参加したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○印をつけてください。(○はいくつでも)

「子育て支援」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「環境保全」の割合が 25.8%、「青少年教育・健全育成」の割合が 19.4%となっています。

回答者数 = 31



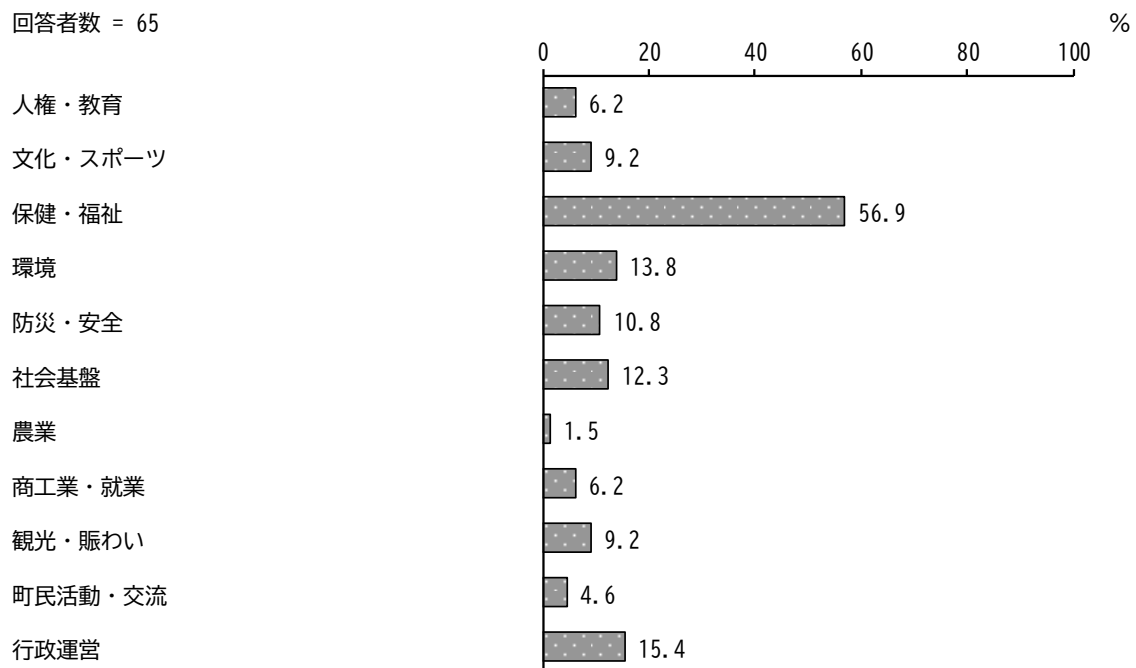
(2) 個別分野（現状と将来）について

現在、あなたが所属する部門やこれまでに所属した部門の関連分野、または、ご自身の関心や専門性のある分野を中心に、以下の11分野から1分野以上3分野まで選択して、当該分野についてお答えください。（3分野まで回答欄があります。）

問6 分野についての現状と将来分析

「保健・福祉」の割合が56.9%と最も高く、次いで「行政運営」の割合が15.4%、「環境」の割合が13.8%となっています。

回答者数 = 65

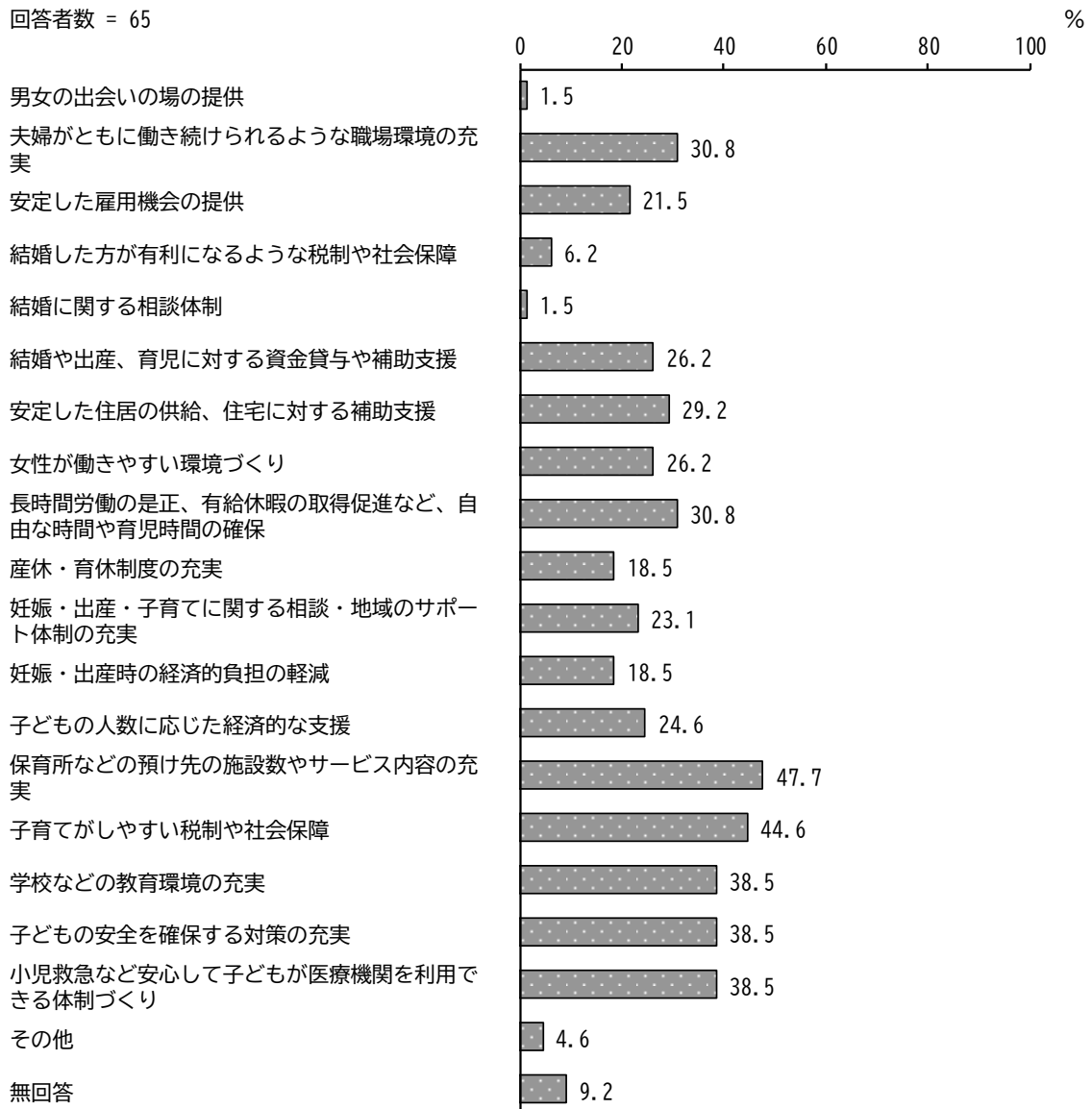


問7 町民が大山崎町に住み続けたいと思えるための取り組み

結婚や出産、子育て期においても、町民が大山崎町に住み続けたいと思えるための必要な取り組みは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「保育所などの預け先の施設数やサービス内容の充実」の割合が47.7%と最も高く、次いで「子育てがしやすい税制や社会保障」の割合が44.6%、「学校などの教育環境の充実」、「子どもの安全を確保する対策の充実」、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制づくり」の割合が38.5%となっています。

回答者数 = 65



【年齢別】

年齢別にみると、「結婚した方が有利になるような税制や社会保障」で、18歳～29歳から60歳以上にかけて高くなる傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数(件)	男女の出会いの場の提供	夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実	安定した雇用機会の提供	結婚した方が有利になるような税制や社会保障	結婚に関する相談体制	結婚や出産、育児に対する資金貸与や補助支援	安定した住居の供給、住宅に対する補助支援	女性が働きやすい環境づくり	長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、自由な時間や育児時間の確保	産休・育休制度の充実
全体	65	1.5	30.8	21.5	6.2	1.5	26.2	29.2	26.2	30.8	18.5
18歳～29歳	3	—	33.3	—	—	—	33.3	—	—	—	—
30歳代	19	5.3	42.1	31.6	—	5.3	21.1	26.3	26.3	42.1	36.8
40歳代	24	—	20.8	16.7	8.3	—	29.2	37.5	29.2	25.0	8.3
50歳代	10	—	30.0	10.0	10.0	—	20.0	10.0	20.0	10.0	20.0
60歳以上	7	—	28.6	28.6	14.3	—	28.6	42.9	28.6	57.1	14.3

区分	妊娠・出産・子育てに関する相談・地域のサポート体制の充実	妊娠・出産時の経済的負担の軽減	子どもの人数に応じた経済的な支援	保育所などの預け先の施設数やサービス内容の充実	子育てがしやすい税制や社会保障	学校などの教育環境の充実	子どもの安全を確保する対策の充実	小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制づくり	その他	無回答
全体	23.1	18.5	24.6	47.7	44.6	38.5	38.5	38.5	4.6	9.2
18歳～29歳	—	—	—	33.3	—	—	—	—	—	33.3
30歳代	26.3	36.8	31.6	47.4	52.6	26.3	36.8	21.1	10.5	10.5
40歳代	20.8	12.5	25.0	54.2	50.0	45.8	54.2	50.0	—	8.3
50歳代	20.0	—	10.0	40.0	40.0	60.0	30.0	60.0	—	—
60歳以上	28.6	14.3	42.9	57.1	28.6	28.6	14.3	28.6	14.3	—

【通算職員年数別】

通算職員年数別にみると、「男女の出会いの場の提供」について10～15年未満で高く、「長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、自由な時間や育児時間の確保」について35年以上で高く、「産休・育休制度の充実」について5～10年未満で高く、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制づくり」について20～25年未満で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	男女の出会いの場の提供	夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実	安定した雇用機会の提供	結婚した方が有利になるような税制や社会保障	結婚に関する相談体制	結婚や出産、育児に対する資金貸与や補助支援	安定した住居の供給、住宅に対する補助支援	女性が働きやすい環境づくり	長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、自由な時間や育児時間の確保	産休・育休制度の充実
全体	65	1.5	30.8	21.5	6.2	1.5	26.2	29.2	26.2	30.8	18.5
5年未満	10	—	30.0	20.0	—	—	30.0	20.0	30.0	20.0	10.0
5～10年未満	14	—	28.6	28.6	14.3	7.1	50.0	35.7	28.6	21.4	50.0
10～15年未満	12	8.3	58.3	16.7	8.3	—	16.7	33.3	16.7	41.7	16.7
15～20年未満	12	—	25.0	8.3	—	—	8.3	41.7	25.0	41.7	—
20～25年未満	6	—	16.7	50.0	—	—	33.3	16.7	33.3	16.7	16.7
25～30年未満	2	—	50.0	—	—	—	—	—	50.0	—	—
30～35年未満	1	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—
35年以上	5	—	20.0	20.0	20.0	—	20.0	20.0	40.0	60.0	20.0

区分	妊娠・出産・子育てに関する相談・地域のサポート体制の充実	妊娠・出産時の経済的負担の軽減	子どもの人数に応じた経済的な支援	保育所などの預け先の施設数やサービスの充実	子育てがしやすい税制や社会保障	学校などの教育環境の充実	子どもの安全を確保する対策の充実	小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制づくり	その他	無回答
全体	23.1	18.5	24.6	47.7	44.6	38.5	38.5	38.5	4.6	9.2
5年未満	20.0	20.0	20.0	40.0	40.0	30.0	30.0	20.0	—	30.0
5～10年未満	21.4	35.7	28.6	71.4	64.3	35.7	50.0	21.4	7.1	—
10～15年未満	25.0	25.0	16.7	41.7	58.3	50.0	33.3	41.7	8.3	8.3
15～20年未満	25.0	—	16.7	41.7	33.3	25.0	41.7	33.3	—	8.3
20～25年未満	33.3	—	50.0	66.7	33.3	50.0	50.0	83.3	—	—
25～30年未満	—	—	50.0	50.0	—	50.0	—	50.0	—	—
30～35年未満	100.0	—	—	—	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—
35年以上	20.0	20.0	20.0	40.0	40.0	60.0	40.0	40.0	20.0	—

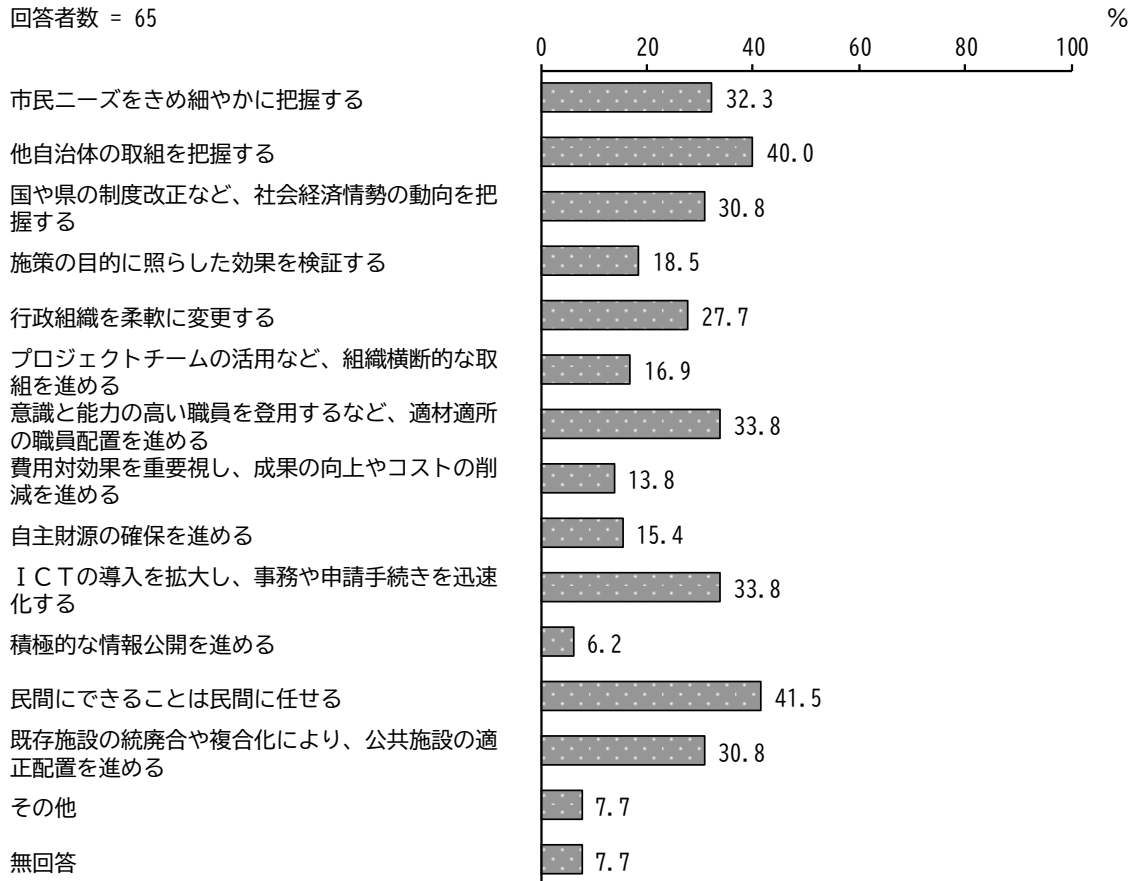
問8 優先的に改善、重点的に取り組まなければならないと考えられる事項

今後、総合計画に掲げた施策を着実に推進していくために、町役場の組織や職員が優先的に改善したり、重点的に取り組まなければならないと考えられる事項は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

「民間にできることは民間に任せる」の割合が41.5%と最も高く、次いで「他自治体の取組を把握する」の割合が40.0%、「意識と能力の高い職員を登用するなど、適材適所の職員配置を進める」、「ICTの導入を拡大し、事務や申請手続きを迅速化する」の割合が33.8%となっています。

回答者数 = 65



【年齢別】

年齢別にみると、「積極的な情報公開を進める」で、18歳～29歳から60歳以上にかけて高くなる傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数(件)	市民ニーズをきめ細やかに把握する	他自治体の取組を把握する	国や県の制度改正など、社会経済情勢の動向を把握する	施策の目的に照らした効果を検証する	行政組織を柔軟に変更する	プロジェクトチームの活用など、組織横断的な取組を進める	意識と能力の高い職員を登用するなど、適材適所の職員配置を進める
全体	65	32.3	40.0	30.8	18.5	27.7	16.9	33.8
18歳～29歳	3	—	66.7	33.3	—	—	—	—
30歳代	19	42.1	26.3	31.6	21.1	31.6	21.1	26.3
40歳代	24	25.0	50.0	25.0	16.7	29.2	4.2	37.5
50歳代	10	20.0	30.0	40.0	10.0	30.0	30.0	30.0
60歳以上	7	71.4	57.1	42.9	28.6	14.3	28.6	57.1

区分	費用対効果を重要視し、成果の向上やコストの削減を進める	自主財源の確保を進める	ICTの導入を拡大し、事務や申請手続きを迅速化する	積極的な情報公開を進める	民間にできることは民間に任せる	既存施設の統合や複合化により、公共施設の適正配置を進める	その他	無回答
全体	13.8	15.4	33.8	6.2	41.5	30.8	7.7	7.7
18歳～29歳	—	—	—	—	—	—	—	33.3
30歳代	5.3	10.5	42.1	—	36.8	15.8	15.8	5.3
40歳代	16.7	16.7	25.0	8.3	45.8	41.7	—	8.3
50歳代	20.0	10.0	40.0	10.0	50.0	40.0	10.0	—
60歳以上	14.3	28.6	42.9	14.3	42.9	28.6	14.3	—

【通算職員年数別】

通算職員年数別にみると、「プロジェクトチームの活用など、組織横断的な取組を進める」について25～30年未満で高くなっています。

単位：％

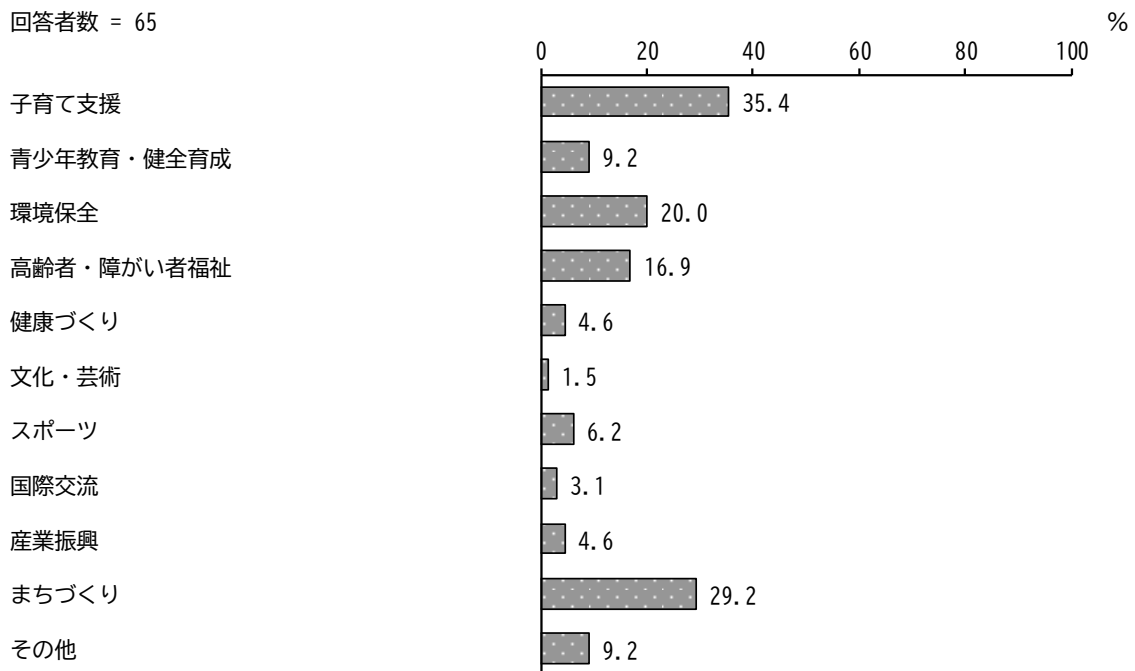
区分	回答者数(件)	市民ニーズをきめ細やかに把握する	他自治体の取組を把握する	国や県の制度改正など、社会経済情勢の動向を把握する	施策の目的に照らした効果を検証する	行政組織を柔軟に変更する	プロジェクトチームの活用など、組織横断的な取組を進める	意識と能力の高い職員を登用するなど、適材適所の職員配置を進める
全体	65	32.3	40.0	30.8	18.5	27.7	16.9	33.8
5年未満	10	20.0	20.0	—	20.0	20.0	10.0	50.0
5～10年未満	14	35.7	42.9	42.9	—	35.7	14.3	7.1
10～15年未満	12	33.3	33.3	25.0	25.0	16.7	25.0	33.3
15～20年未満	12	25.0	50.0	41.7	33.3	25.0	8.3	41.7
20～25年未満	6	50.0	50.0	33.3	—	33.3	—	33.3
25～30年未満	2	—	—	—	—	100.0	100.0	—
30～35年未満	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
35年以上	5	60.0	60.0	40.0	20.0	20.0	20.0	60.0

区分	費用対効果を重要視し、成果の向上やコストの削減を進める	自主財源の確保を進める	ICTの導入を拡大し、事務や申請手続きを迅速化する	積極的な情報公開を進める	民間にできることは民間に任せる	既存施設の統廃合や複合化により、公共施設の適正配置を進める	その他	無回答
全体	13.8	15.4	33.8	6.2	41.5	30.8	7.7	7.7
5年未満	30.0	20.0	30.0	10.0	30.0	30.0	10.0	20.0
5～10年未満	7.1	7.1	21.4	7.1	28.6	21.4	14.3	—
10～15年未満	8.3	16.7	58.3	—	58.3	25.0	—	8.3
15～20年未満	8.3	16.7	25.0	—	66.7	50.0	—	8.3
20～25年未満	16.7	16.7	33.3	—	33.3	33.3	—	—
25～30年未満	—	—	100.0	—	—	50.0	—	—
30～35年未満	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—
35年以上	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	—

問9 今後、本町の施策分野での改善提案について記載してください。

「子育て支援」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「まちづくり」の割合が 29.2%、「環境保全」の割合が 20.0%となっています。

回答者数 = 65

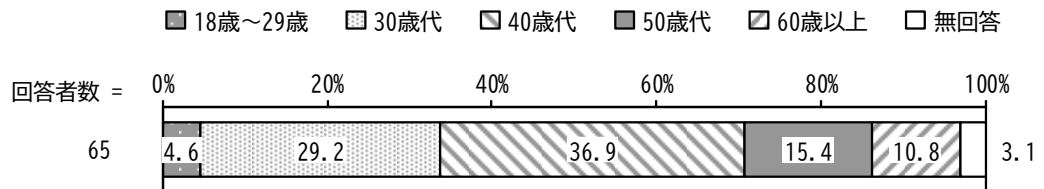


(3) 回答者属性

問10 年齢

あなたの年齢について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

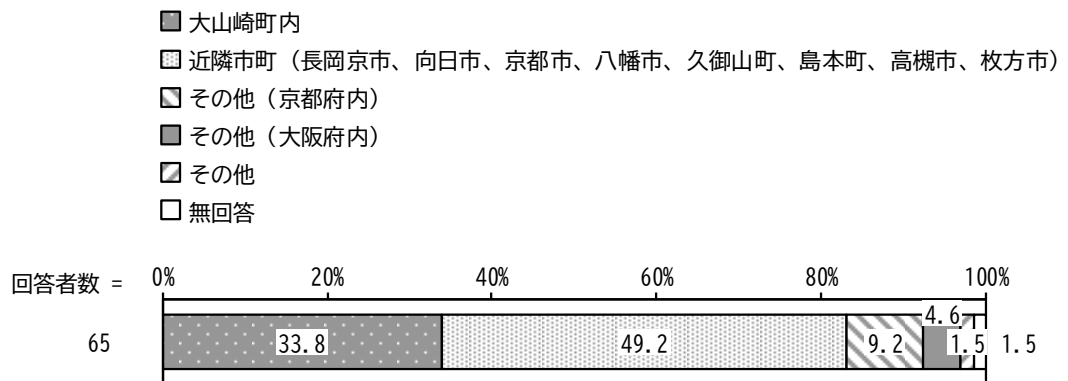
「40歳代」の割合が36.9%と最も高く、次いで「30歳代」の割合が29.2%、「50歳代」の割合が15.4%となっています。



問11 居住地

あなたの現在の居住地について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

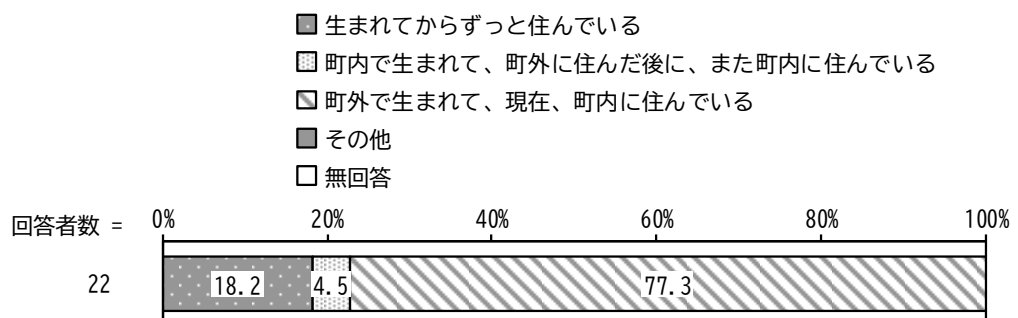
「近隣市町（長岡京市、向日市、京都市、八幡市、久御山町、島本町、高槻市、枚方市）」の割合が49.2%と最も高く、次いで「大山崎町内」の割合が33.8%となっています。



問11-1 居住歴（問11で「1」と答えた方のみ）

大山崎町での居住歴は、どれですか。（○は1つだけ）

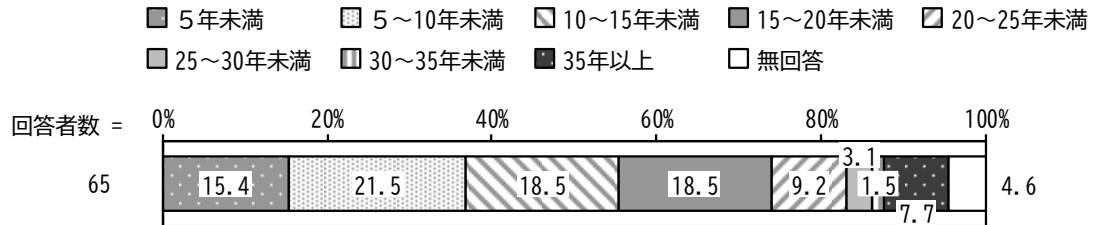
「生まれてからずっと住んでいる」の割合が18.2%、「町外で生まれて、現在、町内に住んでいる」の割合が77.3%となっています。



問 12 通算職員年数

あなたは、これまで大山崎町役場に通算して何年お勤めですか。(○は1つだけ)

「5～10年未満」の割合が21.5%と最も高く、次いで「10～15年未満」、「15～20年未満」の割合が18.5%となっています。

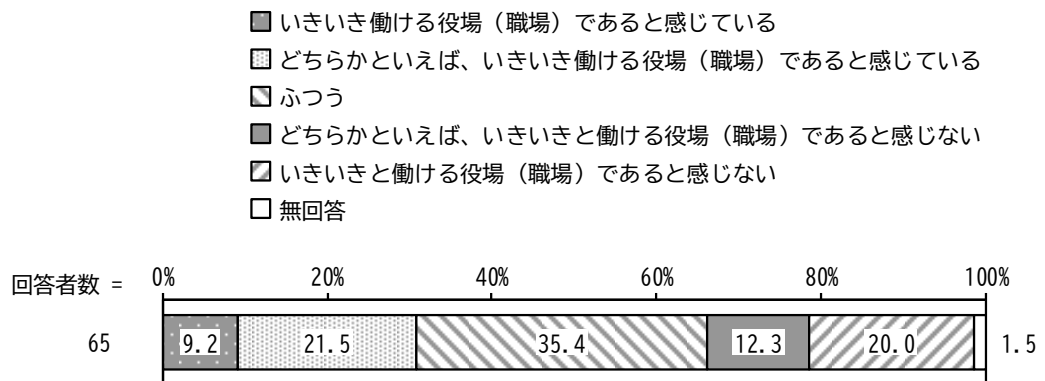


問 13 職員の働きがいについて (職員満足度調査)

前期基本計画の「まちづくりの進め方分野」の施策、「行政運営」では、成果目標として「一人ひとりの職員がいきいきと働いている役場となっています。」が掲げられています。

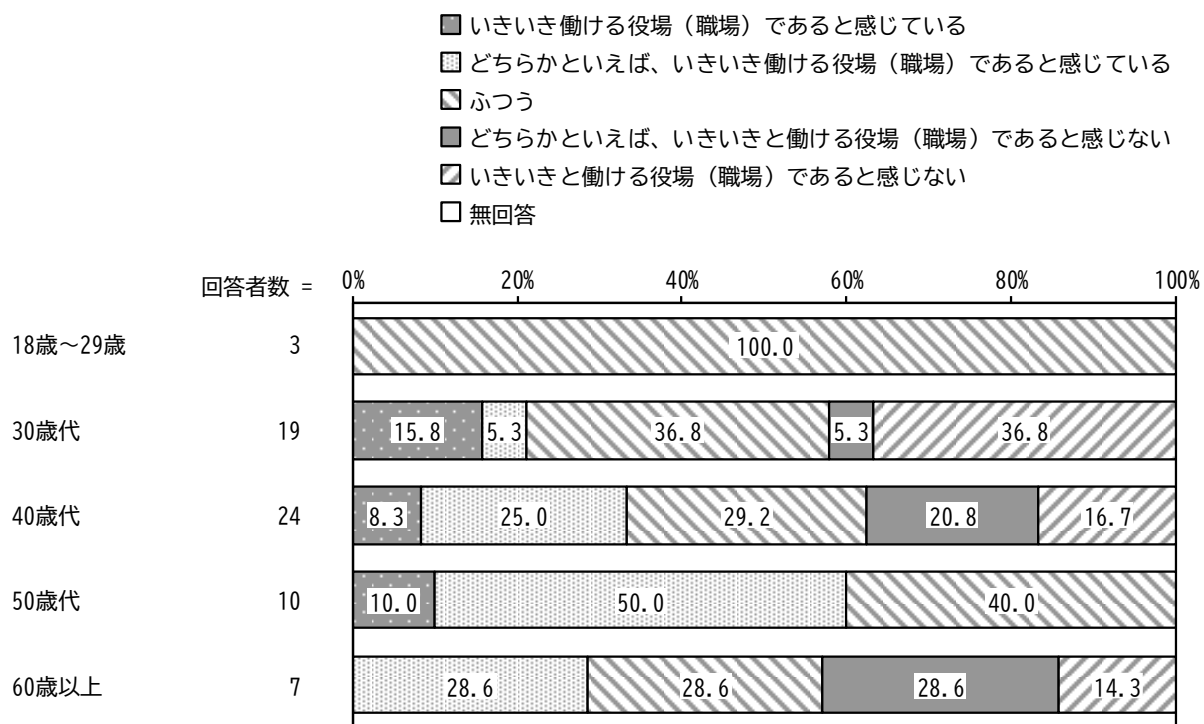
あなたは、町職員としていきいき働ける役場(職場)であると感じますか。

「いきいき働ける役場(職場)であると感じている」「どちらかといえば、いきいき働ける役場(職場)であると感じている」を合わせた”感じている”の割合が30.7%、「ふつう」の割合が35.4%、「どちらかといえば、いきいきと働ける役場(職場)であると感じない」「いきいきと働ける役場(職場)であると感じない」を合わせた”感じない”の割合が32.3%となっています。



【年齢別】

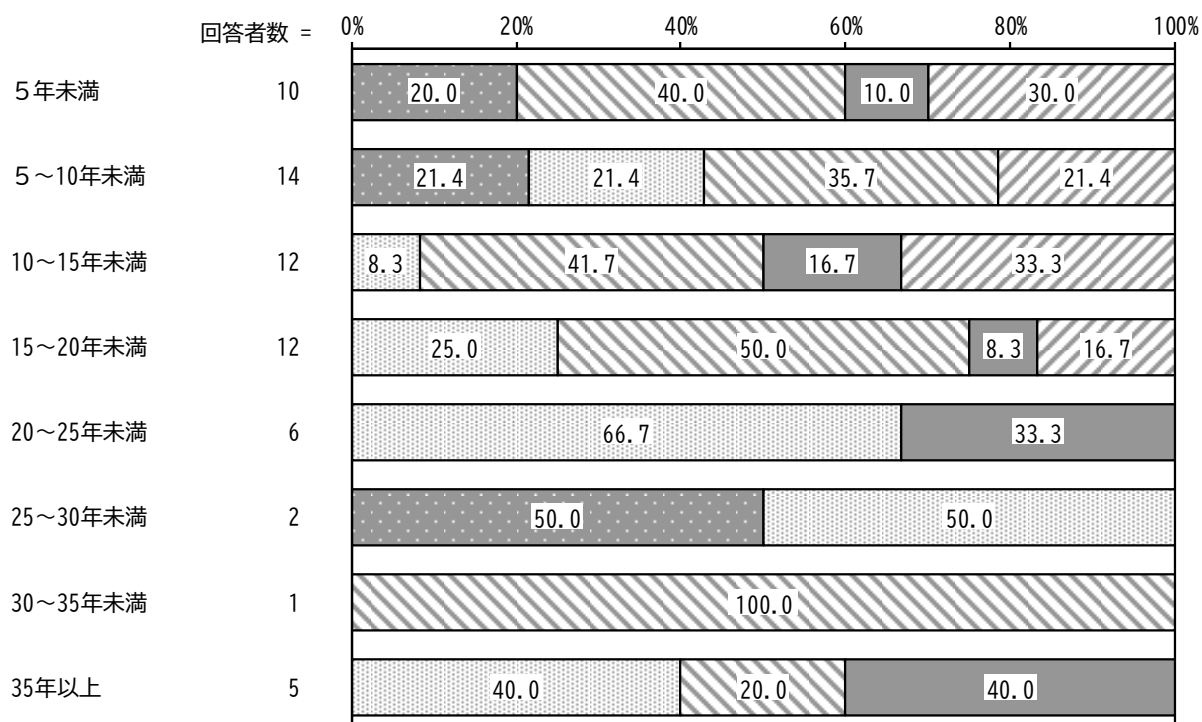
年齢別にみると、「どちらかといえば、いきいき働ける役場（職場）であると感じている」で、18歳～29歳から50歳代にかけて高くなる傾向にあります。



【通算職員年数別】

通算職員年数別にみると、「いきいき働ける役場（職場）であると感じている」について25～30年未満で高く、「いきいきと働ける役場（職場）であると感じない」について20～25年未満、35年以上で低くなっています。

- いきいき働ける役場（職場）であると感じている
- ▨ どちらかといえば、いきいき働ける役場（職場）であると感じている
- ▩ ふつう
- どちらかといえば、いきいきと働ける役場（職場）であると感じない
- ▨ いきいきと働ける役場（職場）であると感じない
- 無回答

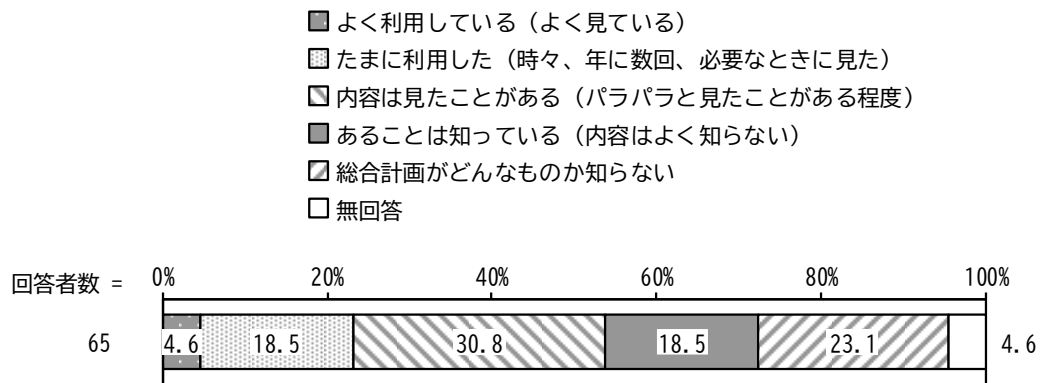


問 14 これまでの総合計画について

あなたは、現在の大山崎町第4次総合計画「おおやまざき まちづくりビジョン 2025」（令和2年3月策定）の計画書（冊子）について、どのくらい利用していますか。

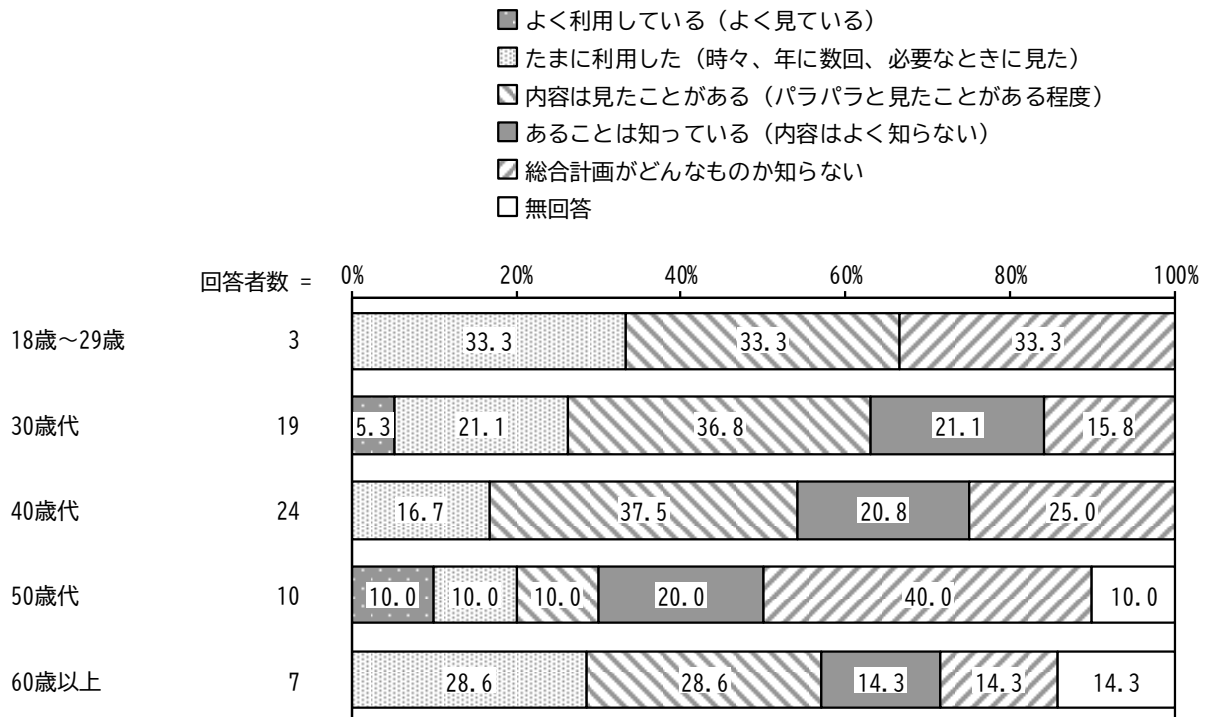
（○は1つだけ）

「内容は見たことがある（パラパラと見たことがある程度）」の割合が30.8%と最も高く、次いで「総合計画がどんなものか知らない」の割合が23.1%、「たまに利用した（時々、年に数回、必要なときに見た）」の割合が18.5%、「あることは知っている（内容はよく知らない）」の割合が18.5%となっています。



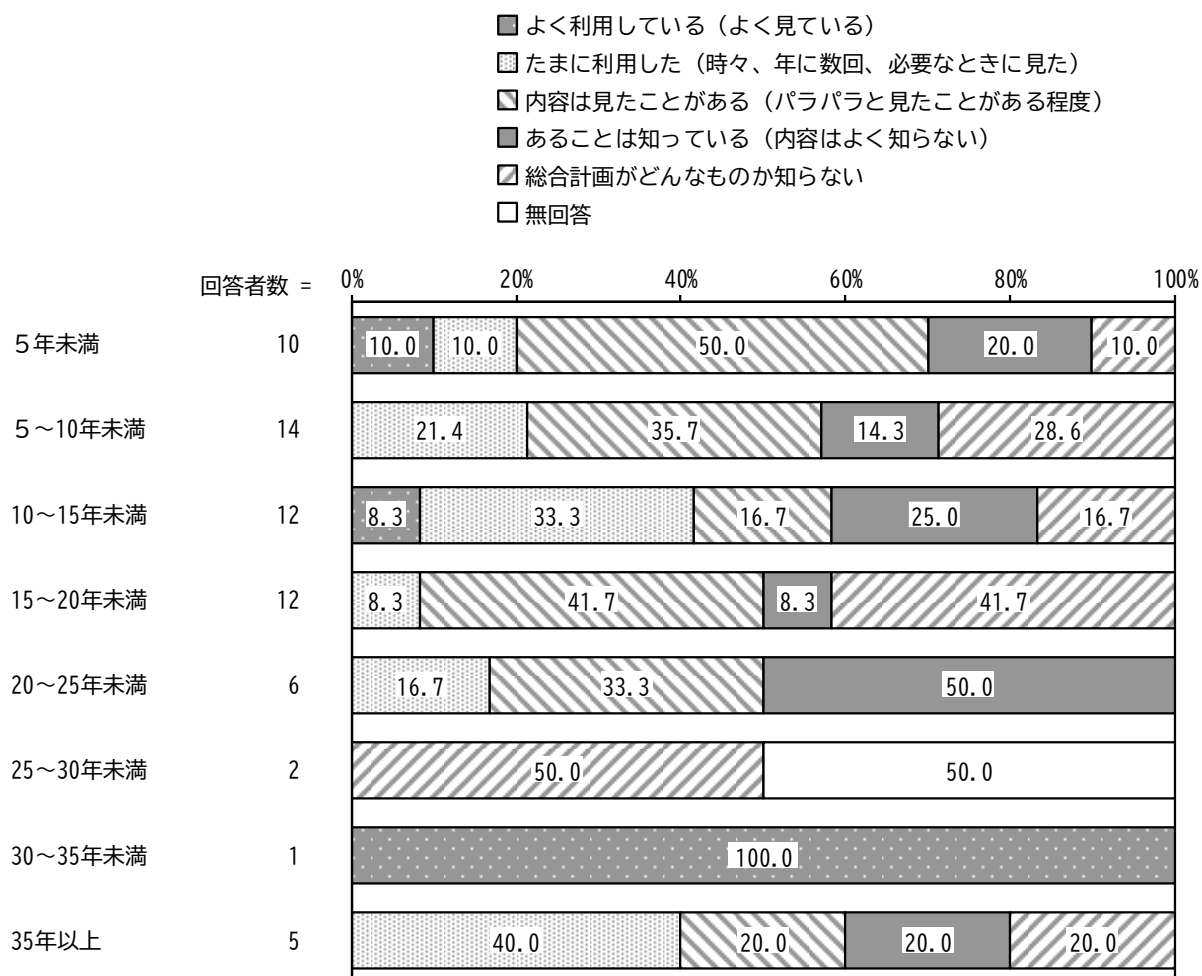
【年齢別】

年齢別にみると、「あることは知っている（内容はよく知らない）」で、30歳代から50歳代にかけて低くなる傾向にあります。



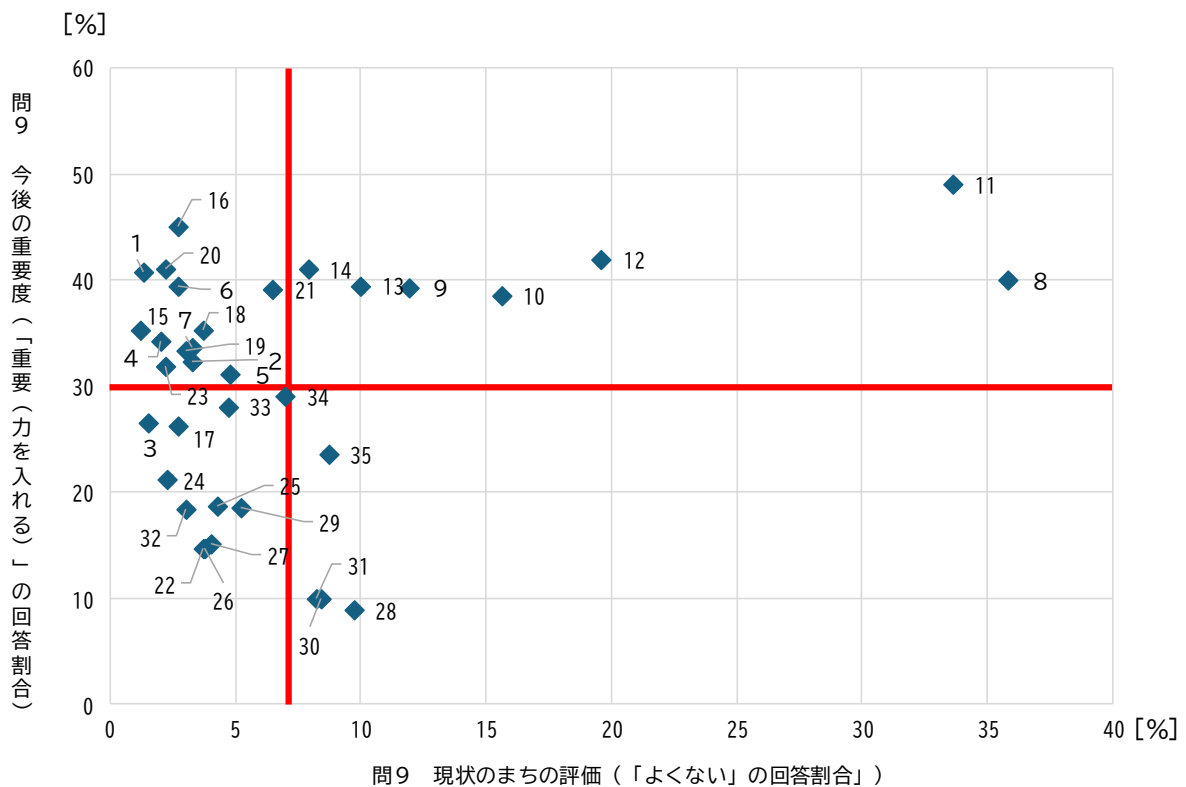
【通算職員年数別】

通算職員年数別にみると、「あることは知っている（内容はよく知らない）」について20～25年未満で高くなっています。



③ ポートフォリオによる分析

町民意識調査「問9 まちの分野別の現状評価と今後の重要度」より、「現状評価」と「今後の重要度」について、現在のまちの評価での「よくない」の割合と今後の重要度での「重要（力を入れる）」の割合から分析を行いました。



分野（8）バス交通の便利さ、分野（11）買物の便利さについて、現状の評価が低い（「よくない」の割合が他分野に比べて高く、今後の重要度についても高くなっています。また、分野（16）防犯については現状評価が高い（「よくない」の割合が低い）一方、今後の重要度が高くなっています。

分野	
(1) 自然環境の保全・豊かさ	(19) 福祉
(2) 公園・緑地等の環境	(20) 子育ての環境
(3) 環境に配慮した生活	(21) 高齢者や障がい者に配慮した環境
(4) ごみの分別やリサイクル	(22) 生涯学習活動
(5) 騒音・振動等の公害の抑制	(23) 学校教育
(6) 上下水道	(24) 青少年の健全育成
(7) 鉄道交通の便利さ	(25) 文化・スポーツ活動の環境
(8) バス交通の便利さ	(26) 男女共同参画の取り組み
(9) 生活用道路の安全・快適さ	(27) 近所づきあい
(10) 歩道の段差・安全さ	(28) 町内会・自治会活動の活発さ
(11) 買物の便利さ	(29) 住民の助け合い
(12) 医療機関への交通の便利さ	(30) 町内の交流活動
(13) 小中学校通学路の安全・快適さ	(31) まちづくりへの町民の参加・協働
(14) 交通の安全性	(32) 広報・広聴や情報公開
(15) 消防・救急・防災	(33) 行政サービスの内容
(16) 防犯	(34) 行政サービスの利用の便利さ
(17) 健康づくり	(35) 町内のデジタル化の推進
(18) 保健・医療	

④ 調査結果からみえる現状・課題

1 一般住民調査

<大山崎町での暮らし（現在のこと）について>

大山崎町での暮らしについての問題点として、住みやすさの評価は概ね高いものの、一部に住みにくさを感じる人が存在します。自然環境や交通の便に対する評価は高い一方、医療・福祉サービスの満足度や娯楽・レジャーの機会に対する満足度は低くなっています。ショッピング施設の不足も大きな不満点であり、日常生活の不便さが指摘されています。特に若者の定住意欲が低く、18歳から29歳までの若年層で顕著です。また、高齢者にとって必要な医療の受けにくさや福祉サービスの充実度不足も課題となっています。

<これからの時代のまちづくりや町の将来について>

住民の暮らしの豊かさについて、物質的な豊かさを重視する意見と心の豊かさを求める意見に分かれており、将来に向けたバランスが重要であると考えられますが、18歳から29歳の若い年代では、物質的な豊かさを重視している傾向となっています。また、住民が求める将来像は自然環境や健康、交通整備など様々です。さらに、行政サービスを維持すべきとの意見も多くみられ、持続可能なサービスの提供が重要です。

2 小6・中学生調査

<大山崎町の住みやすさや魅力について>

住みやすさは「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と感じる割合が87.8%と高いものの、一部住民は「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と考えています。主な不満点として、ショッピングセンターや商店の少なさによる買い物や暮らしの不便さが挙げられ、56.2%がこれを指摘しています。町の魅力として緑が多く自然に恵まれている点が評価される一方で、商業施設の不足が問題となっています。

<大山崎町に住み続けることについて>

大山崎町に住み続ける意向は、現在の場所かその近くに住み続けたいと考える割合が30.4%と、別の場所に住みたいという割合（35.0%）がと同程度となっています。子どもや若者が大山崎町に住み続けるためには、交通や買い物などの日常生活の利便性が必要とされており、それらの分野についてはまちの評価が低くなっています。

<大山崎町の将来像や地域活動への参加、まちの魅力向上について>

大山崎町の将来像や地域活動、魅力向上について、「山・緑と川に囲まれた自然の豊かなまち」を望んでいる他「子どもを育てやすいまち」を希望する声もあります。

また、地域活動への参加意向は高が高く、意向を実際の参加につなげていくことが重要です。特に環境美化活動には積極的な参加意向が見られますが、他の活動への参加は低くなっています。

3 職員調査

<大山崎町での暮らし（現在のこと）について>

大山崎町での暮らしに関する評価では、全般的に「まあまあ」という評価が多く（46.2%）、高い評価を示す回答は少ないです。子どもを育てるまちとしての評価も「まあまあ」が最多（40%）、「よい」（36.9%）が続きますが、60歳以上の層では低評価が目立ちます。また、仕事・商売をするまちとしての評価は「まあまあ」（38.5%）と「よくない」（38.5%）が同程度で、特に30歳代や40歳代での評価が低いです。退職後の暮らしとしても「まあまあ」（49.2%）が最多ですが、満足していない層も一定数（24.6%）存在しています。

<個別分野（現状と将来）について>

個別分野の現状と将来について、行政サービスのあり方では「他の自治体に遅れない程度に対応する」（35.4%）、「限られた条件内で対応する」（33.8%）の回答が多く、「住民要望を先取りして対応する」は20%と低くなっています。行政サービスと住民負担については「行政サービスの水準を維持する」が60%と多い一方で、住民は金銭的負担をそのまま維持したい意向（38.3%）が見られ、負担軽減と行政サービスの提供体制の維持が重要です。地域活動の参加意向については、「これからできれば参加したい」が33.8%と最も多いが、「あまり参加したくない」（29.2%）、「参加したくない、参加できない」（21.5%）が多く、消極的な意向が強いです。